



I7500ラベルプリンター

ユーザーマニュアル

著作権および商標

免責事項

本マニュアルは、Brady Worldwide, Inc.（以下「Brady」）の所有物であり、予告なく随時改訂される場合があります。Bradyは、改訂版（存在する場合）の提供について一切の義務を負いません。

本マニュアルは著作権により保護されており、すべての権利は留保されています。ブレイディの事前の書面による同意なしに、本マニュアルの一部または全部をいかなる手段によっても複製または転載することはできません。

本資料の作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、過失、事故、その他の原因による誤り、脱落、または記述によって生じた損失や損害について、ブレイディはいかなる当事者に対しても一切の責任を負いません。ブレイディは、本資料に記載された製品またはシステムの適用または使用に起因する一切の責任を負いません。また、本資料の使用に起因する付随的損害または結果的損害に対する責任も一切負いません。ブレイディは、商品性および特定目的適合性に関する一切の保証を否認します。

ブレイディは、信頼性、機能、または設計を改善するため、本書に記載されている製品またはシステムについて、事前の通知なしに変更を行う権利を留保します。

商標

i7500 ラベルプリンターは、Brady Worldwide, Inc. の商標です。

Microsoft、Windows、Excel、Access、SQL Server は、Microsoft Corporation の登録商標です。

Bluetooth および Bluetooth ロゴは Bluetooth SIG, Inc. の商標です。Apple は Apple Inc. の商標です。

Google Play は Google LLC の商標です。Wi-Fi は Wi-Fi Alliance®の商標です。

ZPL®は Zebra Technologies Corporation の商標であり、ブレイディは同社とは提携関係にありません。

本マニュアルに記載されているすべてのブランド名または製品名は、各企業または組織の商標（™）または登録商標（®）です。

© 2026 Brady Worldwide, Inc. All Rights Reserved.

改訂版 C

改訂日：2026年2月4日

Brady Worldwide, Inc.

6555 West Good Hope Road Milwaukee, WI 53223 bradyid.com

ブレイディ保証

当社の製品は、購入者が実際の使用環境で試験を行い、ご自身の使用目的に適合するかどうかを判断することを前提に販売されます。ブレイディは、製品に材料および製造上の欠陥がないことを購入者に対して保証しますが、本保証に基づく義務は、ブレイディが販売時点で欠陥があったと認められる製品を交換することに限定されます。本保証は、購入者から製品を入手した第三者には適用されません。

本保証は、商品性または特定目的適合性に関する黙示の保証を含むがこれに限定されない、明示または黙示のい

かなる他の保証、ならびにブレイディ側のその他の義務または責任に代わるものです。いかなる状況においても、ブレイディは、ブレイディ製品の使用または使用不能に関連して生じる、あらゆる種類の損失、損害、費用、または結果的損害について責任を負いません。

安全と環境

i7500ラベルプリンターを初めてご使用になる前に、このマニュアルをよくお読みください。本マニュアルでは、プリンターの主な機能をすべて説明しています。

注意事項

プリンターを使用する前に、以下の注意事項をご確認ください：

- プリンターの操作や手順を実行する前に、すべての指示を注意深くお読みください。
- 本体を不安定な場所や台の上に置かないでください。
- 本体の上に物を置かないでください。
- 天板を障害物から離して使用してください。
- プリンターは常に換気の良い場所で使用してください。換気用のスリットや開口部を塞がないでください。
- 定格ラベルに記載されている電源のみを使用してください。
- 本機付属の電源コードのみを使用してください。
(※本機付属の電源コードは、本機専用です。他の電気製品には、ご使用できません。)
- 電源コードの上に物を置かないでください。
- 本機器は、子供による使用を意図したものではありません。

テクニカルサポートおよび登録

お問い合わせ先

support.bradyid.com/s/ の Brady ナレッジベースをご覧ください。

修理または技術サポートが必要な場合は、お近くのブレイディ技術サポート事務所を以下のURLから検索してください：

- アメリカ合衆国: bradyid.com/techsupport
- カナダ: bradycanada.ca/contact-us
- メキシコ: bradyid.com.mx/es-mx/contacto
- ラテンアメリカ: bradylatinamerica.com/es-mx/soporte-técnico
- ヨーロッパ: bradyeurope.com/services
- オーストラリア: bradyid.com.au/technical-support
- アジア太平洋地域: brady.co.uk/landing-pages/global-landing-page

登録情報

プリンターの登録は以下へアクセスしてください:

- bradycorp.com/register

修理と返品

修理のために製品を返品する必要がある場合は、修理および交換に関する情報について、ブレイディテクニカルサポートまでお問い合わせください。

目次

1. はじめに	1
システム仕様	1
物理的および環境的特性	2
Wi-Fiの通信可能距離	2
2. セットアップ	3
プリンターの開梱	3
同梱内容	3
登録	4
プリンターの構成部品	5
外装	5
標準構成プリンター 内部	6
剥離構成プリンター 内部	7
電源	8
セットアップ	8
省電力モード	8
プリンターの再起動	8
ラベル作成用ソフトウェア	9
プリンターの接続	10
プリンター名	10
イーサネットネットワーク	11
Wi-Fi	12
検索して接続	12
Wi-Fi設定の手動入力	12
USB	13
USBマストレージ	13
Bluetooth	13
組み込みWebサーバー	14
プリンタードライバーのインストール（任意）	15
プリンタードライバー設定	15
用紙向き	16
回転	16
鏡面印刷	17
他のプログラムからの印刷	17
消耗品の取り付けまたは交換	18
スマートサプライの操作	18
手動での消耗品操作	18
一部のスマートサプライ使用時の動作	19
i75シリーズラベルと手動リボン	19
手動ラベルとi75シリーズリボン	19
リボンとラベルのセット方法（標準構成プリンタ）	20
リボンとラベルのセット方法（剥離構成プリンタ）	25
プリンターの初期設定	32
言語	32
キーボード	32
測定単位	33

日付と時刻	33
保存場所	34
パスワード	35
設定	35
変更	35
再設定	35
通知	36
アクセサリ	37
標準およびカッター構成プリンター	37
ピール構成プリンター	38
3. 基本操作	39
タッチスクリーン	39
ナビゲーションおよびステータスバー	40
材料詳細	41
i75 シリーズ ラベル i75 シリーズ リボン	41
i75 シリーズラベル 手動リボン	41
手動ラベル i75 シリーズ リボン	41
手動ラベル 手動リボン	41
ラベル作成	41
ブレイディワークステーション	41
プリンターへのファイル保存	42
印刷画面	43
ラベルの印刷	45
ソフトウェアからの印刷	45
プリンターに保存された印刷ジョブ	45
USBドライブからの印刷	46
両面スリーブの印刷	47
ファイルリスト	50
検索、並べ替え、フィルタリング、変更	50
印刷キュー	52
キューへのファイル追加	52
キューからファイルを削除する	52
印刷順序の変更	52
印刷調整	53
ブックマーク	53
スマートサブライ操作	53
部分的なスマートサブライ操作	53
手動消耗品の操作	53
ブックマークの変更または削除	54
印刷スピード	54
印刷強度	54
プリントヘッド圧力	55
印刷位置	55
自動カット	55
オンデマンド印刷	55
プリンターモード	56
ティアオフ	56
オートカッター	57
ピールモード（ピール構成プリンターのみ）	57

内部巻き取り（ピール構成プリンターのみ）	58
ラベルセンサー位置	58
ラベルロールタイプ	59
サーマル印刷方式	59
バックフィードモード	59
ブレイディデフォルトにリセット	59
システム情報	60
ヘルプ画面	61
4. スクリプトの使用	62
スマート連続ラベル	62
グラフィックとフォント	62
インポート	63
削除	63
5. メンテナンス	64
プリンターのクリーニング	65
ほこりやごみ	65
プリントヘッド	66
ブラテンローラー	67
光学センサー	68
カッターブレード	69
タッチスクリーン	73
部品の取り付けまたは交換	74
プリントヘッド	75
ブラテンローラー	77
必要な工具	77
下部ピンチアシストローラー（ピール構成のみ）	78
ティアプレート	78
必要な工具	78
ピールバープレート（ピール構成専用）	80
必要な工具	80
巻き取りガイド（ピール構成のみ）	82
必要な工具	82
オートカッター	83
必要な工具	83
パーフォレーションカッター	84
必要な工具	84
ファームウェアのアップグレード	86
ラベルライブラリのアップグレード	88
リボンカートリッジのリサイクル	89
6. トラブルシューティング	90
詰まりの解消	90
リボンのしわ	91
オンデマンド印刷	92
A 規制コンプライアンス	96
代理店コンプライアンスと承認	96
アメリカ合衆国	96
FCC通知	96

Estados Unidos.....	96
FCC に関する注意.....	96
カナダ.....	97
ヨーロッパ.....	98
RoHS指令 2011/65/EU、2015/863/EU.....	98
電池指令 2006/66/EC.....	98
中国.....	98
台湾.....	99
トルコ.....	99
無線規制情報.....	100
アメリカ合衆国.....	100
メキシコ.....	101
カナダ.....	101
欧州連合.....	101
国別特記事項.....	102
日本.....	103
国際.....	103
ナイジェリア.....	104
南アフリカ.....	104
インドネシア.....	104
ブラジル.....	104

1. はじめに

i7500ラベルプリンターには以下の機能が含まれます：

- 高速・大容量印刷
- i75シリーズラベルの供給交換を40秒未満で完了
- i75シリーズのリボンとラベル使用時「キャリブレーション」による未使用ラベルの無駄を排除
- i75シリーズのリボンとラベル使用時に互換性がない場合にプリンターが警告
- i75シリーズリボンの自動センタリングと正しいインク面配置
- i75シリーズラベルの印刷スピード・印刷強度・オフセットを自動設定
- 頑丈で堅牢なデスクトップ構造
- カラータッチスクリーンLCDディスプレイ入力
- 300dpiまたは600dpi構成での単色印刷、最大幅4.49インチ（114mm）、最大長さ60インチ（1.5m）
- 各種高性能素材の連続ラベルおよび型抜きラベル
- PCからラベルを印刷、またはBrady Workstationソフトウェア使用時にラベルをプリンターに保存して後で印刷

システム仕様

- **印刷解像度**：300dpi仕様で11.8ドット/mm、600dpi仕様で23.6ドット/mm
- **出力ラベル幅**：0.25インチ～4.49インチ（6.4mm～114mm）
- **最小/最大ラベル長さ（ラベル搬送方向）**：0.125インチ～12.0インチ（3.18mm～305mm）
- **最大ラベル長さ（連続）**：60インチ（1.5m）
- **最大印刷スピード**：
 - 300dpi：ラベル供給タイプに応じて最大12ips
 - 600dpi：ラベル供給タイプに応じて最大6ips
- 感熱印刷および熱転写印刷
- i75シリーズラベル使用時は、印刷スピード、印刷強度、オフセットを自動的に設定します
- i75シリーズラベル使用時は、ラベルキャリブレーションや試行錯誤によるラベルの無駄をなくします

物理的および環境的特性

i7500ラベルプリンター（標準構成）の物理的・環境的特性は以下の通りです：

物理	米国単位	メートル法
寸法	21"（長さ） x 15"（幅） x 11"（高さ）	530 x 372 x 291.5mm
重量（プリンター本体のみ）	39.7 lbs	18 kg

注：消耗品の性能は異なる場合があります。

環境	動作	保管
温度（プリンター）	50°~104°F（10°~40°C）	-4°~122°F（-20°~50°C）
相対湿度（プリンター）	85%（結露なきこと）	90%（結露なきこと）



注意！ プリンターを水の近く、直射日光のあたる場所、または冷暖房器具の近くで使用しないでください。

Wi-Fiの通信可能距離

Wi-Fi 信号を受信するには、プリンターはルータまたはデバイスから以下の距離以内にある必要があります。

	Wi-Fi
距離	65フィート（19.8メートル）

2. セットアップ

プリンターの開梱

プリンター本体（内部・外部）およびラベルシステムを慎重に開梱し、輸送中の損傷がないか確認してください。同梱品は購入構成によって異なります。

注意：ディスプレイ周辺、カバー、内部の黄色いプリントヘッドレバー周辺およびプリントヘッド周辺の輸送用保護材はすべて取り外してください。

同梱内容

標準ティアプレート構成:

- i7500ラベルプリンター
- 標準モデル用ノコギリ刃ティアプレート（取り付け済み）
- 電源コード
- USBケーブル
- Brady WorkStation™ アクティベーションコード（ラベル作成ソフトウェア）
- 付属品取り外し/取り付け用 T-20レンチ
- スタイラス
- クイックスタートガイド



オートカッター構成には以下も含まれます：

- ヘビーデューティー自動カッターアクセサリ（取り付け済み）
- カット済みラベル回収トレイ
- ティアプレートは付属しません

剥離設定：

- 内部巻き取りガイドプレート
- 1.5インチ内部巻き取り用コア
- ピールバープレート（取り付け済み）
- ピールモデル用ノコギリ刃ティアプレート

注: プリンターを返品する必要がある場合に備え、箱を含む元の梱包材は保管してください。

登録

無料の製品サポートおよびアップデートを受けるには、www.bradycorp.com/register でプリンターをオンライン登録するか、ヘルプ画面を開き、「保証登録」までスクロールして選択し、QR コードをスキャンしてください。

プリンターの構成部品

外装

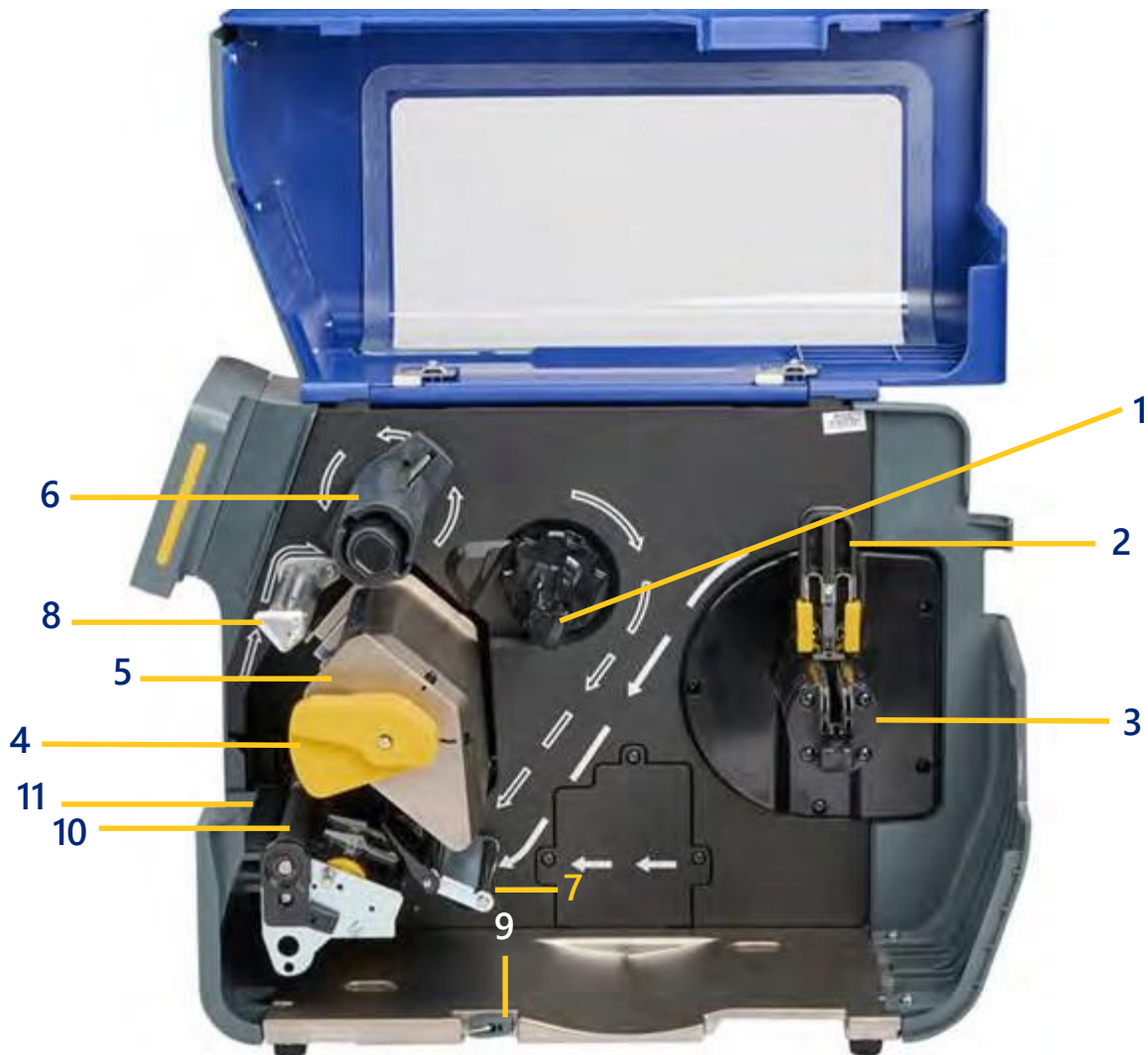


手で押して
蓋を開ける



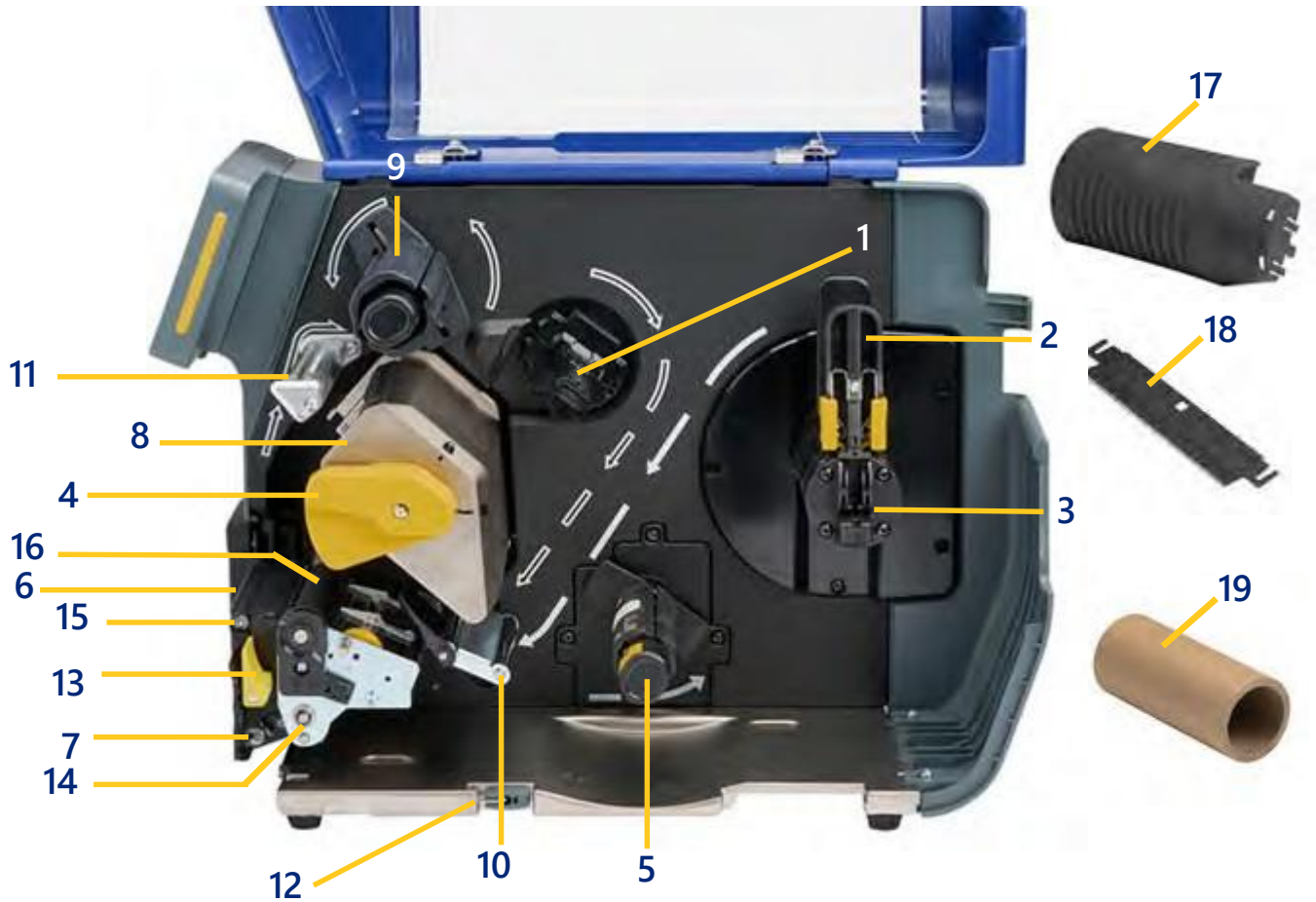
- | | | | |
|---|----------------|----|-----------------------|
| 1 | タッチスクリーンディスプレイ | 7 | USB-Bポート (コンピューター接続用) |
| 2 | USBドライブポート | 8 | イーサネットポート |
| 3 | アクセサリポートカバー | 9 | 電源スイッチ |
| 4 | ラベル排出シュートカバー | 10 | AC電源コードポート |
| 5 | 外部ラベル給紙スロット | 11 | I/Oポート (オプション付属品) |
| 6 | USB-Aポート | 12 | スタイラス |

標準構成プリンター 内部



- | | | | |
|---|------------------|----|--------------------|
| 1 | リボン供給スピンドル | 7 | ラベル供給用テンションダンサーバー |
| 2 | ラベルロールセンタリングフランジ | 8 | リボンしわ防止バー |
| 3 | ラベルロールハンガー | 9 | T-20レンチ |
| 4 | プリントヘッド用ロックレバー | 10 | プラテンローラー |
| 5 | プリントヘッド | 11 | 標準モデル ノコギリ刃ティアプレート |
| 6 | リボン巻き取りスピンドル | | |

剥離構成プリンター 内部



- | | | | |
|----|-------------------|----|------------------------|
| 1 | リボン供給スピンドル | 11 | リボンしわ防止バー |
| 2 | ラベルロールセンタリングフランジ | 12 | T-20レンチ |
| 3 | ラベルロールハンガー | 13 | ピールドア（ピールのみ） |
| 4 | プリントヘッド用ロックレバー | 14 | 下部ピンチアシストローラー（ピール専用） |
| 5 | 内部巻き取りスピンドル（剥離専用） | 15 | ライナー剥離バックローラー（剥離専用） |
| 6 | ピールバークラップ（剥離専用） | 16 | プラテンローラー |
| 7 | 下部ピンチローラー（ピール専用） | 17 | 巻き取りガイド（剥離専用） |
| 8 | プリントヘッド | 18 | 剥離モデルノコギリ刃ティアプレート |
| 9 | リボン巻き取りスピンドル | 19 | 1.5インチコア（内部巻き取り用・剥離専用） |
| 10 | ラベル供給用テンションダンサー | | |

電源

プリンターはユニバーサル電源を装備しており、100～240V～ 50～60Hzの電圧で動作します。プリンターは電圧タイプを検知し、電源に合わせて自動的に調整します。

セットアップ

電源を接続しプリンターを起動するには：

1. 電源コードをプリンター背面の電源端子に差し込みます。電源コードのもう一方の端をAC電源コンセントに差し込みます。
2. 電源スイッチをオンにします。プリンターが起動し、ホーム画面が表示されます。初めて電源を入れると、設定の構成手順が表示されます。タッチスクリーンの指示に従ってください。

省電力モード

プリンターが電源に接続されている場合、ソフトウェアがプリンターを検出できるように常時待機状態にしておくことができます。あるいは、一定時間操作がない場合にプリンターが自動的にスリープ状態に移行する省電力モードを選択することも可能です。

システムがスリープ状態になると、ディスプレイが消灯し、システムは低消費電力状態に移行しますが、再起動にはコールドスタートを必要としません。この状態では、画面をタッチするだけで、低消費電力モードに入る前の状態と同じ状態に戻すことができます。

非アクティブ期間の設定方法：

1. プリンターの電源がオンになっていることを確認してください。
2. **設定**をタップします。
3. **システム設定** > **省電力モード**をタップします。
4. **AC電源**を選択します。
 - プリンターが自動的に電源を切るまでの非アクティブ時間の長さを設定するには、時間インジケータのドットを左（減少）または右（増加）にスライドさせます。または、マイナス（-）ボタンを押して時間を減らすか、プラス（+）ボタンを押して時間を増やすこともできます。
5. ホーム画面に戻ります。

プリンターの再起動

プリンター背面の電源スイッチを使用して再起動します。システムが初期化プロセスを実行し、プリンターを起動します。ホーム画面が表示されたら、ラベル作成作業を続行できます。

ラベル作成用ソフトウェア

コンピューターにラベル作成ソフトウェアをインストールし、プリンターへの接続を設定した後、ソフトウェアを使用してラベルをデザインし、プリンターに送信します。

Brady Workstationソフトウェアは、製品ラベル、配線ラベル、実験室ラベル、汎用ラベルの設計と印刷を簡素化する多様なアプリを提供します。i75シリーズスマートラベルをプリンターにセットすると、Brady Workstationが自動的にラベルロールを検知し、ワンクリックで設定を完了します。本プリンターにはBrady Workstation Product & Wire ID Suiteの無料ライセンスが付属します。

Product & Wire Identification Suite のインストール方法：

1. お使いのコンピューターがインターネットに接続されていることを確認してください。
2. workstation.bradyyid.com にアクセスしてください。
3. 画面の指示に従ってソフトウェアをダウンロードし、インストールしてください。
4. ソフトウェアを実行し、アクティベーションが必要なアプリを開いた際は、画面の指示に従ってソフトウェアをアクティベートしてください。プリンターに同梱されている印刷物に記載のライセンスIDとパスワードを使用します。

その他のBrady Workstationソフトウェアや追加ライセンスについては、www.workstation.bradyyid.comにアクセスするか、ブレイディ担当者にお問い合わせください。

モバイル端末からのラベル設計・印刷は、Brady Express Labels Appでも利用可能です。Express Labels Appには、製品ラベル、配線ラベル、実験室ラベル、汎用ラベルの設計機能が含まれています。

Brady Express Labelsアプリのインストール方法:

システム要件: Android 6.0 以降

1. Google Playストア（Android）またはApple App Store（iOS）で「Brady Express Labels」を検索し、ダウンロードしてください。
2. アプリを起動し、BluetoothまたはWi-Fiでプリンターに接続します。詳細は10ページ「プリンターの接続」を参照してください。
3. 設定を構成します。32ページ「プリンターの初期設定」を参照してください。
4. ラベルを作成して印刷します。

プリンターの接続

プリンター名

プリンター名は、コンピューターがWi-Fi接続でプリンターを検索する際に表示されます。プリンターに名前が設定されていない場合、デフォルト名はシリアル番号になります。

プリンター名を変更するには：

1. プリンターの電源を入れた状態で、「設定」をタップします。
2. 「接続」をタップし、「プリンター名」をタップします。

プリンター名には、A-Z、a-z、0-9、および-の文字のみを含めることができます。プリンターで有効にしているキーボードに関係なく、プリンターには許可された文字のみが表示されるキーボードが表示されます。

3. タッチスクリーンのキーボードを使用してプリンター名を入力します。
4. 入力が完了したら、キーボードのEnterキーをタップします。

Wi-FiでBrady Workstationソフトウェアを使用する場合、プリンター選択時にこの名前が表示されます。

重要！ Brady Express Labelsモバイルアプリでプリンターを使用した後にプリンター名を変更した場合、ソフトウェア内のプリンター名を更新するには追加の手順が必要です。

- プリンターを再起動してください。（プリンターの電源を切り、再度入れます。）
- Brady Express Labelsアプリで設定を開き、プリンターを再度追加してください。

Brady Express Labelsアプリを使用する際、プリンター接続を手動でIPアドレス設定した場合を除き、プリンター選択時にこの名前が表示されます。詳細は[12ページ「Wi-Fi設定の手動入力」](#)を参照してください。

以下のいずれかの方法でコンピューターに接続します：

- 「イーサネット® ネットワーク」この方法では複数のコンピューターからラベルファイルをプリンターに送信できます。[11ページ「イーサネットネットワーク」](#)を参照してください。
- Wi-Fi® ワイヤレスネットワーク（プリンターの設定による）。[12ページ「Wi-Fi」](#)を参照してください。
- USBケーブルによる直接接続。[13ページ「USB」](#)を参照してください。
- Bluetooth。Express Labelアプリとの接続に使用します。

イーサネットネットワーク

このセクションでは、イーサネット（TCP/IP）接続を介してプリンターが通信するように設定する方法について説明します。

注: Windows ドライバーを使用する場合（15ページ「プリンタードライバーのインストール（任意）」を参照）、ドライバーをインストールする前にイーサネット接続を設定することをお勧めします。イーサネット接続を設定する前にドライバーが既にインストールされている場合、IPアドレスを更新するために Windows でプリンターのポート設定を編集する必要がある場合があります。

イーサネットネットワーク設定を構成するには：

1. ホーム画面で「設定」をタップします。
2. 「接続」をタップします。
3. 「詳細ネットワーク設定」をタップします。
4. 「イーサネット」をタップします。
5. 「IP設定」をタップし、DHCPまたは静的のいずれかを選択します。
 - **DHCP**：DHCPアドレスは動的に割り当てられ、システムがプリンターIPアドレス内のDNSサーバーを使用します。追加の入力は不要です。
 - **静的**：静的アドレス設定では、プリンターのIPアドレスを指定する必要があります。まず、戻るボタンをタップします。戻る矢印を押してイーサネット画面に戻り、以下の情報を入力します。ネットワーク管理者の支援が必要になる場合があります。
 - **IPアドレス**：プリンターのIPアドレスを入力します。
 - **サブネットマスク**：使用している場合はサブネットマスクを入力してください。
 - **デフォルトゲートウェイ**：デフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力してください。
 - **DNSサーバー（プライマリ）**：プライマリDNSサーバーのIPアドレスを入力してください。
 - **DNSサーバー（セカンダリ）**：セカンダリDNSサーバーのIPアドレスを入力してください。

重要！ DNSサーバーを使用しない場合は、プライマリとセカンダリのDNSサーバーの両方に0.0.0.0を入力してください。

6. 入力したフィールドを有効にするには、「戻る」ボタンをタップして「詳細ネットワーク設定」画面に戻ってください。

Wi-Fi

Wi-Fiネットワークに接続するには、ネットワークを検索して選択するか、ネットワーク設定を手動で入力します。接続後、プリンターはそのネットワーク上のコンピューターと通信できます。

注：Wi-Fi機能は、すべてのプリンターや国・地域で利用可能なわけではありません。

重要！ 企業ネットワークでWi-Fi接続を設定する前に、プリンターが現在の日付と時刻に設定されていることを確認してください。日付と時刻が最新でない場合、プリンターは接続を確立できない可能性があります。33ページ「日付と時刻」を参照してください。

検索して接続

Wi-Fi無線ネットワークに接続するには：

1. プリンターの電源が入っていることを確認してください。
2. 「設定」をタップします。
3. 「接続」をタップします。
4. 「Wi-Fiネットワーク」をタップします。
5. Wi-Fiを有効にするにはスイッチをタップします。
スイッチが灰色の場合、オフです。スイッチが青色の場合はオンです。
プリンターが Wi-Fi ネットワークを検索し、見つかったネットワークの一覧を表示します。
6. リストをスクロールするには、タッチしてドラッグします。
7. 使用するネットワークをタップします。
 - ネットワークがロックされていない場合は、タップするだけでプリンターが接続されます。
 - ネットワークがロックされている場合（ロックアイコンで示されます）、ネットワークをタップするとキーパッドが開きます。パスワードを入力し、Enterアイコンをタップしてください。
 - 必要なネットワークがリストにない場合、検出できない可能性があります。リストの一番下までスクロールし、「その他」をタップします。「個人用ネットワーク」または「企業ネットワーク」のいずれかを選択してください。選択内容に応じた設定が表示されます。設定を完了するには、IT部門からの情報が必要な場合があります。

Wi-Fi設定の手動入力

非表示のネットワークにはこの方法を使用してください。

Wi-Fi ワイヤレスネットワークに接続するには：

1. プリンターの電源がオンになっていることを確認してください。
2. 「設定」をタップします。
3. 「接続」をタップします。
4. 「詳細ネットワーク設定」をタップします。
5. リストから「Wi-Fi」を選択します。
6. 「IP設定」をタップし、次に以下のいずれかをタップします。
 - **DHCP**：DHCPアドレス指定は動的であり、システムはDNSサーバーを使用してプリンターのIPアドレスを取得します。

- **静的**：プリンターのIPアドレスを手動で入力するには、静的アドレス指定を選択します。
7. 「戻る」ボタンをタップしてWi-Fi画面に戻ります。
 8. ネットワーク管理者の助けを借りて、残りの利用可能な設定を入力してください。
 9. 「ホーム」をタップします。

USB

USB2.0経由でコンピューターに接続するには、付属のUSBケーブル*をプリンターとコンピューターに接続します。USBケーブルで接続すると、Brady Workstation ソフトウェアがプリンターを自動的に検出します。



注：Brady Workstationソフトウェアを使用していない場合は、<https://www.Bradyid.com/support/printer/i7500> から入手可能なプリンタードライバーをインストールする必要があります。

USBマストレージ

USBマストレージが無効になっている場合、プリンターは挿入されたUSBドライブの内容にアクセスできません。

大容量記憶装置の有効/無効を切り替えるには：

1. プリンターの電源が入っていることを確認してください。
2. 「設定」をタップします。
3. 「接続」をタップします。
4. 「USB大容量記憶装置」をタップします。
5. 設定を変更するにはスイッチをタップします。
スイッチが灰色の場合、オフです。スイッチが青色の場合はオンです。

Bluetooth

Bluetoothステータスライトは以下の意味を持ちます：

- Bluetoothのシンボルが青色：Bluetoothがオンで、モバイルデバイスに接続されています。
- Bluetoothシンボルが灰色で赤い丸に×印：Bluetoothがオフです。

プリンターでBluetoothを有効にするには：

1. 設定をタップします。
2. 接続をタップします。
3. Bluetoothをタップします。

4. スイッチを右にスワイプしてオン、左にスワイプしてオフにします。

Bluetooth経由でプリンターをモバイルデバイスに接続するには：

1. プリンターの電源を入れます。
2. プリンターのBluetoothがオフの場合はオンにしてください。
3. モバイル端末で「Express Labels」アプリを開きます。
4. i7500プリンターを選択します。
ソフトウェアが新しいプリンターを検出します。

組み込みWebサーバー

組み込みWebサーバー(EWS)により、プリンター設定へのリモートアクセスが可能になります。診断の実行、ファームウェアのアップグレード、その他多くの機能を利用できます。

ブラウザを開き、アドレスバーにプリンターのIPアドレスを入力してEWSにアクセスします。

プリンターのIPアドレスを確認するには：

1. プリンターのホーム画面で、「設定」をタップします。
2. 「接続」>「詳細ネットワーク設定」をタップします。
3. プリンターの設定に応じて、イーサネットまたはWi-Fiを選択し、IPアドレスを確認します。

プリンタードライバーのインストール（任意）

Brady WorkstationソフトウェアまたはBrady Express Labelsアプリを使用する場合、通常はプリンタードライバーのインストールは不要です。ただし、Brady Workstation内のData Automationアプリはプリンタードライバーのインストールが必要です。イーサネット接続でプリンターを接続する場合は、ドライバーインストール前に接続設定を行うことを推奨します（11ページ「イーサネットネットワーク」を参照）。

プリンタードライバーはBradyID.comからダウンロードできます。

1. プリンターの電源を入れ、指示があるまでコンピューターに物理的に接続しないでください。
2. プリンタードライバーフォルダーを保存した場所に移動し、ダブルクリックします。
3. プリンタードライバーの実行ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従ってください。

プリンタードライバー設定

ドライバーの設定は、新規または既存のBrady Workstationラベルには適用されません（Data Automation経由での印刷を除く）。既存のラベルは設定がラベルと共に保存されるため、Brady Workstationに保存されている既存のラベルには影響しません。これらの設定変更の影響を受けるのは、ドライバー経由で印刷されるラベルのみです。

プリンタードライバー設定の場所:

1. コンピューターの「スタート」ボタンをクリックします。
2. 「設定」を選択します。
3. 「デバイス」をクリックし、「プリンターとスキャナー」を選択します。
4. 「プリンターとスキャナー」をスクロールして、「i7500」をクリックします。
5. 「管理」ボタンをクリックします。
6. 「印刷設定」をクリックします。

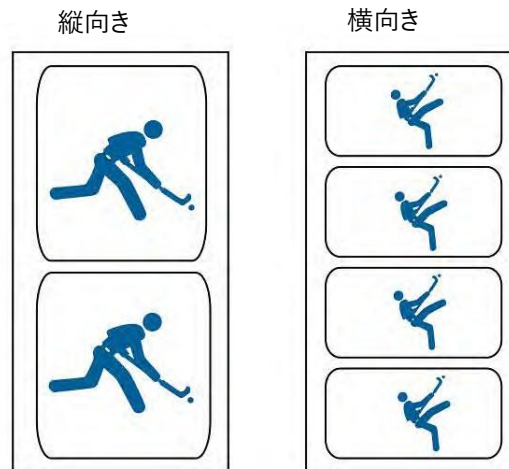


注：ほとんどのアプリケーションでは、「印刷」画面から同じプリンタードライバーオプションを変更できます。印刷設定で適用した設定は、変更されるまで維持されます。複数のi7500プリンターがある場合、1台のプリンターで設定した印刷設定は他のプリンターには適用されません。

用紙向き

ページレイアウトには、縦向きと横向きの2つの向き設定があります。テキストやグラフィックが画面表示通り左から右に印刷される場合は、縦向きを選択してください。画面表示から90度または180度回転させて横向きに印刷したい場合は、向きとして横向きを選択してください。

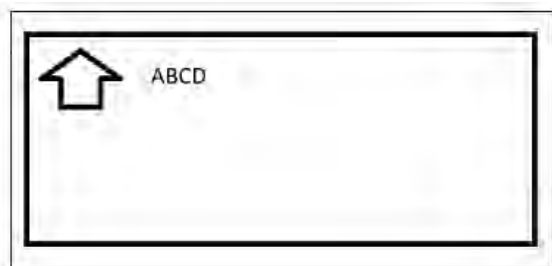
ご注意ください、これは用紙サイズ設定の幅と高さを変更するものではありません。これは、プリンターで横向きに印刷されるラベルを画面上で縦向きに表示するためのツールに過ぎません。



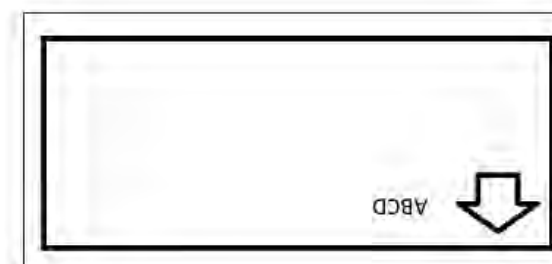
回転

印刷物を回転させるために使用します。

回転していないサンプル



回転したサンプル



鏡面印刷

鏡面またはラベルの裏側から読み取れるラベルを印刷します。例えば、ガラスに貼付する透明ラベルに印刷する場合に、ガラスの反対側からラベルが読めるようにするために使用します。

他のプログラムからの印刷

このプリンターは標準のWindowsプリンタードライバーを使用するため、このWindowsプリンタードライバーをサポートし、ラベルデザイン機能を備えたあらゆるアプリケーションから印刷できます。i75シリーズのスマートラベル用紙を使用している限り、ドライバーはプリンターと通信して使用中のラベルサイズを認識します。

消耗品の取り付けまたは交換

i7500ラベルプリンターの設定は、使用するラベルとリボンによって異なります。

スマートサプライの操作

i75シリーズラベルとi75シリーズリボンをプリンターで使用する場合、多くの設定と調整が完全に自動化され、時間の節約、混乱の軽減、ラベルの無駄や試行錯誤による印刷の削減を実現します。スマートサプライを使用した印刷には以下の利点があります：

- リボンはインクの向きを間違えることなく、中央に設置できます。
- 用紙サイズは自動的に検出されるため、無駄なブランクラベルが発生しません。
- 印刷スピードと印刷強度が自動的に設定され、最初のラベルから適切な印刷品質が得られます。
- ラベルセンサーは自動的にノッチまたはギャップ上の正しい位置に移動します。
- センサー「モード」は、設置された材料タイプに基づいて、ギャップ、ノッチ、または連続に自動的に設定されます。
- プリントヘッドの圧力は、設置された材料に合わせて自動的に設定されます。
- 設置されたラベル材料に対して間違ったりリボンが設置されている場合は、警告が表示されます。
- 設置された材料の部品番号と残量のおおよその量が表示されます。
- Brady Workstation Softwareを使用している場合、設置されているラベルが検出され、ワンクリックでサイズとレイアウトがソフトウェア内で開かれます。部品リストを検索したりレイアウトを「設定」したりすることなく、迅速にラベルを作成できます。

手動での消耗品操作

i75シリーズ以外のラベルおよびリボンをプリンターで使用する場合、プリンターはデフォルトで従来の設定と交換を行う熱転写プリンターとして動作します。ユーザーは手動で設定を選択、セットアップ、調整をしながら印刷品質をテストする必要があります。

手動モードでの印刷時、プリンターの表示にはインストールされた部品番号や残量が表示されません。

ユーザーは以下の操作を行う必要があります：

- 設置されているラベルに適したリボンを選択します。
- リボンのインク面を確認し、誤ってプリントヘッド側にインク面が向いた状態でセットされていないことを確認します。
- リボンを目視で中央に揃えます。
- 未使用のラベルを排出させてラベルセンサーにラベルのサイズを認識させます。
- 印刷スピード（54ページ「印刷スピード」）と印刷強度（54ページ「印刷強度」）を設定し、試し印刷を行って適切な印刷品質を実現してください。
- タッチスクリーンで設置されているラベルの種類を選択します。
- タッチスクリーンに表示されているラベルセンサーの位置を、正しい位置に移動します。58ページ「ラベルセンサー位置」を参照してください。
- 設置した材料に合わせてプリントヘッドの圧力（55ページ）を設定します。

一部のスマートサプライ使用時の動作

i75シリーズのラベルまたはリボンと手動ラベルまたはリボンを組み合わせて使用する場合、一部の設定は引き続き自動で行われますが、その他の設定はユーザーが手動設定を行う必要があります。

i75シリーズラベルと手動リボン

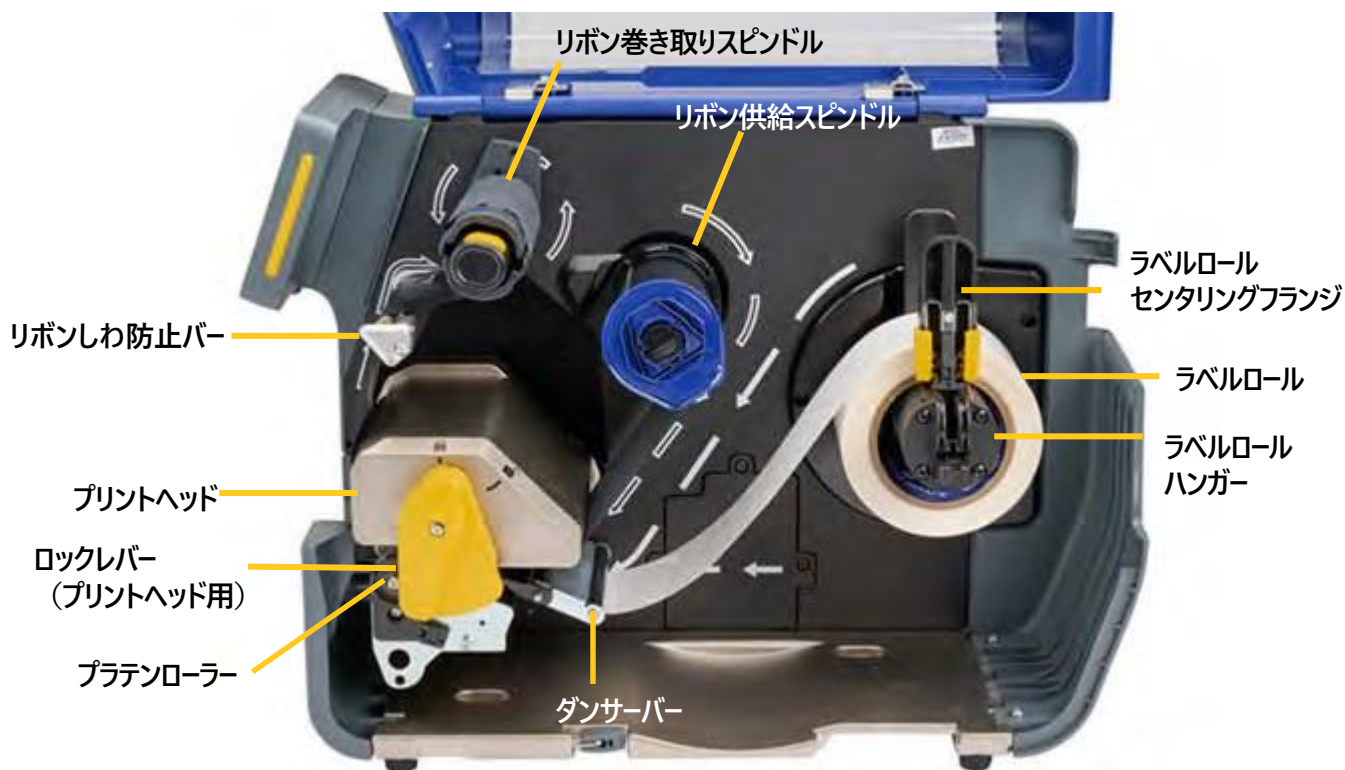
- ユーザーは、設置されているラベルに適したインクリボンを選択する必要があります。
- ユーザーは、リボンのインク面を確認し、インク面がプリントヘッド側を向いていないことを確認する必要があります。
- ユーザーは、リボンを目視で中央に合わせる必要があります。
- ラベルサイズが自動的に検出されるため、無駄なブランクラベルを排出する必要はありません。
- 印刷スピードと印刷強度は、装着されているi75シリーズラベルに自動的に設定されますが、手動リボンを使用する場合、微調整が必要になる場合があります。
- ラベルセンサーは、自動的に正しい位置に移動します。
- 設置されているラベルに合わせて、プリントヘッドの圧力が自動的に設定されます。
- 設置されているラベル素材に合わないリボンが装着されていても、警告は表示されません。
- ディスプレイにはラベルの部品番号と残量のおおよその表示がありますが、リボンに関する情報は表示されません。
- Brady Workstationソフトウェアを使用する場合、設置されているラベルが検出され、ワンクリックでサイズとレイアウトがソフトウェア内で開かれます。部品リストを検索したりレイアウトを「設定」したりすることなく、迅速にラベルを作成できます。

手動ラベルとi75シリーズリボン

- リボンはインクの向きを間違えることがなく、中央に設置できます。
- ユーザーは、未使用のラベルを排出させてラベルセンサーにラベルのサイズを認識させます。
- ユーザーは印刷スピードと印刷強度を設定し、試刷りを行って適切な印刷品質を得る必要があります。
- ユーザーは、設置されているラベルロールの種類に応じて、センサーの「モード」をノッチ、ゲープ、連続、または黒のマークに設定する必要があります。
- ユーザーはセンサーをノッチまたはギャップの読み取れる位置に移動する必要があります。
- ユーザーは、設置したラベルに適したインクリボンを選択する必要があります。
- ディスプレイには、取り付けられているリボンの型番と残量のおおよその量が表示されますが、取り付けられているラベルに関する情報は表示されません。

リボンとラベルのセット方法（標準構成プリンタ）

標準構成プリンタには、ティアオフモードとオートカッターモードの2つの印刷モードが用意されています。オートカットモードを利用しカット設定を調整するには、オプションのオートカッターアクセサリを取り付ける必要があります（83ページ「オートカッター」を参照）。オートカッターが取り付けられていない場合、デフォルトモードはティアオフモードとなり、標準モデルのノコギリ刃ティアプレートを取り付ける必要があります（78ページ「ティアプレート」を参照）。



重要！ 感熱ラベルを使用する場合はリボンを使用しないでください。

1. ロックレバーを開いてプリントヘッドを持ち上げます。
2. リボンをリボン供給スピンドルにセットします。

i75シリーズリボンをセットする場合

- リボン巻き取りスピンドルのバネ式シャフトが完全に奥まで押し込まれると、「カチッ」という音がしてロックされます。
- リボンカートリッジの黒いキャップ側から、リボン供給スピンドルへ差し込みます。キャップの穴の平らな部分と、スピンドルの平らな部分を合わせてください。
- リボンカートリッジが止まるまでスピンドルにスライドさせてください。
- リボンはスピンドルの中央に設置され、インク面がラベルに接する向きになります。
- ロールからリボンを引き出し、プリンタに表示されているリボン経路（白い輪郭線矢印）に従ってセットして行きます。

- リボンをプリントヘッドの下に通し、前面から出して、次にリボンしわ防止バーの上を通り、リボン巻き取りスピンドルの下から通して、リボン巻き取りスピンドルの金属タブの下に差し込みます。
- リボン巻き取りスピンドルを反時計回りに数回転させ、リボンがスムーズに引き出され、リボンのしわがなくなるまで回転させます。
- プリントヘッドを開いたまま、ステップ 3 のラベルロールのセットに進みます。

手動（非i75シリーズ）リボンをセットする場合

- リボン巻き取りスピンドルのバネ式シャフトが完全に奥まで押し込まれると、「カチッ」という音がしてロックされます。
 - 設置のラベルに適合したインクリボンが使用されていることを確認してください。
 - リボンを設置した際に、インク面がラベルに接するようにします。
 - リボンロールをスピンドルにスライドさせ、スピンドルの中央およびラベルの中央に位置していることを目視で確認します。
 - ロールからリボンを引き出し、プリンターに表示されているリボン経路（白い輪郭線矢印）に従ってセットして行きます。
 - リボンをプリントヘッドの下に通し、前面から出して、次にリボンしわ防止バーの上を通り、リボン巻き取りスピンドルの下から通して、リボン巻き取りスピンドルの金属タブの下に差し込みます。
 - リボン巻き取りスピンドルを反時計回りに数回転させ、リボンがスムーズに引き出され、リボンのしわがなくなるまで回転させます。
 - プリントヘッドを開けたままに、ステップ3のラベルロールのセットに進みます。
3. リボンセットステップでプリントヘッドが開いたままになっていることを確認し、開いていない場合はロックレバーを開いてプリントヘッドを持ち上げてください。

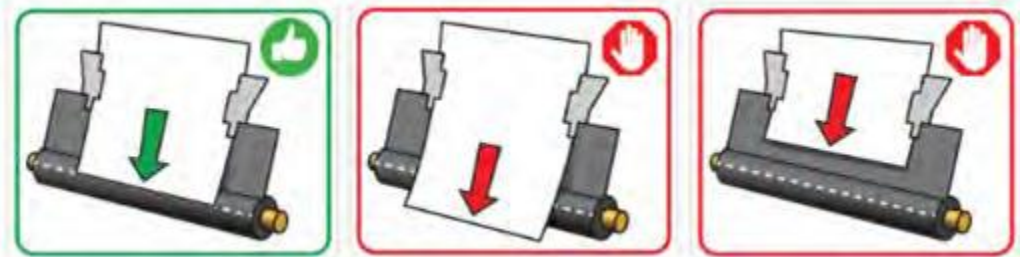
重要！ ラベルをセットする前に、ロール先端がまっすぐきれいにカットされていることを確認してください。これにより、ラベルが正しく位置合わせされ、正確な印刷が可能になります。

4. ラベルロールセンタリングフランジを下げ、ラベルロールをラベルロールハンガーに設置します。プリンターに表示されている白い矢印は、ラベルがロールからプリントヘッド送られる経路です。
5. ラベルロールセンタリングフランジを元の位置に戻してスライドさせてラベルロールに押し付け、ロールが中央に位置するようにします。

i75シリーズラベルロールをセットする場合

- プリンターの表示画面に「純正のBradyラベルロールが検出しました」と表示されます。表示されない場合は、ラベルロールを取り外し、ラベルロールハンガーに再度セットして、自動検出メッセージが表示されるまで繰り返してください。

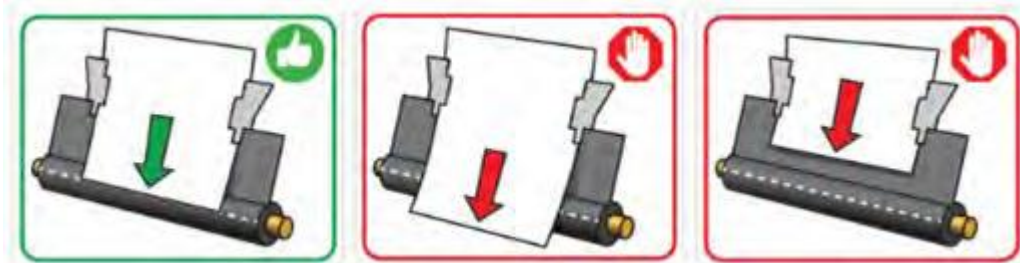
- ラベルをダンサーの下に通し、ラベルガイドを通して、黄色のラベルガイド調整ホイールを回転させ、ガイドがラベルの端にわずかに触れるまでガイド幅を狭めてください。
- ラベルロールの先端が黒いゴム製プラテンローラーの中央に来るようにセットします。ローラーの手前や奥にセットしないでください。



- プリントヘッドを閉じます。プリンターは初期化動作を行い、印刷ジョブを受け付ける準備が整います。

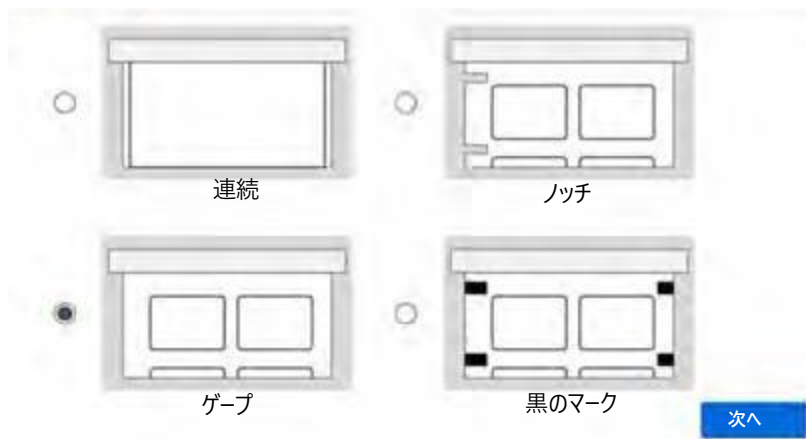
手動（非i75シリーズ）ラベルをセットする場合

- ラベルをダンサーの下に通し、ラベルガイドを通して、黄色のラベルガイド調整ホイールを回転させ、ガイドがラベルの端にわずかに触れるまでガイド幅を狭めてください。



- ラベルロールの先端が黒いゴム製プラテンローラーの中央に来るようにセットします。ローラーの手前や奥にセットしないでください。

- プリンターに「ラベルロールの種類」が表示されます。設置したラベルのロールタイプをタップし、「次へ」をタップしてください。



- プリンターに「ラベルセンサー位置」が表示されます。図中の緑色のライトがセンサー位置です。ラベルを読み込める正しい位置に調整が必要です。



- 画面上のスライダーと矢印ボタンを使用してラベルセンサーを移動させます。大きな動きには黄色のスライダーを押しながらスライドさせ、細かい動きには矢印をタップします。
 - センサーライトを画面上の図で示された様にラベルを読み込める正しい位置に調整して「次へ」をタップしてください。
 - プリントヘッドを閉じ、ステップ6に進んでラベルのキャリブレーションを行ってください。
6. インストールされているラベルとリボンの組み合わせに応じて、プリンターは印刷準備が整っているか、手動（非i75シリーズ）でラベルをキャリブレーションする必要があります。

i75シリーズラベルロールとi75シリーズリボンを使用する場合

- キャリブレーション（ブランクラベルの排出）は不要です。印刷ジョブをプリンターに送信してください。

75シリーズラベルと手動リボンを使用する場合

- キャリブレーション（ブランクラベルの排出）は不要です。印刷ジョブをプリンターに送信してください。
- 手動（非i75シリーズ）リボンを使用しているため、希望の印刷品質を得るには印刷スピードと印刷強度の微調整が必要になる場合があります。
 - 印刷品質の調整が必要な場合 - 「設定」>「印刷調整」に移動し、印刷スピード、印刷強度、プリントヘッド圧力を変更してください。必要な印刷品質が得られるまで繰り返し調整してください。

手動（非i75シリーズ）のラベルとリボンを使用する場合

- ラベルキャリブレーションが必要です。
- ホーム画面の「フィード/キャリブレーション」アイコンをタップして、ラベルキャリブレーションを実行してください。
- プリンターは、ラベルセンサーがラベルロールの検出できるように、数枚のブランクラベルを排出します。
 - ラベルセンサーが設置された手動（非i75シリーズ）ラベルを正常に検出できた場合：
 - プリントヘッドを開けたり、未使用ラベルを破ったり切ったりしないでください。プリンターは印刷ジョブを受け付ける準備ができています。
 - 印刷品質の調整が必要な場合 - 「設定」>「印刷調整」に移動し、印刷スピード、印刷強度、プリントヘッド圧力を変更してください。必要な印刷品質が得られるまで繰り返し調整してください。
 - ラベルセンサーが手動（非i75シリーズ）で設置したラベルを検知できない場合：
 - プリンターに「再試行」（ラベルロールの種類とラベルセンサーの位置が正しく設定されていることを確認するため、推奨）または「センサーキャリブレーション」を実行するオプションが表示されます。センサーキャリブレーションは、非i75シリーズのラベルロール（ライナーとラベルの透過度の差が小さく、検出が難しいラベルロール）を検出するためにラベルセンサーをリセットする一連の手順です。

再試行:

- 「再試行」をタップし、プロンプトに従って設定を確認し、ラベルキャリブレーションを再度試行してください。

センサーキャリブレーション:

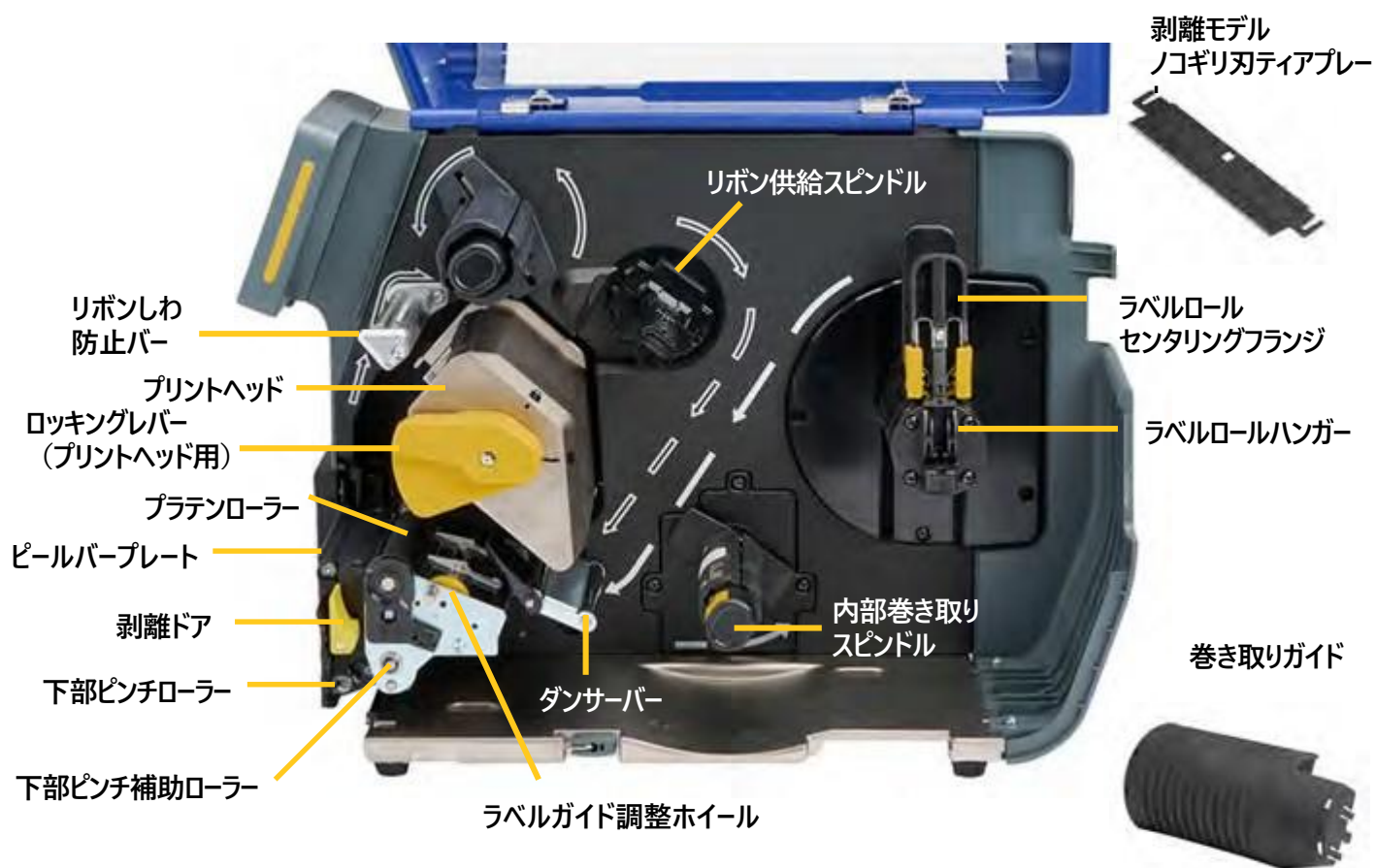
- 「センサーキャリブレーション」をタップし、画面の指示に従ってください。
- 画面の指示に従って、ラベルロールの種類とラベルセンサーの位置を確認し、ライナー単体とラベル付きライナーのセンサー値をそれぞれ測定させ、新しい測定値でラベルキャリブレーションを検証させます。
- センサーキャリブレーションが正常に完了すると、プリンターのラベルセンサーは、設置されている非i75シリーズの手動ラベルロールに合わせて最適化された状態に設定されます。
- センサーキャリブレーションのデフォルト値を復元する
 - プリンターに手動（非i75シリーズ）ラベルロールが設置されていることを確認してください。
 - ホーム画面から、「設定」>「システム設定」>「センサーキャリブレーション」をタップします。
 - プリントヘッドを開き、「デフォルトにリセット」をタップし、「はい」をタップします。

注：センサーキャリブレーションの実行、またはセンサーキャリブレーションの値のリセットは、手動印刷でのみ使用され、i75シリーズのラベルの使用や検知には影響しません。

- プリンターは、センサーキャリブレーションを正常に完了すると、印刷ジョブを受け取る準備が整います。
- 印刷品質を調整する必要がある場合は、「設定」>「印刷調整」に移動し、印刷スピード、印刷強度、プリントヘッド圧力を変更してください。必要な印刷品質が得られるまで繰り返し調整してください。

リボンとラベルのセット方法（剥離構成プリンタ）

剥離構成プリンターには、ティアオフ、剥離、内部巻き取りの3つの印刷モードがあります。このうち2つのモードでは、ラベルまたはライナーを内部巻き取り用巻き取りスピンドルに取り付ける必要があります。これは剥離構成プリンターに特有の仕様です。下記に説明する付属品の取り付け状態およびメディアの取り付け状態に特に注意してください。



重要！ 消耗品を設置する前に、使用する印刷モードに適した付属品が取り付けられているか、または取り外されていることを必ず確認してください：

- 剥離モードでは、ピールバープレートを取り付け、巻き取りガイドを取り外してください。（取り付けられている場合）
- 内部巻き取りモードでは、巻き取りガイドとピールバープレートの両方が取り付けられている必要があります。
- ティアオフモードでは、巻き取りガイドを取り外し、用紙を内部巻き取りスピンドルに取り付けないでください。ピールバープレートは、薄い紙のライナーを切り取るのに使用できます。また、厚い用紙を切り取る場合は、ピールモード用のノコギリ刃ティアプレートに交換することもできます。

重要！ 印刷モードを変更する際に、プリンター内部の巻き取りスピンドルにラベルが既に巻かれている場合は、プリンターからラベルを取り外し、ラベルが巻かれていない状態で印刷を開始することをお勧めします。

重要！ 感熱紙を使用する場合は、必ずリボンを取り外してください。

1. ロックレバーを開いてプリントヘッドを持ち上げます。
2. リボンをリボン供給スピンドルに設置します。

i75シリーズリボンをセットする場合

- リボン巻き取りスピンドルのバネ式シャフトが完全に奥まで押し込まれると、「カチッ」という音がしてロックされます。
 - リボンカートリッジの黒いキャップ側から、リボン供給スピンドルへ差し込みます。キャップの穴の平らな部分と、スピンドルの平らな部分を合わせてください。
 - リボンカートリッジが止まるまでスピンドルにスライドさせてください。
 - リボンはスピンドルの中央に設置され、インク面がラベルに接する向きになります。
 - ロールからリボンを引き出し、プリンターに表示されているリボン経路（白い輪郭線矢印）に従ってセットして行きます。
3. リボンをプリントヘッドの下に通し、前面から出して、次にリボンしわ防止バーの上を通り、リボン巻き取りスピンドルの下から通して、リボン巻き取りスピンドルの金属タブの下に差し込みます。
 - リボン巻き取りスピンドルを反時計回りに数回転させ、リボンがスムーズに引き出され、リボンのしわがなくなるまで回転させます。
 - プrintヘッドを開いたまま、ステップ5のラベルロールのセットに進みます。

手動（非i75シリーズ）リボンの装着時

- リボン巻き取りスピンドルのバネ式シャフトが完全に奥まで押し込まれると、「カチッ」という音がしてロックされます。
 - 設置したラベルに適合したインクリボンが使用されていることを確認してください。
 - リボンを設置した際に、インク面がラベルに接するようにします。
 - リボンロールをスピンドルにスライドさせて、スピンドル上およびラベル上の中央に位置していることを目視で確認してください。
 - ロールからリボンを引き出し、プリンターに表示されているリボン経路（白い輪郭線矢印）に従ってセットして行きます。
 - リボンをプリントヘッドの下に通し、前面から出して、次にリボンしわ防止バーの上を通り、リボン巻き取りスピンドルの下から通して、リボン巻き取りスピンドルの金属タブの下に差し込みます。
 - リボン巻き取りスピンドルを反時計回りに数回転させ、リボンがスムーズに引き出され、リボンのしわがなくなるまで回転させます。
 - プrintヘッドを開いたままにし、ステップ5のラベルロールのセットに進みます。
4. リボン装着ステップでプリントヘッドが開いたままになっていることを確認し、開いていない場合はロックレバーを開いてプリントヘッドを持ち上げます。

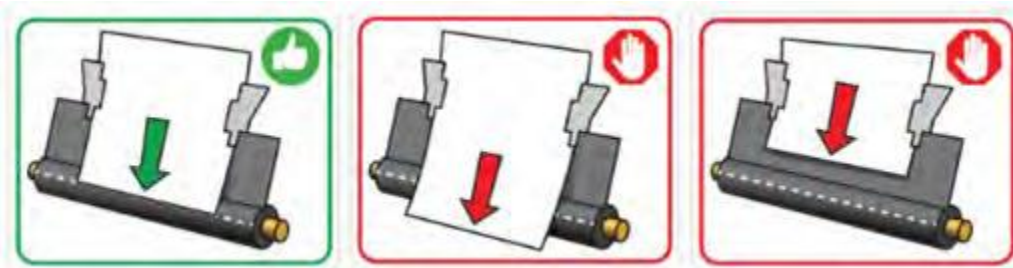
重要！ ラベルをセットする前に、ロール先端がまっすぐきれいにカットされていることを確認してください。これにより、ラベルが正しく位置合わせされ、正確な印刷が可能になります。

重要！ 感熱紙を使用する場合は、必ずリボンを取り外してください。

5. ラベルロールセンタリングフランジを下げ、ラベルロールをラベルロールハンガーに設置します。プリンターに表示されている白い矢印は、ラベルがロールからプリントヘッド送られる経路です。
6. ラベルロールセンタリングフランジを元の位置に戻してスライドさせてラベルロールに押し付け、ロールが中央に位置するようにします。

i75シリーズラベルをセットする場合

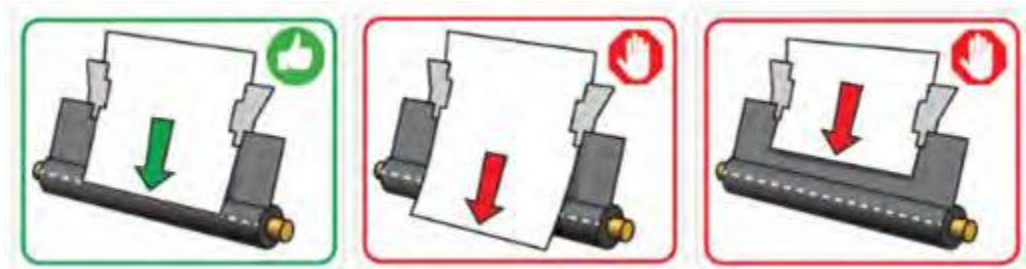
- プリンターの表示画面に「純正のBradyラベルロールが検出しました」と表示されます。表示されない場合は、ラベルロールを取り外し、ラベルロールハンガーに再度セットして、自動検出メッセージが表示されるまで繰り返してください。
- ラベルをダンサーの下に通し、ラベルガイドを通して、黄色のラベルガイド調整ホイールを回転させ、ガイドがラベルの端にわずかに触れるまでガイド幅を狭めてください。
- ラベルロールの先端が黒いゴム製プラテンローラーの中央に来るようにセットします。ローラーの手前や奥にセットしないでください。



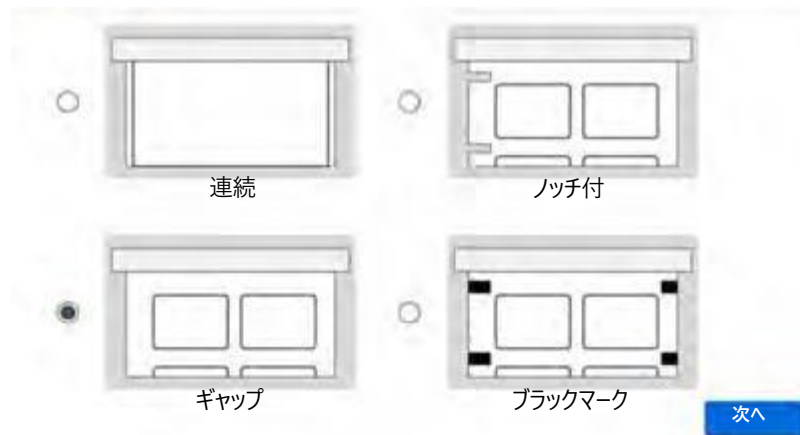
- その後、「次へ」をタップしてください。
- プリンターの画面に「プリンターモード」と表示されたら、表示されるオプション（切り離し、剥離、内部巻き取り）のいずれかをタップして選択してください。続行する前に、必要な付属品が取り付けられているか、取り外されているかを確認してください（特に印刷モードを変更する場合）。
- プリントヘッドを閉じます。
 - ティアオフモード：
 - プリンターは短い初期化動作を行い、印刷ジョブを受け付ける準備が整います。
 - ピールまたは内部巻き取りモード：
 - ラベルを印刷経路に通し、内部巻き取りスピンドルに取り付ける手順を説明するセットアップウィザードが表示されます。ラベルが既に巻き取りスピンドルに取り付けられている場合と、未取り付けの場合の両方の手順が含まれます。
 - ウィザード中に印刷モードを変更する場合、目的の印刷モードに応じて適切なアクセサリを取り付けるか取り外すことが重要です。
 - ウィザードが完了すると、プリンターは印刷ジョブを受け取る準備が整います。

手動（非i75シリーズ）ラベルのセット方法

- ラベルをダンサーの下に通し、ラベルガイドを通して、黄色のラベルガイド調整ホイールを回転させ、ガイドがラベルの端にわずかに触れるまでガイド幅を狭めてください。



- ラベルロールの先端が黒いゴム製プラテンローラーの中央に来るようにセットします。ローラーの手前や奥にセットしないでください。まだプリントヘッドを閉じないでください。



- プリンターに「ラベルロールの種類」が表示されます。設置したラベルのロールタイプをタップし、「次へ」をタップしてください。
- プリンターに「ラベルセンサー位置」が表示されます。図中の緑色のライトがセンサー位置です。ラベルを読み込める正しい位置に調整が必要です。



- 画面上のスライダーと矢印ボタンを使用してラベルセンサーを移動させます。大きな動きには黄色のスライダーを押しながらスライドさせ、細かい動きには矢印をタップします。
- センサーライトを画面上の図で示された様にラベルを読み込める正しい位置に調整して「次へ」をタップしてください。
- プリンターの画面に「ラベル印刷方法」と表示されたら、タップして「熱転写」または「感熱」のいずれかを選択し、「次へ」をタップします。
- プリンターの画面に「プリンターモード」と表示されたら、必要な付属品のみが取り付けられているか、確認してから（特に印刷モードを変更する場合は）、「切り取り」、「剥離」、「内部巻き取り」モードのいずれかを選択してタップし、「次へ」をタップします。
- プrintヘッドを閉じます。

• **ティアオフモード:**

- プリンターは、ホーム画面を表示します - 「給紙/キャリブレーション」をタップし、手動ラベル部分で簡易ラベルキャリブレーションを実行してください。
- プリンターは、ラベルセンサーがラベルロールの検出できるように、数枚のブランクラベルを排出します。
- ラベルセンサーが手動（非i75）ラベルの設置を正常に検知した場合は、プリントヘッドを開けないでください。印刷ジョブを受け付ける準備ができています。印刷品質の調整が必要な場合は、印刷スピード、印刷強度、印刷位置を調整してください。
- センサーが手動（非i75）で設置されたラベルを検知できない場合は、プリンターは次のオプションを表示します： - 再試行（推奨：ロールタイプとセンサー位置が正しく設定されていることを確認するため） - センサーキャリブレーションの実行（あまり一般的ではありません）。これは、ライナーとラベルの透過率の差が小さく検知が困難な非i75シリーズラベルを検出するために、ラベルセンサーをリセットする一連の拡張手順です。

再試行: プロンプトに従って設定を再確認し、ラベルキャリブレーションを再度実行してください。

センサーキャリブレーション: 表示に従いラベルセンサーを設置したラベルに再設定してください。センサーキャリブレーションが成功すると、プリンターは印刷ジョブを受け付ける準備が整います。

• **剥離または内部巻き取りモード:**

- ラベルを印刷経路に通し、内部巻き取りスピンドルに貼り付ける手順（未貼付時の手順を含む）を案内するセットアップウィザードが表示されます。
- これらの手順中、プリンターはまず設置された手動（非i75）ラベルの前端と後端を検出するため、素材に対する簡易的なラベルキャリブレーションを実行します。
- プリンターが手動（非i75）ラベルの装着を正常に検出すると、ウィザードは選択された印刷モードに従い、ラベルを巻き取りスピンドルに取り付ける手順を続行します。ウィザードが完了すると、プリンターは印刷ジョブを受け入れる準備が整います。
- センサーが手動（非i75）で設置された素材を検知できない場合、プリンターは次のオプションを表示します： - 再試行（推奨：ロールタイプとセンサー位置が正しく設定されていることを確認するため） - センサーキャリブレーションの実行（あまり一般的ではありません）。これは光学センサーをリセットする一連の拡張手順であり、ライナーとラベルの不透明度の差が小さく検知が困難な非i75シリーズ素材を検出できるようにします。

再試行: プロンプトに従って設定を再確認し、ラベルキャリブレーションを再度実行してください。成功した場合、ウィザードはプロンプトを継続し、選択した印刷モードに応じてラベル素材を

選択された印刷モードに従って巻き取りスピンドルに取り付ける手順を続行します。ウィザードが完了すると、プリンターは印刷ジョブを受け取る準備が整います。

センサーキャリブレーション：プロンプトに従い、光学センサーを装着済み素材の不透明度に再調整してください。センサーキャリブレーションが成功すると、ウィザードは選択した印刷モードに従い、ラベル素材を巻き取りスピンドルに取り付ける手順を続行します。ウィザードが完了すると、プリンターは印刷ジョブを受け取る準備が整います。

7. インストールされているラベルの種類に応じて、プリンターは印刷準備完了状態になるか、手動で非スマートラベルのキャリブレーションが必要になります。

175シリーズスマートラベルロールとi75シリーズスマートリボンを使用する場合

- キャリブレーション（ブランクラベルの送り出し）は不要です。印刷ジョブをプリンターに送信してください。

i75シリーズスマートラベルと手動リボンを使用する場合

- キャリブレーション（ブランクラベルの排出）は不要です。印刷ジョブをプリンターに送信してください。
- マニュアル（非i75シリーズ）リボンを使用しているため、希望の印刷品質を得るには印刷速度と熱量の微調整が必要になる場合があります。
 - 印刷品質の調整が必要な場合 - 「設定」>「印刷調整」に移動し、印刷速度、印刷エネルギー、プリントヘッド圧力を変更してください。必要な出力品質が得られるまで繰り返し調整してください。

手動（非i75シリーズ）ラベルロールといずれかのタイプのリボンを使用する場合

- ラベルキャリブレーションが必要です。
- ホーム画面の「送り/キャリブレーション」アイコンをタップして、ラベルキャリブレーションを実行してください。
- プリンターは、センサーがラベルの前端と後端、および切り欠きやノッチを検出できるように、数枚の空のラベルを送り出します。
 - センサーが手動（非i75）ラベル素材の設置を正常に検知した場合：
 - プリントヘッドを開けず、空白ラベルを破ったり切断したりしないでください。プリンターは印刷ジョブを受け付ける準備ができています。
 - 印刷品質の調整が必要な場合 - 「設定」>「印刷調整」に移動し、印刷速度、印刷エネルギー、プリントヘッド圧力を変更してください。必要な出力品質が得られるまで繰り返し調整してください。
 - センサーが手動（非i75）ラベル素材の設置を検知できなかった場合：
 - プリンターは、ロールタイプとセンサー位置が正しく設定されていることを確認するため「再試行」（推奨）するか、光学センサーをリセットする拡張手順である「センサーキャリブレーション」を実行するオプションを表示します。これにより、ライナーとラベルの不透明度差が小さく検知が困難な非i75シリーズ素材を検出できるようになります。

再試行:

- 「再試行」をタップし、プロンプトに従って設定を確認し、ラベルキャリブレーションを再度試行してください。

センサーキャリブレーション:

- 「センサーキャリブレーション」をタップし、画面の指示に従ってください。
- プロンプトが表示され、ロールタイプとセンサーライト位置の確認、ラベルなしライナーとラベル

付きライナーの別々のセンサー読み取り値の取得、そしてラベルキャリブレーションによる新規読み取り値の検証が求められます。

- センサーキャリブレーションが成功すると、手動プリンターセンサーはインストールされた非i75手動ラベル素材用に最適化されます。
- **センサーキャリブレーションのデフォルト値を復元する**
 - プリンターに手動（非i75スマート）ロールが取り付けられていることを確認してください。
 - ホーム画面から、「設定」>「システム設定」>「センサーキャリブレーション」をタップします。
 - プリントヘッドを開き、「デフォルトにリセット」をタップし、「はい」をタップします。

注：センサーキャリブレーションの実行、またはセンサーキャリブレーションの値のリセットは、手動印刷でのみ使用され、i75シリーズのスマートラベル素材の使用や検知には影響しません。

- プリンターがセンサーキャリブレーションを正常に実行および確認すると、プリンターは印刷ジョブを受け取る準備が整います。
 - 印刷品質の調整が必要な場合は、「設定」>「システム設定」>「センサーキャリブレーション」に進みます。
8. 最初のラベルが印刷されたら、それを取り外し、タッチスクリーンで「次へ」を押して、表示される各ラベルを取り外してください。

プリンターの初期設定

プリンターを初めて電源投入する際、タッチスクリーン上の指示に従って初回設定を行います。以下のセクションでは、将来設定を変更する必要がある場合に備え、これらの設定の詳細と、プリンター設定時に考慮すべき追加設定について説明します。

タッチスクリーンの使用方法については、[39ページ「タッチスクリーン」](#)を参照してください。印刷設定については、[53ページ「印刷調整」](#)を参照してください。

省電力モードについては、[8ページ「省電力モード」](#)を参照してください。

言語

タッチスクリーンのテキスト言語を設定するには：

1. プリンターの電源を入れた状態で、**[設定]**をタップします。
2. **「システム設定」**をタップし、**「言語」**を選択します。
3. 希望の言語をタップします。利用可能な言語をすべて表示するにはスクロールが必要な場合があります。画面をタッチし、指を上下にドラッグしてスクロールします。
4. 前の画面に戻るには戻る矢印をタップします。

キーボード

プリンターは、プリンターの名前を付ける場合など、データを入力する必要があるときに画面にキーボードを表示します。言語によって使用する文字セットが異なるため、異なる文字セットのキーボードが必要になる場合があります。デフォルトでは、プリンターは言語設定に応じた適切なキーボードを使用します。たとえば、プリンターの言語が簡体字中国語に設定されている場合、プリンターは自動的に簡体字中国語の文字が配置されたキーボードを表示します。デフォルトのキーボードのみを使用する場合は、キーボード設定を変更する必要はありません。

仮想キーボードの選択方法：

1. ホーム画面で**「設定」**をタップします。
2. **「システム設定」**をタップし、**「仮想キーボード」**を選択します。
サポートされているキーボードの一覧が表示されます。
3. プリンター使用時に利用可能にしたい各キーボードのチェックボックスをタップします。複数のキーボードを選択できます。デフォルトのキーボード（プリンター言語用）はリストの上部に表示され、選択解除できません。
キーボードを後で使用すると、デフォルトのキーボードが表示されます。地球儀アイコンをタップすると、有効な別のキーボードに切り替わります。地球儀アイコンをタップするたびに、表示が別の有効なキーボードに切り替わります。

外部キーボードを接続するには：

1. キーボードのUSBケーブルをプリンターのUSBポートに接続します。
2. ホーム画面で「設定」をタップします。
3. 「外部ハードウェア」を選択します。
4. 「USBキーボード」を選択し、リストから適切なキーボードの種類を選びます。

測定単位

測定単位をインチまたはミリメートルに設定します。

測定単位を設定するには：

1. ホーム画面から、「設定」をタップします。
2. 「システム設定」をタップし、次に「測定単位」をタップします。
3. 「インチ」または「ミリメートル」をタップします。
4. 前の画面に戻るには戻る矢印を、ホーム画面に戻るにはホームアイコンをタップします。

日付と時刻

プリンターの時計を現在の日付と時刻に設定します。

日付と時刻を設定するには：

1. ホーム画面から「設定」をタップします。
2. 「システム設定」をタップし、次に「日付と時刻」をタップします。
画面左側に現在の設定が表示されます。
3. 設定を変更するには、右側のコントロールをタップしてください。
 - **24時間形式を使用**：スイッチをタップして、24時間形式と午前/午後表示の12時間形式を切り替えます。スイッチが赤色のときは、プリンターは12時間形式を使用します。スイッチが緑色のときは、プリンターは24時間形式を使用します。
 - **日付の設定**：タップすると日付コントロールが表示されます。日付を変更するには、要素をタップして新しい値を選択するか、要素の上下にある矢印をタップします。
 - **時刻設定**：タップすると時刻コントロールが表示されます。時刻を変更するには、要素をタップして新しい値を選択するか、要素の上下にある矢印をタップしてください。
 - **タイムゾーン設定**：タップすると利用可能なタイムゾーンが表示されます。希望のタイムゾーンをタップしてください。
4. 戻る矢印をタップすると前の画面に戻ります。ホームアイコンをタップするとホーム画面に戻ります。

保存場所

プリンターがメモリからファイルにアクセスするか、USB ドライブからアクセスするかを選択します。

保存場所の設定方法：

1. ホーム画面から「設定」をタップします。
2. 「システム設定」をタップし、次に「ストレージ場所」をタップします。
3. 希望の値をタップします。
 - **内部メモリ**：このオプションを選択すると、プリンターの内部メモリにファイルを保存したり、プリンターからファイルを印刷したりできます。ホーム画面で「ファイル」をタップすると、プリンターはプリンターの内部メモリにあるファイルの一覧にアクセスします。さらに、Brady Workstation または Brady Express Labels アプリからファイルを印刷し、Brady Workstation で「プリンターに保存」オプションを選択すると、そのファイルはプリンターのディスプレイと印刷キューを使用して後でスタンドアロン印刷するためにプリンターの内部メモリに保存されます（[45ページ](#)参照）。
 - **外部メモリ**：プリンターに挿入されたUSBドライブにファイルを保存したり、そこから印刷したりするにはこのオプションを選択します。ホーム画面で「ファイル」をタップすると、プリンターは挿入されたUSBドライブ上のファイル一覧にアクセスします。さらに、USBドライブを挿入した状態でBrady Workstationからファイルを印刷し、Brady Workstationで「プリンターに保存」オプションを選択した場合、そのファイルはプリンターの内部メモリを経由せず、挿入されたUSBドライブに直接保存されます。このUSBドライブは任意のi7500プリンターに挿入でき、プリンターのディスプレイと印刷キューを使用してファイルを単独印刷できます（[46ページ](#)参照）。

注：ファイルサイズが105MB以上の4x6ラベル用印刷ジョブは外部ストレージからインポートできません。これらの印刷ジョブはプリンターに直接保存してください。詳細は[42ページ](#)「[プリンターへのファイル保存](#)」を参照してください。

4. 戻る矢印をタップすると前の画面に戻ります。またはホームアイコンをタップしてください。

パスワード

設定

パスワードを設定すると、プリンターの設定変更へのアクセスを制限できます。

パスワードを設定するには：

1. ホーム画面から「**設定**」をタップします。
2. 「**プリンターパスワード**」をタップします。
3. パスワードを有効にするには、スイッチをタップします。
スイッチが灰色の場合、無効です。スイッチが青色の場合は有効です。
4. 「**プリンターパスワード**」をタップします。
5. パスワードを入力してください。パスワードは8文字以上で、以下の条件を満たす必要があります：
 - 数字
 - 大文字のアルファベット
 - 小文字のアルファベット
6. 仮想キーボードのEnterキーをタップしてください。
7. パスワードを再入力し、仮想キーボードのEnterキーをタップしてください。
8. 「**詳細設定**」をタップし、変更時にパスワードが必要な設定を選択します。

変更

既存のパスワードを変更するには：

1. ホーム画面から「**設定**」をタップします。
2. 「**プリンターパスワード**」をタップします。
3. 「**プリンターのパスワードを設定**」をタップします。
4. 既存のパスワードを入力し、仮想キーボードのEnterキーをタップしてください。
5. 新しいパスワードを入力してください。パスワードは8文字以上で、以下の条件を満たす必要があります：
 - 数字
 - 大文字のアルファベット
 - 小文字のアルファベット
6. 新しいパスワードをもう一度入力して確認してください。
7. 仮想キーボードのEnterキーをタップしてください。

再設定

忘れたパスワードを再設定するには：

1. ホーム画面から「**設定**」をタップします。

2. 「プリンターパスワード」をタップします。
3. 「パスワードを忘れた場合は」をタップします。
4. テクニカルサポートに電話してください（[連絡先情報はivページ](#)を参照）
5. テクニカルサポートから提供されたプリンターキーを入力してください。
6. 新しいパスワードを作成してください。パスワードは8文字以上で、以下の条件を満たす必要があります：
 - 数字
 - 大文字のアルファベット
 - 小文字のアルファベット
7. 新しいパスワードをもう一度入力して確認してください。
8. 仮想キーボードのEnterキーをタップしてください。

通知

プリンターの特定の警告を表示しないようにします。

通知をオフまたはオンにするには：

1. ホーム画面から「設定」をタップします。
2. 「通知」をタップします。
3. 選択したい項目の横にあるスイッチをタップして有効化または無効化します。スイッチが灰色の場合、オフ状態です。スイッチが青色の場合はオン状態です。

アクセサリ

標準およびカッター構成プリンター

- **プリントヘッド**
 - 利用可能な DPI - 300および600
 - プレイディ製i7500プリントヘッドのみ本プリンターに対応
 - プリンターのファームウェアバージョンが2.0以上であれば、キャリブレーションやファームウェアの更新を必要とせず、いずれのdpiのプリントヘッドにも交換可能
- **オートカッター**
 - ヘビーデューティーギロチン式自動カッター - ラベルメディアの完全カット
 - パーフォレーションカッター - 部分カット設定により、ラベルの出力ストリップは完全な状態を保ちつつ容易に分離可能。または各ラベル後に完全カット設定も可能
 - カッターは標準構成プリンターに、付属のT-20レンチを使用して簡単に取り付け可能
 - カッターはピール構成プリンターとは互換性がありません
- **カッタートレイ（交換用）**
 - カット済みラベルの回収用 - オートカッターアクセサリ前面のスロットにクリップで固定
 - カッタートレイはギロチン式自動カッターアクセサリに付属
- **標準およびモデル用 ノコギリ刃ティアプレート（交換用）**
 - ノコギリ刃エッジ - ラベル間の紙ライナーおよび連続紙ラベルを破断（厚手ライナー、非紙ライナー、連続非紙製ラベルには推奨されません）
 - 付属のT-20レンチでプリンターに簡単に取り付け可能
 - 自動カッターアクセサリとの併用不可
 - ピール構成プリンターとは互換性なし
 - ティアプレートは標準構成プリンターに付属
- **T-20レンチ（交換用）**
 - 全プリンターに標準装備され、プリンター内部に収納されています
 - 付属品の取り付けや取り外し、および特定の外部給紙アプリケーションにおけるリアハウジングの取り外しに使用します。
- **プラテンローラー**
 - 幅25mm、50mm、80mm、114mmから選択可能（全プリンターに114mmが標準装備）
 - 摩耗または損傷したプラテンローラーを交換すると、印刷品質が向上し、印刷エネルギー（プリントヘッドに加える熱）を増やす必要性が減少します
 - 狭いラベルに狭いリボンを使用する場合、狭いプラテンローラーを使用するとプリントヘッドの摩耗を軽減できます
 - プラテンローラーの幅は、ラベルとリボンの幅よりも常に広くしてください
 - 付属のT-20レンチを使用して、簡単にプラテンローラーを取り外し・取り付けできます

ピール構成プリンター

- **滑らかなエッジのピールバープレート（交換用）**
 - ラベルを剥離し、簡単にラベルを取ることができます。
 - ピール設定プリンターに装着済みで出荷
 - 標準プリンターおよび構成プリンターには非対応
- **ピール構成用ノコギリ刃ティアプレート（交換用）**
 - ラベル間の紙ライナーおよび連続紙ラベルを切り取るためのノコギリ刃エッジ（厚紙ライナー、非紙ライナー、連続非紙ラベルの切り取りは非推奨）
 - ピールモードで印刷せず、引き剥がしモードでラベルの切り取りが必要な場合に使用
 - ピール構成プリンターには、このプレートが同梱されています
 - 標準またはカッター構成プリンターとは互換性がありません
- **巻き取りガイド（交換用）**
 - 印刷済みラベルを内部巻き取りするピール構成プリンター用
 - ピール構成プリンターにはこのガイドが同梱されています
 - ピール構成プリンター前面に取り付け（スナップフィット）
 - 標準、またはカッター構成プリンターには非対応
- **内部巻き取り用 1.5インチ径 巻き取りコア（予備コア）**
 - ピール構成プリンター用。使用済みライナーまたは印刷したラベルを内部で巻き取るために使用します。
 - 内径1.5インチ
 - ピール構成プリンターには、このコアが1個付属しています。
- **ラベル取り出しセンサー**
 - ピール構成プリンター用オプションアクセサリ
 - センサーは剥離されたラベルを検知し、剥離されたラベルを取り除くとジョブ内の次印刷と剥離を自動的に開始します。
 - センサーがない場合、次のラベルの印刷はタッチスクリーンを手動でタップすることで開始されます。
 - 本体に搭載されているT-20レンチを使用して、ピール構成プリンターに取り付けます。
- **プリントヘッドとプラテンローラー**
 - [37ページ](#)のプリントヘッドとプラテンローラーもピール構成プリンターと互換性があります。
 - ピール構成プリンターには114mmプラテンローラーが付属しています。

アクセサリの取り付け方法については、アクセサリに付属の説明書を参照してください。

3. 基本操作

タッチスクリーン

プリンターのタッチスクリーンを使用して、設定の構成、ステータスの確認、ラベルの印刷などの機能を利用できます。画面をタッチして選択するには、指または付属のスタイラスを使用してください。

重要！ ペンやその他の鋭利な物を使用しないでください。タッチスクリーン表面を損傷する恐れがあります。タッチスクリーン用にスタイラスが付属しています（交換部品番号 STYLUS-CAP）。必ず柔らかいゴム製の先端部分のみを使用してください。

明るさの変更方法：

1. ホーム画面で「設定」をタップします。
2. 「ディスプレイ」をタップします。
3. 「明るさの調整」をタップします。
4. スライダーまたはプラスとマイナスのボタンを使用して、明るさを上げたり下げたりしてください。



注：カットボタンはカッターが取り付けられている場合にのみ表示されます。

- | | | | |
|---|---|---|----------------------|
| 1 | プリンター名（デフォルトはシリアル番号）には、取り付けられているプリントヘッドのタイプに応じて300または600が含まれます。 | 6 | Bluetooth、特定モデルで利用可能 |
| 2 | プリンタステータス | 7 | イーサネット接続 |
| 3 | ラベル供給状況、サイズおよび部品番号 | 8 | Wi-Fi 状態（特定モデルで利用可能） |
| 4 | リボン供給状態、サイズおよび部品番号 | 9 | 時計 |
| 5 | USB接続 | | |

ナビゲーションおよびステータスバー



ホームボタンをタップすると、いつでもホーム画面に戻ることができます。



戻るボタンをタップすると、前の画面に戻ります。



追加オプションについては、その他メニューをタップしてください（一部の画面では利用できません）。



選択を確定するには、Enterボタンをタップしてください。



タップして削除します。



デフォルトにリセット（すべての画面で利用可能ではありません）。

ホーム画面下部のステータスバーにあるプリンターおよび材料ステータスアイコンは、以下の情報を提供します。

アイコン	意味
	これらのアイコンの横にあるテキストは、プリンターにセットされているラベルおよびリボン材料を示します（i-75 シリーズ材料を使用している場合）。
	i75 シリーズスマート材料を使用している場合、プリンターがラベルまたはリボンのメモリセルを読み取れません。ラベルまたはリボンが装着されていない、正しく装着されていない、またはメモリセルが破損している可能性があります。
 点滅	プリンターは、USB ケーブルで接続されたコンピューター、またはネットワークからデータを受信しています。

材料詳細

インストール済みのi75シリーズスマートサプライの詳細情報を確認するには、ステータスバーのラベルまたはリボン部品番号をタップして「材料詳細」画面を開きます。手動サプライについては情報が表示されません。

画面を閉じるには、右上の×をタップしてください。



ラベル作成

ブレイディ ワークステーション

i7500ラベルプリンターは、Brady WorkstationデスクトップソフトウェアおよびBrady Express Labelsアプリと互換性があります。ラベルファイルを初めて作成する際、プリンターを指定します。これにより、ソフトウェアがプリンター固有の機能を提供できるようになります。また、ソフトウェアはプリンターにインストールされているすべてのi75シリーズスマートラベルを自動的に認識するため、ラベル作成がより簡単かつ迅速になります。ドライバーのインストールは不要です。

他のソフトウェアでのプリンター操作については、ご利用のアプリケーションのドキュメントを参照してください。サードパーティ製ソフトウェアを使用する場合はプリンタードライバーが必要です。[15ページ「プリンタードライバーのインストール（任意）」](#)を参照してください。

プリンターへのファイル保存

Brady Workstationソフトウェアを使用すると、印刷時にオペレーターがBrady Workstationにアクセスできない場合でも、ファイルを直ちに印刷するか、プリンターに保存して必要時にスタンドアロン印刷できます。プリンターディスプレイから直接操作可能です。詳細は[45ページ「プリンターに保存された印刷ジョブ」](#)を参照してください。

注記：プリンターにジョブを保存する場合、ジョブは約500ラベルまで、かつ2MB未満のサイズに制限されます。ジョブサイズが大きくなる要因には、グラフィック、埋め込みシリアル化、ラベルの物理サイズが含まれます。

プリンターの内部メモリにファイルを保存するには：

1. プリンターがUSBケーブルでコンピューターに接続されていることを確認してください。
2. プリンターのホーム画面にある設定アイコンから、保存場所の設定を「**内部メモリ**」に設定します。
手順については、[34ページ「保存場所」](#)を参照してください。
3. Brady Workstationソフトウェアでファイルを開き、印刷画面に移動して数量や丁合などの調整を行います。

注：i7500プリンターに接続している場合、ソフトウェアではPCからファイルをすぐに印刷するか、プリンター画面から後で印刷するためにプリンターに保存するかのオプションが提供されます。ソフトウェアの右下隅にある大きな青い「印刷／保存」ボタンで、この2つのオプションを切り替えることができます。

4. プリンターに保存するオプションを選択するには、「印刷」ボタンの横にある小さな矢印を使用して「プリンターに保存」を選択します。
5. 「保存」ボタンをタッチし、プロンプトが表示されたらファイル名を入力してください。

注：BWSでファイルを保存する際に印刷設定がロックされている場合、プリンター側の対応する設定は無効化されます。

複数のプリンターにファイルを保存するには：

Brady Workstationを実行しているコンピューターを各プリンターに順番に接続し、上記の手順に従ってプリンターにファイルを保存します。USBドライブを使用した保存はできません。

プリンターの内部メモリに保存されたファイルを削除するには：

1. プリンターの保存場所が「内部メモリ」に設定されていることを確認してください。
手順については、[34ページ「保存場所」](#)を参照してください。
2. プリンターのホーム画面で「**ファイル**」をタップします。
3. 削除したいファイルを探します。[50ページ「ファイルリスト」](#)を参照してください。
4. ファイルをタップして選択し、画面右上の詳細メニューボタンをタップします。
5. ファイルを削除します。

プリンターから直接スタンドアロン印刷を行うために、ファイルをUSBドライブに保存して後で使用するには、[46ページ「USBドライブからの印刷」](#)を参照してください。

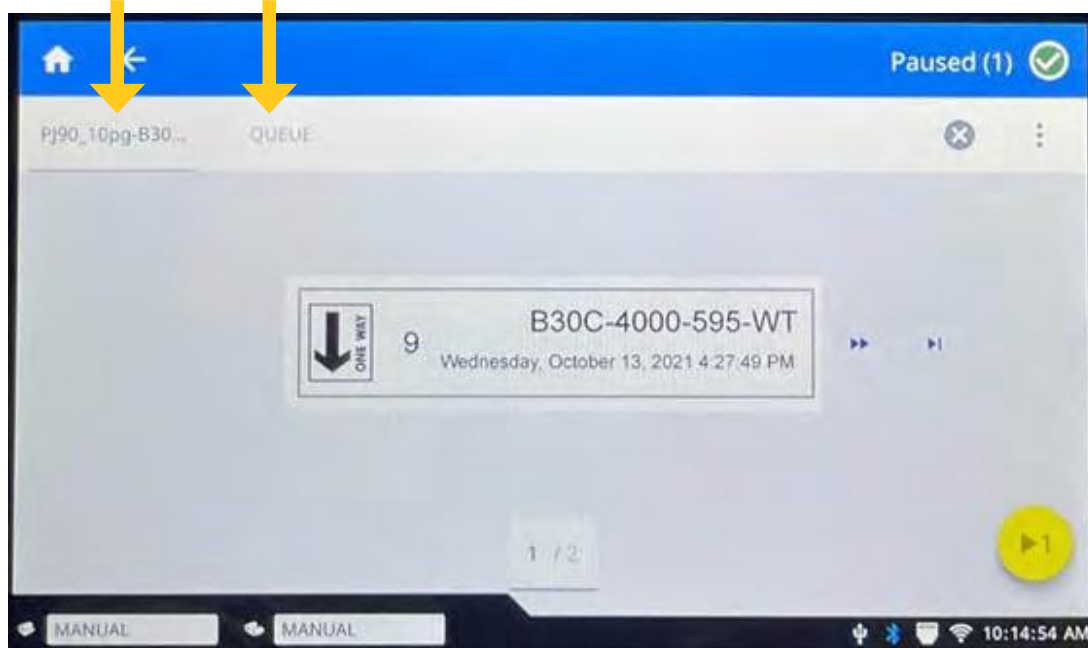
印刷画面

印刷中は印刷画面が表示されます。

印刷が開始されると、タッチスクリーンには印刷中のラベル画像、カウンター、一時停止ボタンが表示されます。印刷を一時停止すると、以下に示すように追加オプションが利用可能になります。










ファイル名

印刷キュー



注意！スマートサプライを使用する場合、ファイルに適合しない種類のラベルがプリンターにセットされていると警告メッセージが表示されます。この警告メッセージを無視する際は注意が必要です。プリンターにセットされたラベルサイズや種類が印刷ファイルに適さない場合、廃棄物が発生する可能性があります。

以下の表は、印刷ジョブが実行中または一時停止中のタッチスクリーン上の操作項目と情報を説明します。

アイコン	説明
	次のラベルに移動します。（印刷ファイルにラベルが1つしか含まれていない場合は利用できません。）
	前のラベルに移動します。（印刷ファイルにラベルが1つしか含まれていない場合は利用不可）
	ファイルの最後のラベルに移動します。（印刷ファイルにラベルが1つしか含まれていない場合は利用不可）
	ファイルの最初のラベルに移動します。（印刷ファイルにラベルが1つしか含まれていない場合は利用不可）
	印刷。印刷を開始または再開します。（アイコンの横にある数字は、次のラベルが印刷されることを示します。）
	<p>印刷を一時停止します。ジョブは停止し、直ちにカットされません。</p> <p>カバーを開けることができます。プリントヘッドが持ち上げられていない限り、印刷ジョブを再開できます。これにより、現在のラベルを給紙または給紙 & カットし、次のラベルのダイカットを再開できます。</p> <p>または、連続ラベルで再開するには、現在のラベルを2インチ（50mm）分送りまたは送り切りできます。次のラベルに進みカットします。</p> <p>リボン交換のためにプリントヘッドを持ち上げると、プリンターの位置合わせが失われ、現在のラベルがカットされます。</p>
ラベル番号	ラベルファイル内の現在の位置と、ラベルの総数が表示されます。特定のラベルにジャンプするには、現在のラベル番号（四角形で囲まれている）をタップしてください。キーパッドが開きます。キーパッドでラベル番号をタップし、Enterボタンをタップしてください。
	キャンセル。印刷が一時停止している場合にのみ使用可能。
	その他のメニュー。現在の印刷ジョブのみにオンデマンド印刷機能を有効にする制御を提供します。機能の説明については、 55ページ「オンデマンド印刷」 を参照してください。
	<p>ファイル情報アイコンは、単一ファイルが選択されている場合にのみ表示されます。タップすると、以下の内容で構成されるファイル情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ファイル内の最初のラベルの画像。 • ファイルが作成されたラベルの種類。 • ラベルのサイズ。 • ファイル内のラベル枚数。 • ファイルの作成日。 • ファイルのサイズ（バイト単位）。 <p>情報画面からファイルを削除または印刷することもできます。</p>

ラベルの印刷

ラベルを印刷する際は、以下の点に注意してください：

- プリンターは、選択したカット設定に従い、ラベル行の間またはジョブ終了時にカットします。[55ページ「自動カット」](#)を参照してください。
- ラベルまたはリボンが装着されていない場合、印刷は開始されず、消耗品の装着を促すメッセージが表示されます。
- 印刷中にプリントヘッドを開けると、印刷が一時停止し、カバーを閉じるよう促すメッセージが表示されます。印刷画面の再生ボタンをタップすると印刷を再開できます。
- ラベルは印刷後すぐに剥がしてください。

ソフトウェアからの印刷

最も簡単な印刷方法は、Brady WorkstationソフトウェアまたはBrady Express Labelsアプリで印刷を開始すると、ファイル内のすべてのラベルがすぐに印刷されます。

印刷するには：

1. プリンターで「オンデマンド印刷」が希望の状態に設定されていることを確認してください。詳細は[55ページ「オンデマンド印刷」](#)を参照してください。
2. Brady WorkstationソフトウェアまたはBrady Express Labelsアプリでラベルファイルを開き、印刷を開始します。
 - **オンデマンド印刷がOFFの場合：**ファイル内の全ラベルがオペレーターの操作なしに印刷されます。
 - **オンデマンド印刷がONの場合：**プリンターは印刷対象のラベルを表示します。オペレーターはタッチスクリーン上の印刷ボタンをタップし、ファイル内の各ラベルを個別に印刷する必要があります。印刷中のタッチスクリーン操作については、[43ページ「印刷画面」](#)を参照してください。

プリンターに保存された印刷ジョブ

この方法は、内容や数量を変更せずに頻繁に印刷されるファイルに非常に効率的です。また、ラベルの内容が変更されないようにする必要がある場合にも最適です。ただし、プレイダイアイコンで示されるBrady Workstationファイルの印刷設定は変更可能です。

内部メモリに保存されたジョブを印刷するには：

1. プリンターの保存場所が「内部メモリ」に設定されていることを確認してください。設定は「**設定**」>「**システム構成**」からアクセスできます。
手順については、[34ページ「保存場所」](#)を参照してください。
2. プリンターのホーム画面で「印刷」をタップします。
3. 印刷したいファイルをタップします。選択した順序で各ファイルが印刷キューに追加されます。
ファイルリストの使用法（検索や並べ替えを含む）の詳細については、[50ページ「ファイルリスト」](#)を参照してください。
4. 右上の印刷ボタンをタップします。詳細は[43ページ「印刷画面」](#)を参照してください。

USBドライブからの印刷

複数のプリンターからスタンドアロン印刷を行う場合、印刷ジョブをUSBドライブに保存することで移動性を高められます。USBドライブをプリンターに挿入すると、保存されたジョブをプリンター画面から印刷できます。

印刷ジョブをUSBドライブに保存する:

1. プリンターがUSBケーブルでコンピューターに接続されていることを確認してください。
2. プリンターで、「設定」>「システム設定」からアクセスできる「保存場所」設定を「外部ストレージ」に設定します。34ページ「保存場所」を参照してください。
3. プリンターのUSBポートにUSBドライブを挿入します。
4. Brady Workstationソフトウェアでラベルファイルを開き、印刷画面に移動します。
 - a. i7500プリンターが選択されていない場合は選択します。
 - b. 印刷設定を必要に応じて設定します。これには部数、ソート、裁断オプションなどの詳細設定が含まれます。これらの設定はすべて、印刷ジョブがUSBドライブに保存される際に一緒に保存されます。
 - c. 印刷ボタンの矢印をクリックし、「プリンターに保存」を選択します。ボタン名は「保存」に変わります。
 - d. [保存]をクリックし、印刷ジョブの名前を入力します。

印刷ジョブは現在、プリンターに挿入されているUSBドライブに保存されています。（プリンター内部メモリには保存されていません。）このUSBドライブを、同じdpi設定の別のi7500ラベルプリンターに挿入し、USBドライブからジョブを印刷することができます。
 - e. USBドライブからプリンターの内部メモリへジョブを転送することはできません。ジョブをプリンターの内部メモリに保存する唯一の方法は、13ページに記載されているように、USBケーブル経由でPCからプリンターへ直接保存することです。

注：BWSでファイルを保存した際に印刷設定がロックされていた場合、プリンターの対応する設定は無効化されます。

USBドライブからの印刷ジョブ:

1. プリンターの保存場所が「外部ストレージ」に設定されていることを確認してください。手順については34ページ「保存場所」を参照してください。
2. プリンターのホーム画面で「印刷」をタップします。
3. 印刷したいファイルをタップします。選択した順序で各ファイルが印刷キューに追加されます。ファイルリストの使用方法（検索や並べ替えを含む）の詳細については、50ページ「ファイルリスト」を参照してください。
4. 右上の印刷ボタンをタップします。詳細は43ページ「印刷画面」を参照してください。

USBドライブに保存されたジョブを削除するには：

1. プリンターの保存場所が「外部ストレージ」に設定されていることを確認してください。手順については、[34ページ「保存場所」](#)を参照してください。
2. プリンターのホーム画面で「ファイル」をタップします。
3. 削除したいファイルを探します。詳細は[50ページ「ファイル一覧」](#)を参照してください。
4. ファイルをタップして選択し、右上の詳細メニューボタンをタップします。
5. **削除アイコン**をタップします。

両面スリーブの印刷

i75 シリーズ両面スリーブの 2 パス印刷は、標準構成または自動カット構成のプリンターでのみサポートされており、以下の付属品および注意事項があります。

- スリーブを印刷する際は、オートカッター印刷モードで使用するヘビーデューティギロチンオートカッターアクセサリの使用を強く推奨します。
- 切り取りプリントモードでのノコギリ刃ティアプレートの使用は、細心の注意を払えば可能ですが、推奨されません。したがって、ピール構成プリンターは自動カッターに対応しておらず、両面スリーブの印刷には**推奨されません**。
- 手動式（i75シリーズ以外）の両面スリーブロールでの印刷は推奨されず、サポート対象外です。

注記：非黒色両面スリーブを最高品質で無駄なく印刷するには、i75シリーズスマートスリーブロールとブレイディオワークステーションソフトウェアの併用が必須です。

プリンターは、i75シリーズ両面スリーブの両面を、先頭のスリーブを無駄にすることなく印刷できます。両面スリーブを印刷する場合、面1はロールから直接印刷します。面2を印刷するには、画面の指示に従い、ジョブ終了時にラベル供給をカットした後、印刷済みの面1スリーブストリップを、空白面を上にしてプリンター背面にセットし、2回目の印刷を行います。

注記：両面スリーブを印刷する場合、印刷済みストリップの全長は5インチ（127mm）以上である必要があります。これにより、ラベルストリップの端（表面のみ）が光学センサーを覆い、印刷を開始します。裏面を印刷する際は、先頭端がプラテンローラーの中央に位置している必要があります。

注：黒い両面スリーブに印刷する場合、プリンターは最初のラベルを空白のまま送り出します。このスリーブは取り外さないでください。裏面を印刷するためのストリップを取り付ける際は、空白のスリーブを含むストリップの先頭端を、黒いゴム製プラテンローラーの中央の正しい位置に送り込んでください。空白のスリーブはスキップされ、2枚目のスリーブから印刷が開始されます。

ヘビーデューティギロチン自動カッターを装着した状態でi75シリーズ両面スリーブを印刷するには：

1. 自動カッターの取り付け方法については[83ページ](#)を参照してください。
2. 「設定」>「印刷調整」>「印刷モード」>「現在の動作モード」をタップし、オートカッターを選択します。
3. Bradyワークステーションの両面スリーブ印刷ジョブの印刷を開始します。
4. 片面1の印刷が完了すると、プリンターは自動的に印刷終了位置でカットし、裏面2の準備方法と操作ボタンを表示します。**ボタンをタップせず、指示を読み終えてから操作してください！**



5. 黄色いレバーでプリントヘッドを開きますが、スリーブのロールは取り外さないでください。
6. ラベルロールを装着した状態で、ロールを反時計回りに回転させ、材料の先端を約12インチ（305mm）後方に引き、印刷経路を空にします。

注：ラベルロールはプリンター内に残しておく必要があります。残しないとエラー状態になります。

7. 印刷済みスリーブストリップの先端を、ラベル面を上にして、新しいラベルをセットするように、プリントヘッド下部の印刷経路内、ラベルガイドの間に挿入します。先端が黒いゴム製プラテンローラーの中央に来たところで停止させます。

注：長いスリーブストリップを容易に挿入するため、ストリップをプリンター後部のスロットから挿入し、上部または設置済みのスリーブロールの後方・下方に渡して通すことができます。また、T-20レンチを使用して後部グレーハウジングを取り外すと、スリーブストリップ挿入時のクリアランスを確保できます。



注：裏面印刷パスでは、ストリップの正しい端を挿入するように注意してください - 「最初のスリーブを最初に入れる」

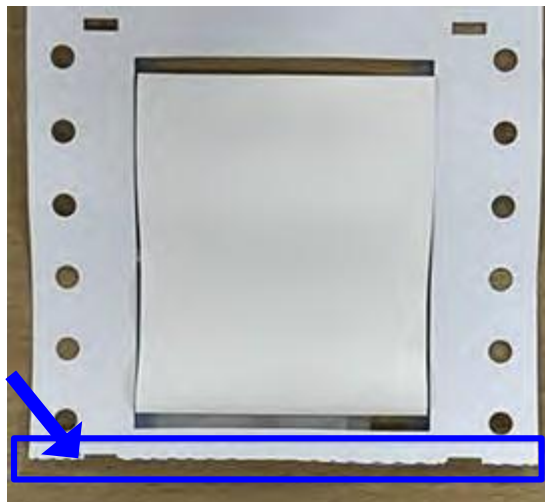
8. 黄色いレバーでプリントヘッドを閉じます。
9. ラベルが往復移動した後、プリンターのディスプレイで「PRINT SIDE 2」をタッチします。

ノギリ刃ティアプレート付きi75シリーズ両面スリーブを印刷するには：

1. ギザギザの切り取りプレートを取り付けます。
2. 「設定」>「印刷調整」>「印刷モード」>「現在の動作モード」をタップし、「切り離し」を選択します。
3. 印刷を開始します。
4. 片面1の印刷が完了すると、「片面1完了」というメッセージが表示されます。
5. 最後のラベルの後に手で切り離すか、手動でカットしてください。カットする余分なスペースが不要な場合は、OKをタップして手順6に進みます。

注：はさみで切断するための余分なスペースが必要な場合は、「OK」をタップしないでください。プリントヘッドを開き、材料を前方へ引き出して切断してください。その後、「ヘッドオープン」画面で「OK」をタップし、「切り離すか切断するか」画面で「OK」をタップします。その後、手順6に進みます。

注：先端部のエッジノッチは、ノッチの中心を通るように切断する必要があります。ティアプレートを使用してこれが達成できなかった場合は、はさみでまっすぐに切り揃えてください。



6. 「面2の準備」というメッセージとボタンが表示されます。
7. 印刷されていない用紙の先頭端をガイドから後方へ押し出し、ロールに戻します。ただし、ロール自体を取り外さないでください。
これにより印刷経路がクリアされます。
注：ラベルロールはプリンター内に残しておく必要があります。取り外すとエラー状態になります。
8. スリーブのストリップをラベルガイドに通し、先端が黒いゴムローラーのすぐ先に来るように前方へ引き出します。スリーブのストリップが長い場合は、後端をプリンター背面のスリットから通すことができます。
 - 先頭端は印刷順序の最初のスリーブでなければなりません。
 - 印刷面は下向きにしてください。
9. カバーを閉じて、タッチスクリーンで「印刷面2」をタップします。

ファイルリスト

ファイルリストを使用して、ファイルの管理と選択、およびファイルに関する情報の確認を行います。

ファイルリストの使用方法：

1. ファイルリストを開きます。
 - ホーム画面で「**ファイル**」をタップすると、ファイルの一覧を表示したり、ファイル情報を確認したり、ファイルを削除したりできます。
 - ホーム画面で「**印刷**」をタップすると、印刷可能なファイルの一覧が表示されます。一部のファイルタイプでは、ファイルの印刷やラベル枚数の変更にも使用することをお勧めします。
2. 正しいファイル場所が選択されていることを確認してください。ファイル場所の横にある下向き矢印をタップし、目的の場所をタップします。
 - **内部メモリ**には、プリンターに保存されているファイルが表示されます。
 - **外部ストレージ**には、プリンターに接続されたUSBドライブ上のファイルが表示されます。
3. 必要に応じてファイル一覧の表示を変更できます。右上の詳細メニューボタンをタップし、以下のいずれかをタップしてください。
 - **サムネイル表示**では、ファイルがサムネイル画像のグリッドで表示されます。
 - **リスト表示**では、ファイル名を一覧表示します。
4. 操作したいファイルを探します。画面上で指を上下にドラッグしてファイル一覧をスクロールします。一覧の絞り込み方法については、下記の「[検索、並べ替え、フィルタリング、変更](#)」を参照してください。
5. ファイルをタップして選択します。
複数のファイルをタップできます。選択後、ファイル情報を表示したり、印刷可能な種類のファイルであれば印刷したりできます。

検索、並べ替え、フィルタリング、変更

ファイルリストが長い場合、検索、並べ替え、フィルタリングを行うことで目的のファイルを素早く見つけることができます。ファイルリストの表示方法については、上記の「[ファイルリスト](#)」を参照してください。

リスト内でラベルを検索するには：

1. ファイル一覧を開いた状態で、右上隅にあるその他のメニューアイコンをタップします。
2. 「**検索**」をタップします。
3. タッチスクリーンに表示されるキーボードを使用して、検索するファイル名の一部または全部を入力します。検索は大文字小文字を区別しません。
4. Enterボタンをタップします。
5. 検索結果に一致したファイルのみが表示されます。検索を解除して全ファイルを再表示するには、リスト上部の検索語句横にある×をタップします。

リストを並べ替えるには：

1. ファイルの一覧を開いた状態で、その他メニューボタンをタップします。
2. 「**並べ替え**」をタップします。
3. 次のいずれかのオプションをタップします。
 - 「**名前**」はファイル名でアルファベット順に並べ替えます。もう一度「名前」をタップすると、a-z または z-a の間で並べ替え方向を切り替えられます。

- 最終変更日は日付順に並べ替えます。再度「最終変更日」をタップすると、新しい順から古い順、またはその逆へ並べ替え方向を切り替えます。
- ラベル数はファイル内のラベル数で並べ替えます。再度「ラベル数」をタップすると、多い順から少ない順、またはその逆へ並べ替え方向を切り替えます。

4. 「完了」をタップします。

ファイルタイプでリストをフィルタリングするには：

1. ホーム画面で「ファイル」をタップします。（印刷アイコンからはフィルタリングは利用できません。）
2. 詳細メニューボタンをタップします。
3. 「フィルタ」をタップし、「ドキュメント」「画像」「フォント」のいずれかをタップします。ドキュメントはラベルファイルです。グラフィックとフォントはスクリプトで使用されます。

.bwsファイル形式でのみ印刷設定を変更するには：

Brady Workstationから生成・保存された印刷可能ファイルは.bws形式で、プレイダイアイコンで表示されます。印刷設定を変更できるのはこれらのファイルのみです。

1. ホーム画面で「印刷」をタップします。
2. ファイルがUSBドライブにある場合は、内部メモリまたは外部メモリを選択します。
3. Brady Workstationで作成した保存済みファイルを選択します。
4. 「その他のメニュー」をタップします。
5. 下にスクロールし、「印刷設定」をタップします。
6. 必要な設定を変更します。
7. 「保存」（チェックマークアイコン）をタップし、ファイルを印刷します。

印刷キュー

印刷キューは、ファイルを印刷している際の印刷画面から利用できます。キューへのファイル追加、キューからのファイル削除、印刷順序の変更などに使用します。

印刷中に印刷キューを確認するには：

1. ファイルの印刷を開始します。
ラベルの作成については[41ページを参照](#)してください。
2. 印刷中に「キュー」タブをタップするとキューが表示されます。印刷は継続されますが、必要に応じて一時停止ボタンで印刷を中断できます。

キューへのファイル追加

印刷中にキューにファイルを追加するには：

1. 印刷中に印刷画面の「キュー」タブをタップします。
2. + ボタンをタップしてファイルリストを開きます。
3. 追加したいファイルを探します。ファイルリストについては[50ページを参照](#)してください。
4. ファイルをタップし、印刷アイコンをタップします。

キューからファイルを削除する

キューから1つのファイルを削除するには：

1. 印刷中に印刷画面の「キュー」タブをタップします。
2. 印刷を一時停止するには一時停止ボタンをタップし、次に「今すぐ一時停止」をタップします。
3. キューから削除したいファイルをタップします。
4. Xアイコンをタップしてジョブをキャンセルします。

キューからすべてのファイルを削除するには：

1. 印刷中に、印刷画面の「キュー」タブをタップします。
2. 印刷を一時停止するには一時停止ボタンをタップし、次に「今すぐ一時停止」をタップします。
3. その他のメニューアイコンをタップします。
4. 「すべてキャンセル」をタップし、「ジョブをキャンセル」をタップします。

印刷順序の変更

印刷順序を変更するには：

1. 印刷中に、印刷画面の「キュー」タブをタップします。
2. キュー内で移動させたいファイルをタップします。リストの最初のファイルは移動できません。
3. 矢印キーでファイルを移動します。

印刷調整

これらの設定は、インストールされている特定のラベルとリボンタイプに対するすべての印刷ジョブに使用されます。

印刷設定を変更するには：

1. ホーム画面で「設定」をタップします。
2. 「印刷調整」をタップします。
3. 目的の設定をタップします。各設定の詳細については、以下のセクションを参照してください。

注：「ブレイディデフォルトにリセット」ボタンは、インストールされたりボンとラベルに関連するすべての設定を工場出荷時のデフォルト状態に戻します。単一の設定をデフォルトに戻すには、該当設定に移動し「デフォルトにリセット」をクリックしてください。

ブックマーク

スマートサプライ操作

i75シリーズスマートラベルとリボンを併用する場合、印刷設定を変更すると自動的にブックマークが作成されます。次回、該当する2つのi75シリーズスマート部品番号がインストールされると、設定が記憶され使用されます。ブックマークを割り当てられるラベル/リボンの組み合わせ数に制限はありませんが、各ラベル部品番号/リボン部品番号の組み合わせに対して割り当てられるブックマークは1つだけです。

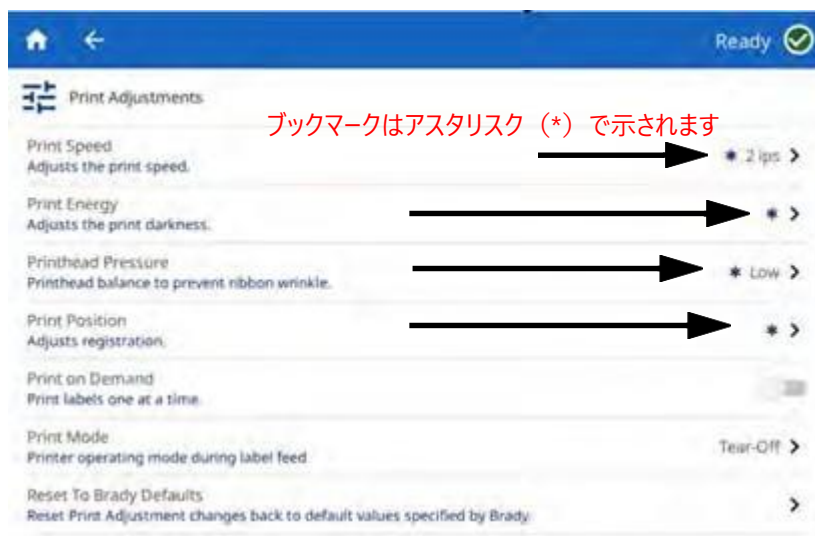
部分的なスマートサプライ操作

i75シリーズスマートラベルを非i75シリーズ手動リボンで使用する場合、印刷設定を変更すると自動的にブックマークが作成されます。次回同じi75シリーズラベル部品番号がインストールされると、どの手動リボンがインストールされていても設定が記憶されます。

非i75シリーズ手動ラベルとi75シリーズスマートリボンを使用する場合、印刷設定の変更による調整はブックマークを作成せず、次にi75シリーズスマートリボンがインストールされた際には記憶されません。これは、どの手動ラベルロールがインストールされているかに関係なく適用されます。

手動消耗品の操作

非i75シリーズのラベルと非i75シリーズのリボンの両方を使用する場合、ブックマークも印刷設定の調整も、次回これらの2つの製品がインストールされたときに記憶または保存されることはありません。



ブックマークの変更または削除

印刷設定内の「デフォルトにリセット」を使用すると、既存のブックマークが新しい設定で更新されます。ブックマークを削除するには、印刷調整画面の最下部までスクロールし、「ブレイディデフォルトにリセット」をクリックしてください。

印刷スピード

印刷スピードでは、300dpiプリンターで毎秒1～10 インチ(ips)、600dpiプリンターで毎秒1～5インチ(ips)のスピード設定を調整できます。最適な印刷スピード設定は、スマートセルによってインストールされた消耗品に合わせて自動的に設定されます。問題が発生した場合のみ変更してください。たとえば、グラフィックやその他の高密度ラベルを完全に印刷するために、印刷スピードを遅くしたい場合などに変更できます。

スライダーを使用して速度を上げたり下げたりします。

注： 選択した印刷速度設定は、現在インストールされているラベル供給源を使用した以降のすべての印刷ジョブに適用されます。新しい供給源をインストールすると、印刷速度は当該ラベルのデフォルト設定、またはブックマークで定義された設定にリセットされます。

印刷強度

スライダーを使用して、印刷を濃くまたは薄く調整します。設定をテストするためにラベルを印刷してください。

印刷強度設定は、ラベル印刷時にプリントヘッドに加えられる熱量を定義します。印刷強度が高いほど、ラベルに転写されるインク量が増加します。最適な印刷強度設定は、スマートセルによって設置されたラベル供給用に自動的に設定されます。問題が発生した場合のみ変更してください。例えば、印刷が斑状になる場合は、リボンインクがラベルに転写される量を増やすために印刷強度を上げる必要があります。ただし、印刷中にリボンが貼り付いたり破れたりする場合は、熱エネルギーが高すぎる可能性があり、減らす必要があります。



注意！常に高エネルギーレベルで印刷すると、紙詰まりやその他の印刷エラーが発生する可能性があり、プリントヘッドの寿命を縮める恐れがあります。

注：選択した印刷強度設定は、現在取り付けられているラベル供給装置を使用した以降のすべての印刷ジョブに適用されます。新しいラベル供給装置を取り付けた場合、印刷エネルギーレベルはデフォルト設定にリセットされます。システムの再起動によっても印刷エネルギーレベルはリセットされます。

プリントヘッド圧力

リボンがシワになるのを防ぐために、プリントヘッドからの圧力を設定します。圧力を上げたり下げたりするには、プラスまたはマイナスのボタンをタップします。

印刷位置

矢印をタップすると、ラベル画像内の印刷位置を左右上下に移動できます。

右上に表示される測定値は、工場出荷時の設定に対する印刷開始位置の相対的な移動量を示すものであり、ラベルの左端からの距離を表すものではありません。単位は、[33ページ「測定単位」](#)で設定された単位に応じてインチまたはミリメートルで表示されます。

工場出荷時の設定（0, 0）にリセットするには、右上のデフォルトリセットアイコンをタップします。

自動カット

ジョブ終了時にプリンターが実行するカット処理を指定します。定義されたラベル行数ごとのカット、パーフォレーションカットとフルカットの組み合わせ、またはカットしないから選択します。その他のオプションの設定については、[57ページ「オートカッター」](#)を参照してください。

注：Brady WorkstationまたはZPLスクリプトで設定されたカットオプションは、この設定を上書きします。

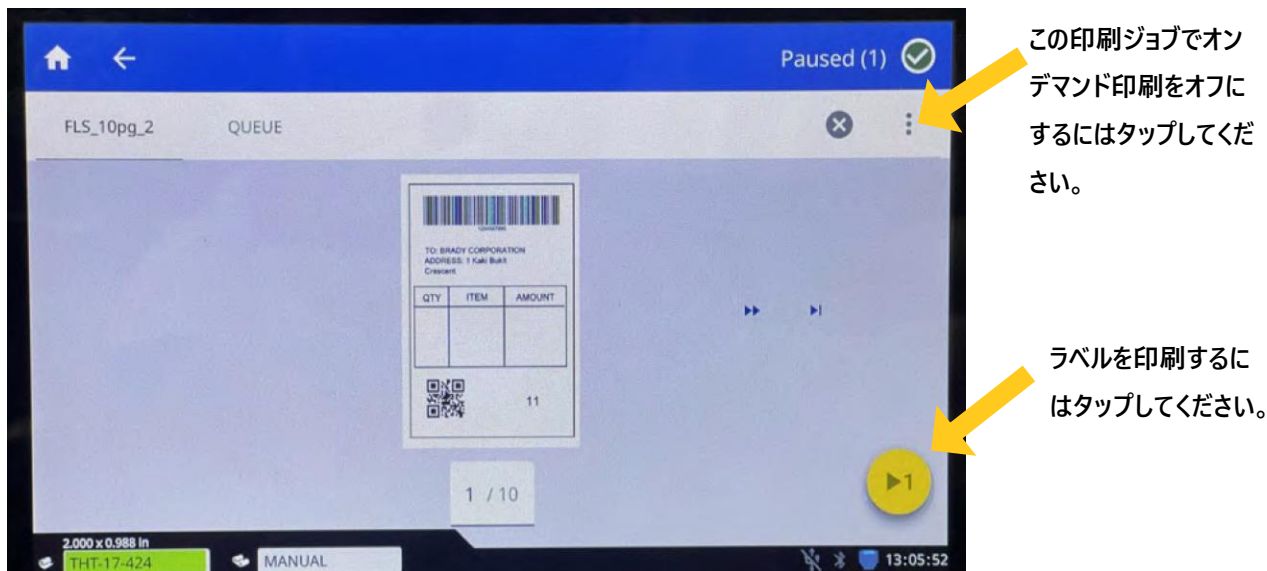
オンデマンド印刷

オンデマンド印刷では、ファイル内の次のラベルを印刷する前に、プリンターがタッチスクリーンでの入力を待機します。無効にすると、ファイル内のすべてのラベルが待機せずに印刷されます。

オンデマンド印刷を有効にするには：

1. ホーム画面から「設定」をタップします。
2. 「印刷調整」をタップします。
3. 「オンデマンド印刷」の右側にあるスイッチをタップして設定を変更します。スイッチが灰色の場合、オフです。スイッチが青色の場合、オンです。

オンデマンド印刷が有効な場合、黄色の開始ボタンをタップすると、すべてのラベルではなく1枚のラベルのみが印刷されます。



オンデマンド印刷を無効にして残りのラベルをすべて印刷するには：

1. 黄色い丸をタップして印刷を一時停止します。
2. 右上の三点 (...) をタップします。

重要！この印刷ジョブではオンデマンド印刷を無効にしてください。

プリンターモード

プリンターモードは、プリンターにインストールされているアクセサリに固有です。プリンターモードを開くと、現在のモードと変更可能な設定が表示されます。「現在の動作モード」をタップし、必要なモードをタップしてください。

ティアオフ

すべての利用可能な構成で利用可能です。ティアオフモードでは、ラベルまたは連続メディアが印刷されます。印刷後、ラベルストリップを手で分離できます。この機能を使用するには、ラベルプリンターにティアオフプレートが装備されている必要があります。ティアオフプレートの正しい使用方法については、[37ページ「アクセサリ」](#)セクションを参照してください。

ティアオフ位置の変更:

1. タッチスクリーンで「設定」>「印刷調整」>「プリンターモード」に移動します。
2. 「現在の動作モード」をタップし、次に「切り離し」を選択します。
3. 「戻る」アイコンをタップして印刷モード画面に戻ります。
4. 「ティアオフオフセット」をタップし、矢印キーでオフセットを変更します。
右上の「デフォルトにリセット」アイコンを使用して、工場出荷時のデフォルトオフセット設定に戻ります。
5. 「戻る」アイコンをタップして印刷モード画面に戻ります。
6. 「ティアプレートタイプ」をタップし、標準ティアプレートまたはノコギリ刃ティアプレート（オプションアクセサリ）のいずれかを選択します。

オートカッター

カッターアクセサリが取り付けられている場合、標準構成プリンターで利用可能です。ジョブ終了時またはユーザー設定の間隔でラベルを自動的にカットします。スリーブ印刷に推奨され、両面スリーブ印刷には必須です。

カットタイミング（ジョブ終了時、ラベル終了時、特定行数後など）の設定は、55ページ「自動カット」設定にも反映されます。カットオフセットで、ラベル後端からのカット位置を変更可能です。

重要！ このモードを使用するには、オートカッターまたはパーフォレーションカッターの取り付けが必要です。オートカッターについては83ページ、パーフォレーションカッターについては84ページを参照してください。

印刷前に、プリンターを自動カットモードに設定し、その他のカットオプションを選択してください：

1. タッチスクリーンを使用して、「設定」>「印刷調整」>「印刷モード」に移動します。
2. オートカッターを使用する場合は、カットオフセットと自動カットのオプションを設定してください。
3. パーフォレーションカッターのカット深さはスライダーバーで設定します。

薄いラベル素材には浅いカットが必要ですが、厚いライナーには深いカットが必要です。

ピールモード（ピール構成プリンターのみ）

ピールモードでは、承認済みの自動供給材料は印刷後に自動的にライナーから剥離され、取り外し可能な状態になります。タッチスクリーンをタップすると、ジョブ内の次のラベルが印刷され供給されます。オプションアクセサリである「ラベル取り出しセンサー」を取り付けることで、ラベルが取り外されたタイミングを検知し、自動的に次のラベルの剥離と供給をトリガーします。

目的の用途に向けた剥離印刷の適性をあらゆる素材でテストしてください。ラベルの印刷・剥離性能は、素材の自動排出特性、ラベルサイズ、剥離オフセット距離、印刷速度など複数の要因に依存します。剥離操作は1列ラベルに限定され、複数列ラベルの剥離は推奨されずサポート対象外です。

モード設定:

自動次ラベル - ラベル剥離後、次のラベルが自動的に印刷・供給されます。本機能動作にはプリンターへのラベルピール検知センサーの取り付けが必須です。

手動次へ - ラベルを取り外した後、タッチスクリーンの印刷アイコンをタップして次のラベルを印刷します。この設定ではラベル取り出しセンサーの取り付けは不要です。

設定に関わらず、その他の設定項目には以下が含まれます：

ピール位置 - ピールバープレートの排出エッジに対するラベルの排出位置をシフトさせ、剥離距離の位置を設定します。ボックスに値を入力するか、上下矢印キーで値を増減させて設定します。値を大きくすると、提示時に剥離されるラベルの長さが長くなります。

バックフィード遅延 - ラベルをピール位置から取り除いてからバックフィードまでの遅延時間（ミリ秒単位）を設定します。バー上のスライダーを移動するか、プラスとマイナスのアイコンを使用して遅延時間を増減させます。

ピールモードの設定方法：

1. 25ページ「リボンとラベルのセット方法（ピール構成プリンター）」を参照してください。

2. ピール設定を調整するには、タッチスクリーンで「設定」>「印刷調整」>「印刷モード」に進みます。
3. 「現在の動作モード」をタップし、次に「ピールモード」をタップします。
4. 「戻る」アイコンをタップして印刷モード画面に戻ります。
5. モード設定、ピール位置、バックフィード遅延を設定します。

内部巻き取り（ピール構成プリンターのみ）

巻き取りモードでは、印刷後のラベルは後で使用するために内部で巻き取られます。内部巻き取りロールの外径は5.6インチ（O.D.）です。

重要！ピール構成プリンターでは、この機能が動作するためには、湾曲した巻き取りガイドと1.5インチの巻き取りスピンドルコアを取り付ける必要があります。

プリンターを内部巻き取りモードに設定するには：

[リボンとラベルのセット方法（ピール構成プリンタ）](#)を参照してください（[25ページ](#)）。

ラベルセンサー位置

i75シリーズスマートロール（[18ページ](#)）を使用する場合、プリントヘッドを閉じる際にプリンターが設置されたロールの種類を検知し、設置されたロールに適した位置へセンサーを自動的に移動させます。ユーザーによる操作は不要です。

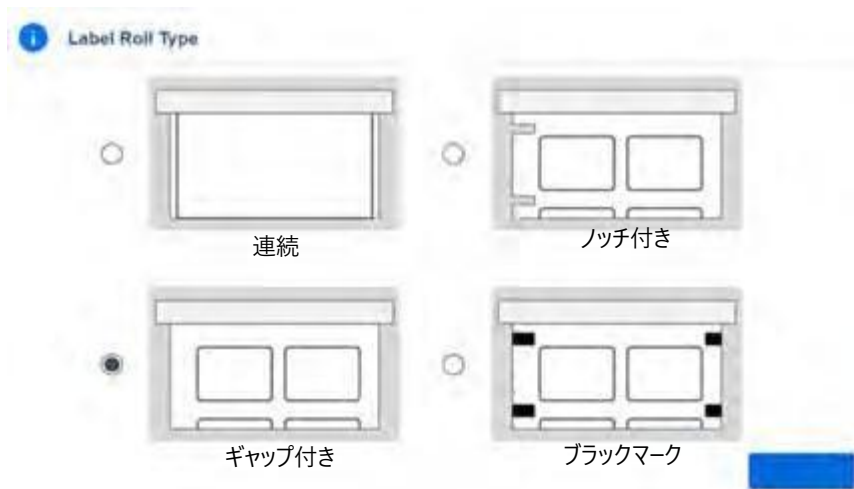
非i75シリーズ（手動）ロール（[18ページ](#)）を使用する場合、画面上のセンサーライト図示に従い、光学センサーを正しい位置に視覚的に合わせて調整してください。画面上のスライダーと矢印ボタンで光学センサーを移動させます。大きな動きには黄色のスライダーを押し続けながらスライドさせ、細かい動きには矢印をタップしてください。



ラベルロールタイプ

i75シリーズスマートロール（18ページ）を使用する場合、プリントヘッドを閉じる際にプリンターが設置されたロールの種類を検出し、センサーの「モード」を正しいロールタイプに自動的に設定します。ユーザーによる操作は不要です。

非i75シリーズ（手動）ロール（18ページ）を使用する場合、プリントヘッドを開き手動ロールをメディアロールハンガーに装着すると、プリンターは自動的にロールタイプの選択を促し、続いてセンサーライトの位置合わせを指示します。画面上の図（下記参照）に従い正しいロールタイプを選択してください。



サーマル印刷方式

スマート消耗品の操作（18ページ）では、プリントヘッドを閉じた際にプリンターが設置されたロールが熱転写材料か直接感熱材料かを検知し、適切な印刷方法を自動的に設定します。また、直接感熱ロールが検知された場合、設置されているリボンロールを必ず取り外すよう促すメッセージが表示されます。

手動での消耗品操作（18ページ）では、印刷方式を手動で設定する必要があります。

バックフィードモード

このオプションは、パーフォレーションカッターがプリンターに装着されている場合にのみ利用可能です。未装着時はプリンターに表示されません。有効にすると、印刷中およびカット中の両方で、フォワードフィードとバックフィード動作を併用した印刷が可能になります。

高さ0.41インチ（10.42 mm）未満のラベルを使用する場合は、バックフィードを無効にすることを推奨します。

ブレイディデフォルトにリセット

すべての印刷調整を工場出荷時のデフォルトにリセットします。

システム情報

システム情報を表示します：

- ファームウェアドライババージョン
- ラベルライブラリバージョン
 - 300dpi ラベルライブラリファイル
 - 600dpi ラベルライブラリファイル
- MAC イーサネット: ---
- MAC Wi-Fi: ---
- MAC Bluetooth: ---
- 内部メモリの残り容量
- 外部ストレージの残量
- プリンターのシリアル番号
- 詳細ボタンはライセンス情報を表示します
- および本マニュアルに記載されていないその他のシステム情報を表示します

システム情報を表示するには：

1. ホーム画面から「**設定**」をタップします。
2. 「**About**」をタップします。
3. 前の画面に戻るには、戻るボタンをタップします。ホームに戻るには、ホームボタンをタップします。

ファームウェアの更新については[86ページ](#)を参照してください。

ラベルライブラリを更新するには、[88ページ](#)を参照してください。

ヘルプ画面

ホーム画面のヘルプアイコンを押すと、一般的な機能の図解付き説明が表示されます。これには以下が含まれますが、これらに限定されません：

- スマートリボンとラベルの読み込み
- 手動リボンのロード
- 手動ラベルの装填
 - 非剥離
 - 剥離と提示
 - 内部巻き取り
- 手動素材用センサー設定
- プリンターのクリーニング
- プリントヘッドの交換
- ローラーの交換
- カッターの取り付け
- ティアプレートの交換
- リボン/ローラー/メディアサイズの推奨事項
- サポート情報
- プリンタ更新情報

4. スクリプトの使用

i7500ラベルプリンターはZPLスクリプトをサポートしています。

基本的なZPLコマンドの一部は、プリンター上で直接変更できます。

ZPL設定を変更するには：

1. ホーム画面から「**設定**」をタップします。
 2. 「**ZPL**」をタップします。
 3. 変更する設定をタップしてください。プログラミングについては本マニュアルの範囲外です。
- プリンターがサポートするコマンドの一覧を含むZPL専用マニュアルは、www.BradyID.com/support/printer/i7500 で入手できます。

スマート連続ラベル

i7500プリンターにスマート連続ラベルが設置されている場合、最適な印刷を行うにはZPLスクリプトに [^LL] コマンドを含める必要があります。サンプルスクリプトを以下に示します。

```
^XA
^DFR:withLL2.ZPL^FS
^LL609,25
^AD,36,20^FN1^FS
^F0165,25
^AD,36,20^FN2^FS
^F025,75
^AB,22,14^FDCont with LL 2in^FS
^F025,125
^AE,28,15^FN1
^XZ
```

グラフィックとフォント

スクリプトファイルでプリンターに未登録のグラフィックやテキストを使用する場合、スクリプト実行前にそれらをインポートする必要があります。

最小フォントサイズ：i7500ラベルプリンターは、スクリプト言語において以下の最小フォントサイズをサポートします。ZPLを使用する場合、フォントサイズは明示的に設定されず、バウンディング幅と高さで設定されることに注意してください。

- 300dpiプリンターの場合の最小フォントサイズ：5 pt
- 600dpiプリンターの場合の最小フォントサイズ：4 pt

重要！ ZPLスクリプトは、お使いのプリンターがサポートするdpiで記述することを推奨します。

インポート

コンピューターからプリンターにグラフィックやフォントをインポートするには、まずファイルをUSBドライブに転送します。その後、次の手順に従ってください：

1. USBドライブをプリンターの空いているUSBポートに接続します。
2. ホーム画面で「ファイル」をタップします。
3. 画面左上に「内部メモリ」と表示されている場合は、「内部メモリ」をタップし、次に「外部ストレージ」をタップします。
4. 詳細メニューボタンをタップします。
5. 「フィルター」をタップし、「画像」または「フォント」をタップします。
6. ファイルの一覧で、インポートしたい各ファイルをタップします。
7. インポートアイコンをタップします。
インポート中は進行状況バーが表示されます。

重要！ すべてのグラフィックがインポートされるまでUSBドライブを取り外さないでください。

注： プリンターの空き容量が不足すると、メモリ不足のメッセージが表示されます。

削除

プリンターにインポートしたグラフィックとフォントを削除するには、次の手順に従ってください：

1. ホーム画面で「ファイル」をタップします。
2. 画面の左上に「外部ストレージ」と表示されている場合は、「外部ストレージ」をタップし、次に「内部メモリ」をタップします。
3. 「詳細メニュー」ボタンをタップします。
4. 「フィルター」をタップし、「画像」または「フォント」をタップします。
5. ファイルの一覧で、削除したい各ファイルをタップします。
6. その他のメニューボタンをタップし、「削除」をタップします。

5. メンテナンス

以下のリンクをクリックすると、該当するセクションに直接移動します。

プリンターのクリーニング	65
ほこりやごみ	65
プリントヘッド	66
プラテンローラー	67
光学センサー	68
カッターブレード	69
タッチスクリーン	73
部品の取り付けまたは交換	74
プリントヘッド	75
プラテンローラー	77
必要な工具	77
ピンチアシストローラーを下げる（ピール構成のみ）	78
ティアプレート	78
必要な工具	78
ピールバープレート（ピール構成専用）	80
必要な工具	80
湾曲リワインドガイド（ピール構成のみ）	82
必要な工具	82
オートカッター	83
必要な工具	83
パーフォレーションカッター	84
必要な工具	84
ファームウェアのアップグレード	86
ラベルライブラリのアップグレード	88
リボンカートリッジのリサイクル	89

プリンターのクリーニング

ほこりやごみ

プリンターのメンテナンスを行う際は、プリンター内部のほこりやラベルの破片も清掃してください。

必要な材料：

- 現地で購入した圧縮空気ボトル（例：HOSA AIR-464 ギアドスター）
- 安全メガネ



注意！圧縮空気を使用する際は、必ず安全メガネを着用してください。

- 糸くずの出ない布
- イソプロピルアルコール
- あらかじめ湿らせたクリーニング用綿棒（PCK-6）。これらの綿棒は糸くずが出ず、イソプロピルアルコールに添加物が含まれていないため、使用をお勧めします。ご自身の綿棒とイソプロピルアルコールを使用することも可能です。

プリンター内部の異物を清掃するには：

1. プリンターから電源と消耗品を取り外してください。
2. 安全メガネを着用し、プリンター内部の可視領域すべてに圧縮空気を噴射し、蓄積したほこりや異物を除去します。
3. 残ったほこりや異物は、イソプロピルアルコールを浸した布で拭き取ってください。
4. 布では届かない部分は、あらかじめ湿らせたクリーニング用綿棒で清掃してください。
5. リボンとラベルを交換してください。
6. カバーを閉め、電源コードを差し込みます。

プリントヘッド



注意！プリントヘッドが熱くなっている場合は、十分に冷めるまで待ってから作業を続けてください。高温のプリントヘッドを扱うと火傷をする恐れがあります。

必要な材料

- あらかじめ湿らせたクリーニング用綿棒（PCK-6）。



注意！部品番号PCK-6のアルコール綿棒のみを使用してください。他の材料を使用すると、プリントヘッドに永久的な損傷を与える可能性があります。

プリントヘッドの清掃方法：

1. プリンターの電源と消耗品を取り外します。
2. プrintヘッドロックレバーを解除します。
3. 新しい湿らせたフォーム綿棒をプリントヘッドの緑色と黒色の部分に優しく擦りつけます。表面を完全に清掃するために必要な数の綿棒を使用してください。



注意！プリントヘッドの青銅色の部分には綿棒を擦り付けしないでください。これにより回路がショートする恐れがあります。

4. リボンとラベルロールを交換してください。
5. 綿棒は廃棄してください。
6. カバーを閉め、電源コードを差し込みます。

プラテンローラー

ローラーにインクや接着剤が付着している場合は特に、プラテンローラーを頻繁に清掃してください。ローラーに目に見える損傷や小さなゴムの粒がある場合は、ローラーを交換してください。77ページ「[プラテンローラー](#)」を参照してください。

ローラーのクリーニングに必要な材料

- あらかじめ湿らせたクリーニング用綿棒（PCK-6）。



注意！ 部品番号PCK-6のアルコール綿棒のみを使用してください。他の材料を使用するとプリントヘッドが永久的に損傷する恐れがあります。

プラテンローラーの清掃方法：

1. プリンターの電源と消耗品を取り外します。
2. プリントヘッドロックレバーを解除します。
3. 新しい湿式フォームスワブを開封し、ゴムローラーの清掃に使用してください。表面を完全に清掃するために必要な数のスワブを使用してください。

ローラーを回転させて表面全体にアクセスしてください。ローラーの上部をプリンターの背面に向かってしっかりと押し込みます。この際、ある程度の抵抗を感じます。



4. アルコールが蒸発した後、リボンとラベルロールを交換してください。
5. 綿棒は廃棄してください。
6. カバーを閉め、電源コードを差し込みます。

光学センサー

光学センサーはプリンター内部にあり、ラベルの切断によって生じたほこりで覆われている場合があります。

必要な材料

- あらかじめ湿らせたクリーニング用綿棒（PCK-6）。これらの綿棒は糸くずが出ず、イソプロピルアルコールに添加物が含まれていないため、使用をお勧めします。ご自身の綿棒とイソプロピルアルコールを使用することも可能です。

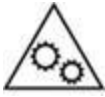
センサーの清掃手順：

1. プリンターの電源と消耗品を取り外します。
2. プリントヘッドロックレバーを解除します。
3. ラベルガイド調整ダイヤルを回し、センサーにアクセスできるようラベルガイドを全開にします。
4. 清潔な湿潤済みフォーム綿棒で、センサー表面を優しく拭き取ります。



5. アルコールが蒸発した後、リボンとラベルロールを元に戻します。
6. 綿棒を廃棄してください。
7. 蓋を閉め、電源コードを差し込みます。

カッターブレード



可動部。可動部から身体を離してください。



鋭利なエッジ。触れないでください。

注：カッターを清掃する際は、68ページ「光学センサー」も清掃してください。

必要な材料

- あらかじめ湿らせたクリーニング用綿棒（PCK-6）。この綿棒は糸くずが出ず、イソプロピルアルコールに添加物が含まれていないため、使用をお勧めします。独自のフォーム綿棒とイソプロピルアルコールを使用することもできます。
- カッタークリーニングツール（B31-CCT） 残留物の除去用

ヘビーデューティギロチン自動カッターのカッターブレードを清掃するには：

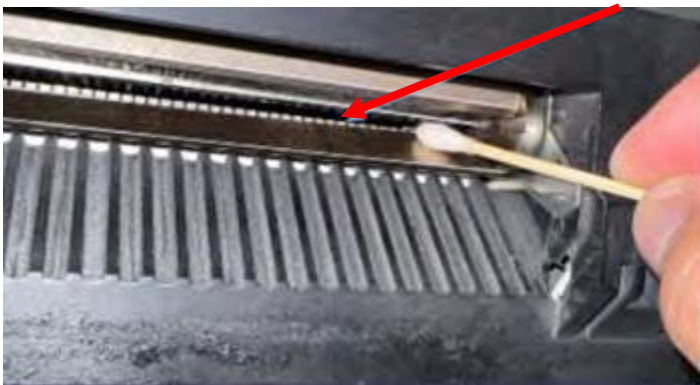
1. 綿棒をラベル排出エリアに上向きに挿入します。
2. 周辺全体を拭き取ります。
3. カッターのロックを解除し、ローラーから離して押し出し、平らなエッジツールでブレードの粘着剤残留物を清掃します。
4. ブレードにはイソプロピルアルコールを浸した綿棒を使用してください。
5. 印刷前にアルコールの残留を完全に蒸発させてください。

必要な材料

- イソプロピルアルコールを浸した綿棒。

パーフォレーションカッターの刃を清掃するには：

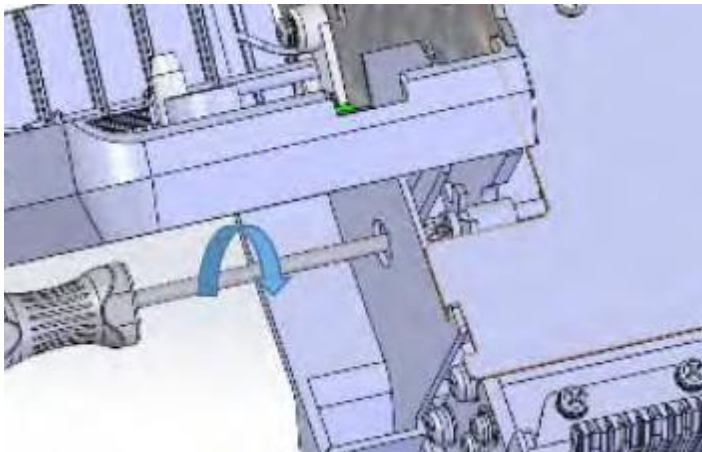
1. プリントヘッドを開けます。
2. イソプロピルアルコールを浸した綿棒を使い、ブレードに沿って滑らせながら綿棒をひねる。



3. パーフォレーションカッターを開きます。



4. パーフォレーションカッターの左側にプラスドライバーを挿入し（図と写真を参照）、エンコーダホイールを時計回りに回転させ、平らなエッジがストップピンに接触するまで回します。



エンコーダホイール

5. パーフォレーションカッターを閉じますが、プリントヘッドは開いたままにし、手順 2 と同様に、イソプロピルアルコールを浸した綿棒でブレードを清掃します。



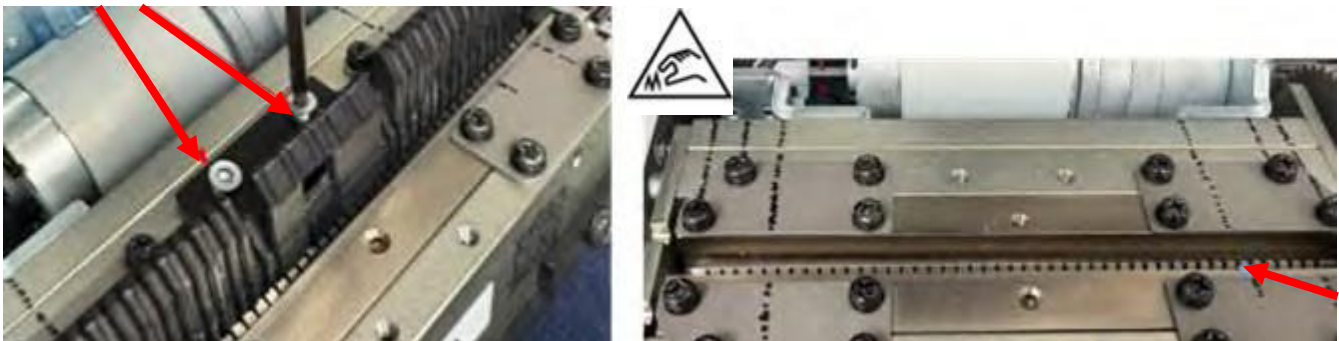
6. カッターを開き、上部のプラットフォームのネジを緩めますが、外さず、プラットフォームの端と揃うまで緩めます。



7. イソプロピルアルコールを浸した綿棒を使い、下から上へ、上に向かうにつれて綿棒をねじりながら清掃してください。



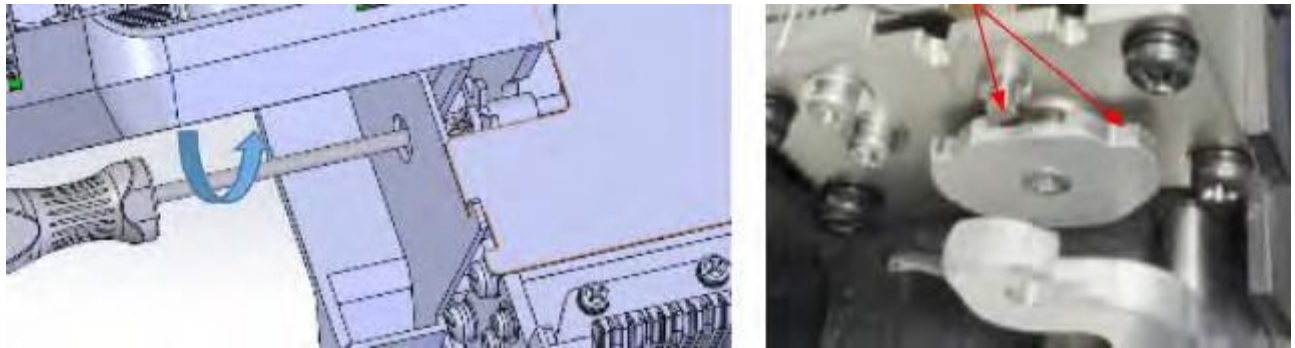
8. ネジを外し、底面プラットフォームを持ち上げて刃を完全に露出させます。



9. カッターを閉じて刃の表面を清掃します。



10. 左側の穴にドライバーを差し込み、平らな面がストッピングピンに接触するまで反時計回りに回します。



11. ブレードを清掃しますが、端部のグリースは除去しないでください。



12. ドライバーを使用して、エンコーダホイールが中央に来るまで時計回りに回します。

13. 底面プラットフォームとそれを固定する2本のネジを元に戻します。

14. 上部プラットフォームの2本のネジを締めてください。

15. パーフォレーションカッターを閉じます。

16. プリントヘッドを閉じます。

紙詰まりエラーメッセージが表示された場合は、プリントヘッドをもう一度開閉してください。

17. タッチスクリーンのカットアイコンをタップします。

タッチスクリーン

必要な材料

- 糸くずの出ない布、研磨剤を含まないもの
- イソプロピルアルコールまたはあらかじめ湿らせた布（液晶ディスプレイの清掃に適したもの）



注意！アンモニア、石鹼、酸を含む通常の洗剤は画面を損傷する恐れがあります。イソプロピルアルコールで湿らせた糸くずの出ない布のみを使用してください。

タッチスクリーンの清掃方法：

1. 糸くずの出ない布をイソプロピルアルコールで軽く湿らせるか、コンピューター画面の清掃に適したあらかじめ湿らせた布を使用してください。
2. 残留物がすべて除去されるまで、湿らせた布で画面を優しく拭き取ってください。
3. タッチスクリーンが完全に乾くまで使用を再開しないでください。

部品の取り付けまたは交換

ネジやその他のハードウェアを取り外すには、工具が必要な場合があります。T-20レンチはプリンター内部のフレーム内に収納されています。カバーを開け、フレーム底部のレンチを見つけ、時計回りに90°回転させて引き出してください。T-20レンチを収納する際は、挿入後反時計回りに90°回転させ、フレームにぴったり収まるようにしてください。



プリントヘッド



注意！ 静電気放電や機械的衝撃によるプリントヘッドの損傷を防ぐため、以下の注意事項を遵守してください。

- プリンターを接地された場所に設置してください。電源を切り、プリンターのプラグを抜いてください。
- 自身を接地してください（静電気防止リストバンドなどを使用）。
- 加熱素子に手や硬い物体を触れないでください。（加熱素子は下図で示されている暗褐色の帯状部分です。）



プリントヘッドのクリーニング後もラベルに同じ未印刷箇所が繰り返し発生する場合、またはdpiを変更したい場合はプリントヘッドを交換してください。300dpiと600dpiの両方のプリントヘッドが用意されています。

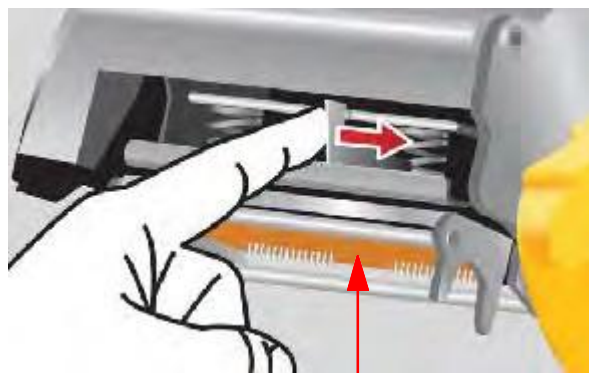
ヘッド位置の追加調整が可能のため、ブレイディ技術修理によるプリントヘッド交換を推奨しますが、ユーザー自身による交換も可能です。

重要

600dpiプリントヘッドに変更する場合は、プリンタファームウェアバージョン2.0以上が必要です。

プリントヘッドを交換するには：

1. プリンターから電源と消耗品を取り外します。
2. プrintヘッドロックレバーを外してプリントヘッドを持ち上げます。
3. プrintヘッド上部のレバーを動かして解除します。

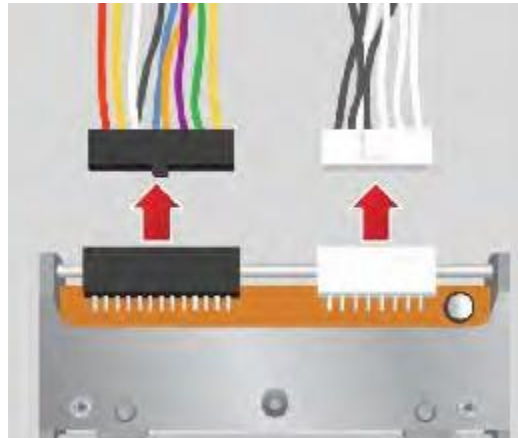


触れないでください

4. プリントヘッドを固定している2つのワイヤーハーネスコネクタを、ワイヤーコネクタ部分を持って慎重に外します。



注意！ 損傷を防ぐため、ケーブルの配線を引き抜いたり、ヘッドとコネクタポートを接続する金属のピンを曲げたりしないでください。



5. ケーブルコネクタを新しいプリントヘッドに挿入する際は、金属製のサイドブラケット部分のみを持って取り扱うように注意してください。
6. 新しいプリントヘッドをプリンターに挿入し、「カチッ」と音がするまで押し込みます。



7. リボンとラベルロールを交換してください。
8. プリントヘッドロックレバーを閉じてください。
9. カバーを閉め、電源コードを差し込みます。

プラテンローラー

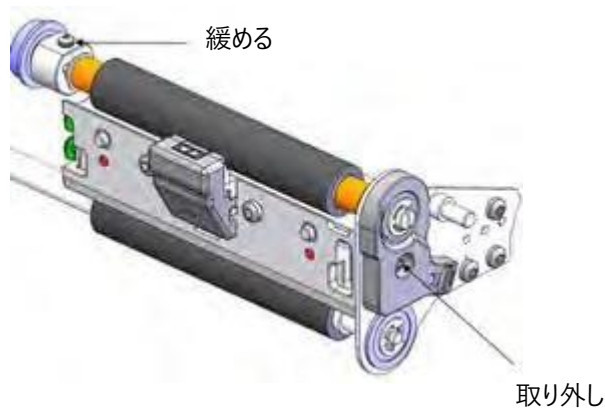
黒いゴム製プラテンローラーは消耗部品であり、頻繁に清掃し、摩耗した場合は直ちに交換する必要があります。プラテンローラーが摩耗すると、印刷品質の低下、ローラー表面の粗化や小さなゴム粒の発生、その他の損傷の兆候が確認される場合があります。

必要な工具

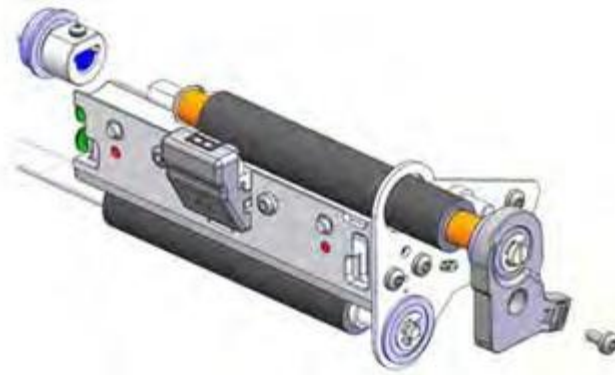
- T-20レンチ
- 先細パンチ

プラテンローラーの交換手順：

1. プリンターの電源と消耗品を取り外します。
2. プリントヘッドロックレバーを解除し、プリントヘッドを持ち上げます。
3. 付属のT-20レンチを使用して上部のネジを緩め、ブラケットを固定しているネジを取り外してください。



4. プラテンローラーを引き出します。



5. 新しいプラテンローラーを所定の位置にスライドさせ、上部のネジを締め、ブラケットのネジを元に戻します。
6. リボンとラベルロールを交換します。
7. プリントヘッドロックレバーを閉じます。
8. カバーを閉め、電源コードを差し込みます。

下部ピンチアシストローラー（ピール構成のみ）

ピール構成プリンターの下部ブラックゴムローラーはユーザーによる交換ができません。ローラーが損傷した場合は、テクニカルサポートにお問い合わせください。

ティアプレート

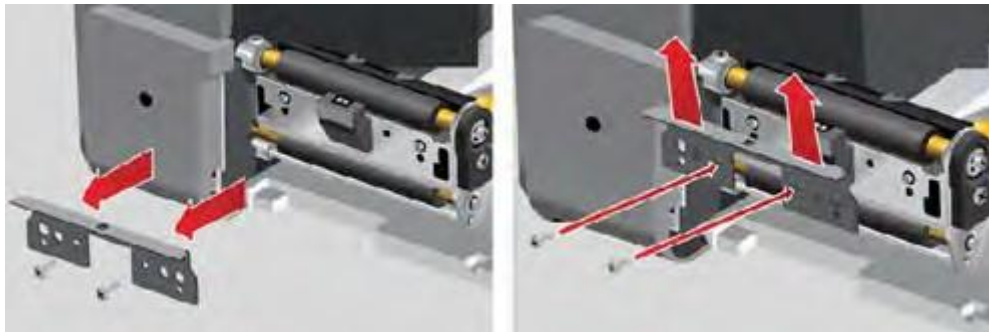
ラベルがロールからきれいに切り離せなくなった場合、ティアプレートの交換時期です。オートカッターアクセサリーを取り付ける際には、標準モデルのノコギリ刃ティアプレートも取り外す必要があります。

必要な工具

- T-20レンチ

標準モデルのノコギリ刃ティアプレートを交換するには：

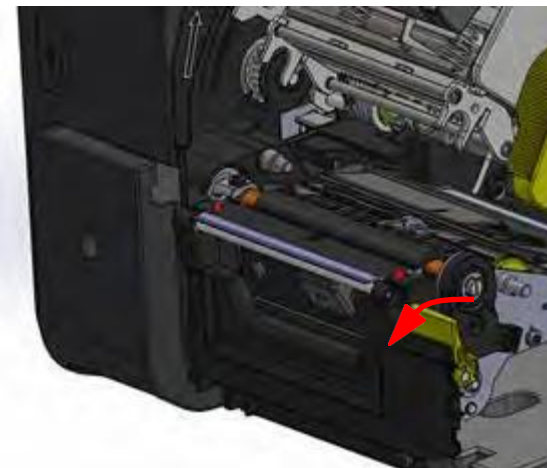
1. プリントヘッドロックレバーを解除し、プリントヘッドを持ち上げます。
2. ティアプレートを固定している（2）本のネジを外し、プレートを取り外すか交換します。



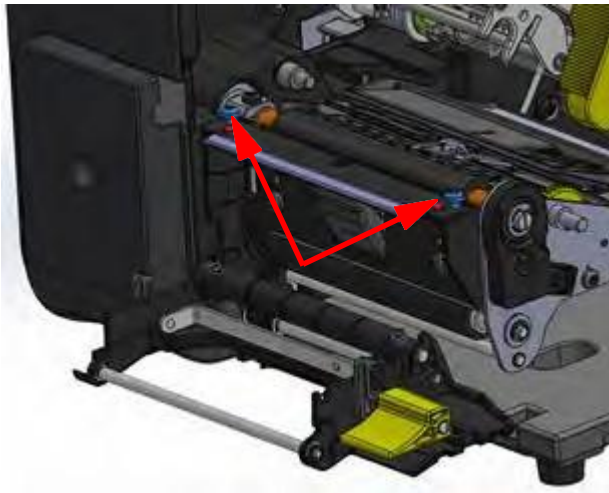
3. プリントヘッドロックレバーを閉じてください。
4. カバーを閉め、電源コードを差し込みます。

ピールモデル用ノコギリ刃ティアプレートの取り付けまたは交換方法：

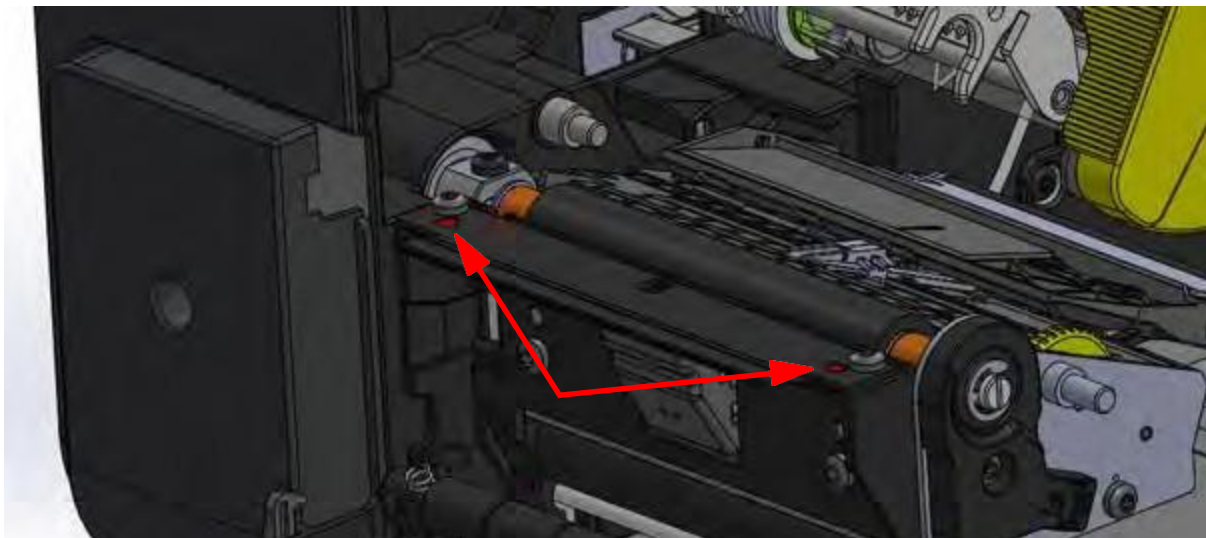
1. プリントヘッドロックレバーを解除してプリントヘッドを持ち上げます。
2. ピールドアを開けます。



3. 2本のネジを緩めます（完全には外さないでください）。その後、ピールプレートを持ち上げてスライドさせて取り外します。



4. 剥離プレートを位置決めピンに載せるように挿入し、ネジを締めます。



5. ピールドアを閉じます。
6. プリントヘッドロックレバーを閉じます。
7. カバーを閉じて電源コードを差し込んでください。

ピールバープレート（ピール構成専用）

このプレートは、ピール構成のプリンターに組み込まれており、ピールモード動作で部分的な剥離を誘発するために、ラベルライナーを鋭く折り返すために使用されます（承認済みの自動供給材料が必要です）。また、このプレートは、薄い紙ライナーを引き裂くための切り取りプレートとしても使用できます（ただし、厚いライナーや厚い材料を引き裂くことはお勧めできません）。

必要な工具

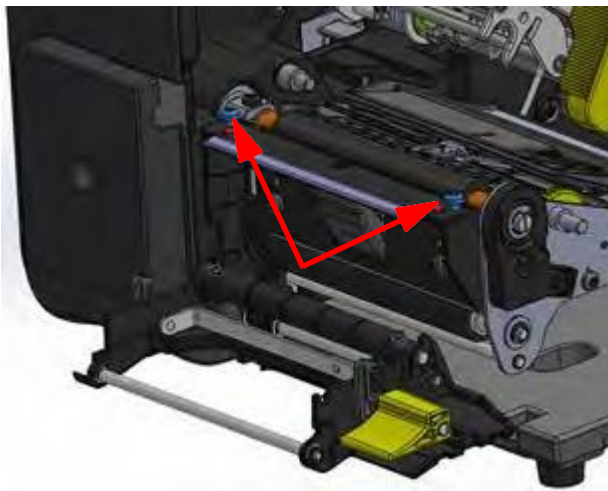
- T-20レンチ

ピールバープレートの取り付けまたは交換手順：

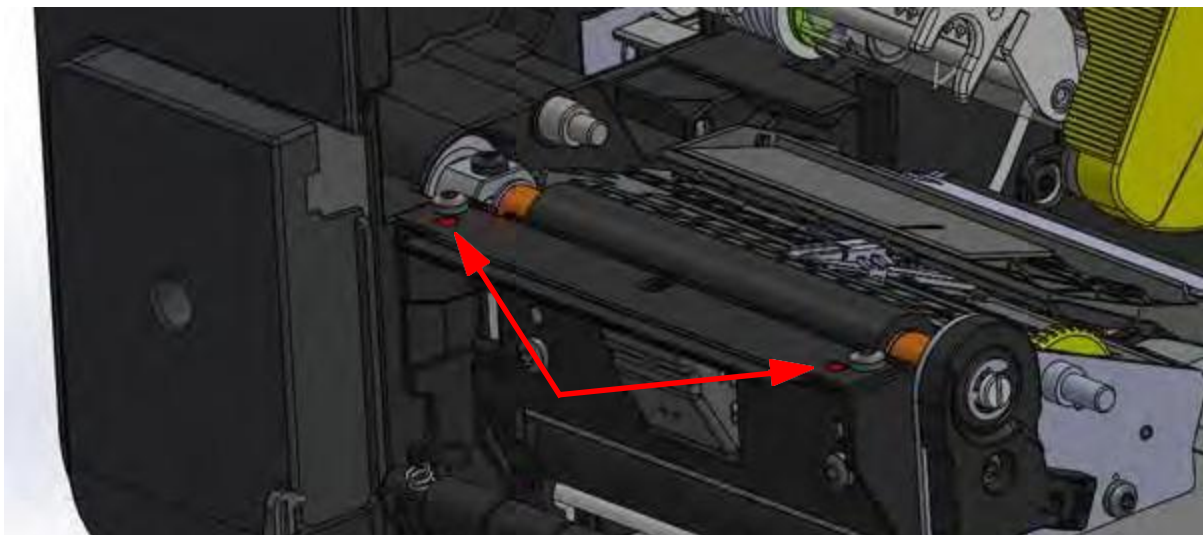
1. プリントヘッドロックレバーを外してプリントヘッドを持ち上げます。
2. ピールドアを開けます。



3. 2本のネジを緩めますが、完全には外さず、ギザギザ刃ティアプレートを持ち上げてスライドさせて外します。



4. ピールバープレートを位置決めピンに載せるように挿入し、ネジを締めます。



5. プリントヘッドロックレバーを閉じます。
6. カバーを閉め、電源コードを差し込みます。

巻き取りガイド（ピール構成のみ）

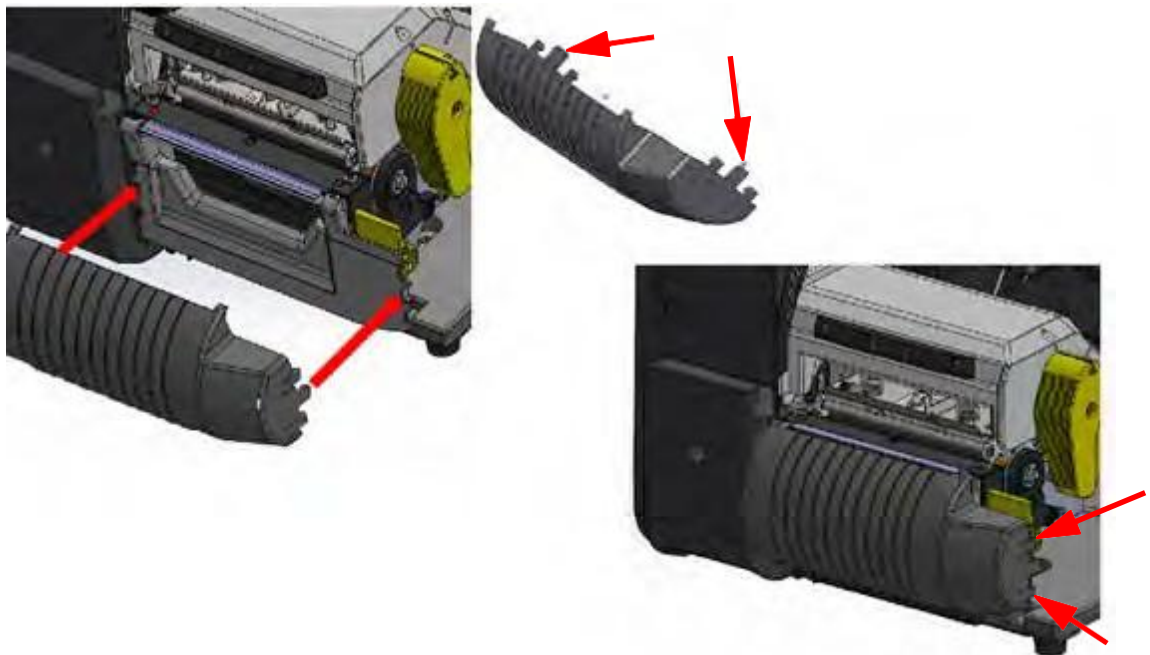
このプラスチック製ガイドは、ピール構成プリンターを内部ラベル巻き取りモードで動作させる際に必要です。ガイドは印刷済みラベルを緩やかな角度で曲げ、内部巻き取りスピンドルに取り付けるためのものです。

必要な工具

不要。ガイドはプリンターのピールドア前面にスナップフィットで取り付けられます。

巻き取りガイドの取り付け/取り外し手順：

1. ピールドアを閉じた状態で、ピールドアの背面にラベル材料が挟まっていないことを確認してください。
2. 閉じたピールドアの前面に巻き取りガイドを配置し、細く先細りした端をプリンターの開放側（外側）に向けて、太い端をプリンターの内壁に向けてください。



3. ガイドの両端にある3つのタブを、ピールドア前面の対応する凹部に合わせて位置合わせし、タブをカチッと固定します。
4. ガイドを取り外すには、タブを外側に曲げてガイドを取り外します。

オートカッター

自動カット機能を使用し、画面上のカッターメニューオプションにアクセスするには、自動カッターを取り付ける必要があります。



可動部。身体を可動部から離してください。



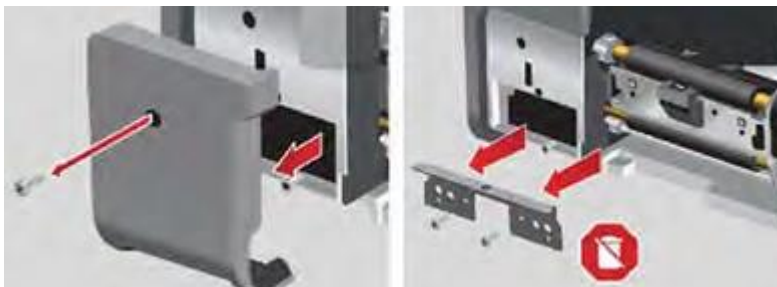
鋭利なエッジ。触れないでください。

必要な工具

- T-20レンチ

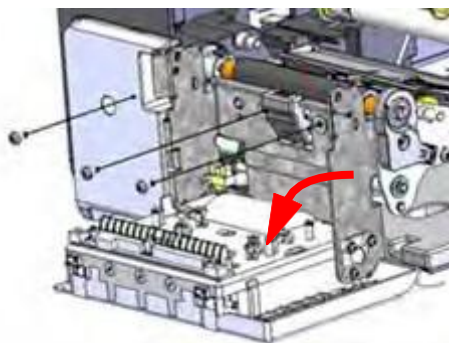
オートカッターの取り付け手順：

1. プリンターの電源と消耗品を取り外します。
2. プリントヘッドロックレバーを外し、プリントヘッドを持ち上げます。
3. アクセサリポートカバーのネジ（1本）とティアプレートを固定しているネジ（2本）を外します。



重要！ ティアプレートは将来の使用のために安全な場所に保管してください。

4. カッター上部の2つの黄色いリリースタブを使用して、オートカッターの前面を下に下げ、カッターブラケットの穴をプリンターの穴に合わせ、2本のネジで固定します。



5. 左側のアクセサリポートカバーにネジ（1本）を挿入し、固定してください。
6. オートカッターを閉じます。

- リボンとオートカッターに同梱されているTHT-17-423ラベルのストリップを取り付け、プリントヘッドロックレバーを閉じます。

注：ストリップが入手できない場合は、ブレイディテクニカルサポートに連絡し、THT-17-423ラベル材の18インチ



(45 cm) ストリップを請求してください。

- カバーを閉じて電源コードを差し込みます。
- タッチスクリーンで、「設定」>「システム設定」>「カッター距離のキャリブレーション」を選択し、次に、画面に表示される「次へ」ボタンをクリックします。
- 画面に表示される「無効なラベル」メッセージで「OK」をクリックします。

パーフォレーションカッター

パーフォレーションカッターを設置しないと、パーフォレーション機能が動作せず、画面上のカッターメニューオプションにアクセスできません。



可動部。身体を可動部から離してください。



鋭利なエッジ。触れないでください。

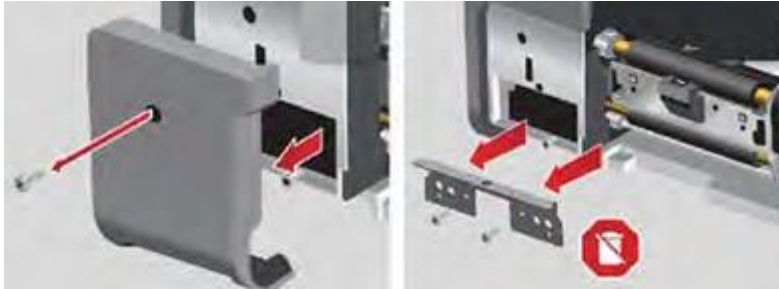
必要な工具

- T-20レンチ

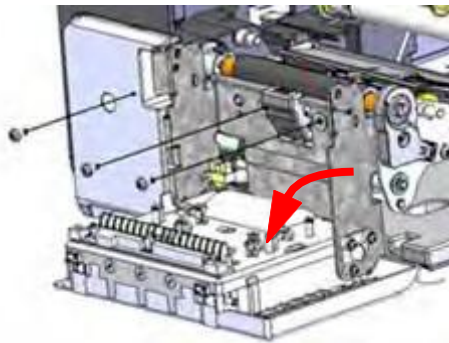
自動カッターの取り付け手順：

- プリンターの電源と消耗品を取り外します。
- プリントヘッドロックレバーを外し、プリントヘッドを持ち上げます。
- アクセサリポートカバーのネジ（1本）とティアプレートを固定しているネジ（2本）を外します。

重要！ 将来の使用に備え、ティアプレートは安全な場所に保管してください。



4. カッター上部の2つの黄色いリリースタブを使用して、パーフォレーションカッターの前面を下に下げ、カッターブラケットの穴をプリンターの穴に合わせ、2本のネジで固定します。



5. 左側のアクセサリポートカバーにネジ（1本）を挿入し、固定します。
6. パーフォレーションカッターを閉じます。
7. カッターに付属のリボンとTHT-17-423ラベルストリップを取り付け、プリントヘッドロックレバーを閉じます。

注： ストリップが入手できない場合は、ブレイディテクニカルサポートに連絡し、THT-17-423ラベル材の18インチ（45 cm）ストリップを請求してください。



8. カバーを閉じて電源コードを差し込みます。
9. タッチスクリーンで、「設定」>「システム設定」>「カッター距離のキャリブレーション」を選択し、次に、画面に表示される「次へ」ボタンをクリックします。
10. 画面に表示される「無効なラベル」メッセージで「OK」をクリックします。

ファームウェアのアップグレード

ファームウェア（プリンタシステムソフトウェア）のアップグレードは、オンラインまたはBrady Workstationとの接続を通じて利用可能です。プリンターの現在のファームウェアバージョンを確認する方法については、[60ページ「システム情報」](#)を参照してください。



注意！ アップグレード中はプリンターの電源を切らないでください。

Brady Workstation を使用してファームウェアをアップグレードするには：

1. USBケーブルでプリンターをコンピューターに接続し、Brady Workstationソフトウェアを開きます。
2. Brady Workstationのホーム画面で、左側のパネルにある「**プリンター更新**」リンクをクリックし、接続されたプリンターまでスクロールします。

Brady Workstationは接続されたプリンターの現在のファームウェアを自動的に検出し表示し、「その他の操作」ボタンを表示します。
3. 「**その他の操作**」をクリックすると、接続されたプリンターのファームウェア更新オプションが表示されます。

更新プログラムが利用可能な場合、黄色の矢印アイコンが表示されます。
4. プレイドワークステーションの指示に従ってプリンターのファームウェアを更新してください。
5. 更新が完了したら、プリンターを再起動してください。

USBドライブを使用したファームウェアのアップグレード方法：

1. お使いの地域のテクニカルサポートウェブサイトアクセスしてください。
詳細は[ivページ「テクニカルサポートと登録」](#)を参照してください。
2. ファームウェアの更新を探す。
3. 最新のi7500ラベルプリンターのファームウェアアップグレードを見つける。
4. ファームウェアをダウンロードしてください。
5. ダウンロードしたファイルを空のUSBドライブのルートに保存してください。
ダウンロードしたファイルを別のフォルダに保存しないでください。
6. USBドライブをプリンターのUSBポートに接続します。

プリンターの現在のファームウェアが最新バージョンでない場合、プリンターはUSBドライブ上のアップグレードファイルを認識し、タッチスクリーンにメッセージを表示します。
7. タッチスクリーンの指示に従ってください。アップグレードが完了すると、プリンターが再起動します。



組み込みWebサービス経由でファームウェアをアップグレードするには：

注：組み込みWebサービス（EWS）を使用するには、バージョン2.0以降のファームウェアが必要です。

1. ブラウザでプリンターのIPアドレスを使用してEWSを開きます。
2. 「ファームウェア」に移動します。
3. 利用可能なバージョン番号が現在のファームウェアのバージョン番号より高い場合、「**今すぐ更新**」をクリックします。

その特定のプリンターのファームウェアのみが更新されます。

注：Bluetooth経由でのアップグレードはサポートされていません。

重要！ EWS経由でのアップグレード中にプリンターの電源が切断されると、アップグレードが開始されない、または正常に完了しない場合があります。復旧するには、USBドライブを使用してアップグレードを完了してください。

ラベルライブラリのアップグレード

プリンターのラベルライブラリファイルは、i75シリーズ消耗品とプリンターが最適に連携するための情報データベースに含まれています。

新しいラベル消耗品に対応するデータをプリンターが確実に保持できるよう、定期的にラベルライブラリファイルを更新してください。特に、**i75-smartタグ**付きのブレイディ製カスタムラベル消耗品を使用している場合は重要です。

Brady Workstationを使用したラベルライブラリのアップグレード方法：

1. プリンターをUSBケーブルでコンピューターに接続し、Brady Workstationソフトウェアを開きます。
2. Brady Workstationのホーム画面で、左側のパネルにある「**プリンター更新**」リンクをクリックし、接続されたプリンターまでスクロールします。
Brady Workstation は自動的に接続されたプリンター上の現在のラベルライブラリファイルを検出し表示し、「その他の操作」ボタンを表示します。
3. 「**その他の操作**」をクリックすると、接続されたプリンターのラベルライブラリファイルを更新するためのオプションが表示されます。
アップグレードが利用可能な場合、黄色の矢印アイコンが表示されます。
4. ブレイディワークステーションの指示に従ってプリンターを更新してください。
5. 更新が完了したら、プリンターを再起動してください。

USBドライブを使用してラベルライブラリファイルをアップグレードするには：

1. お使いの地域のテクニカルサポートウェブサイトアクセスしてください。詳細は [ivページ「テクニカルサポートと登録」](#) を参照してください。
2. i7500ラベルプリンター用のファームウェア更新と最新のプリンターラベルライブラリ更新を探します。
3. ラベルライブラリファイルの更新をダウンロードします。
4. zipファイルからファイルを抽出し、抽出されたファイルを空のUSBドライブのルートに保存してください。ダウンロードしたファイルを別のフォルダに保存しないでください。
5. USBドライブをプリンターのUSBポートに接続し、「ファイル」>「メニュー」に移動して「**プリンターラベルライブラリのインポート**」をクリックし、アップグレードを開始します。
6. タッチスクリーンの指示に従ってください。

重要！ インポートが完了するまでUSBドライブを取り外さないでください。

組み込みWebサービス経由でラベルライブラリファイルをアップグレードするには：

1. ブラウザでプリンターのIPアドレスを使用して組み込みWebサーバー（EWS）を開きます。
2. ラベルライブラリに移動します。
3. 利用可能なバージョン番号が現在のラベルライブラリのバージョン番号より高い場合、「**今すぐ更新**」をクリックします。
その特定のプリンターのラベルライブラリが更新されます。

注：Bluetooth経由のアップグレードはサポートされていません。

リボンカートリッジのリサイクル

カートリッジは地域の規制に従ってリサイクルする必要があります。リサイクル前に、使用済みカートリッジを分解して個々の部品を取り外し、それぞれを適切なリサイクル容器でリサイクルしてください。



注意！カートリッジを分解する際は、必ず個人用保護具（PPE）を着用してください。



6.トラブルシューティング

詰まりの解消



可動部。可動部から身体を離してください。



鋭利な部分。触れないでください。

ラベル詰まりの解消方法：

1. カバーを開ける。
2. プリントヘッドロックレバーを解除します。
3. ラベルを取り外し、曲がったりしわになったりしたラベルは破って廃棄してください。
4. ラベルロールを取り付け、ラベルが正しくガイドに密着していることを確認してください。
5. ラベル経路を確認し、部品（ローラー、ガイド、カッター、排出シュート）の清掃が必要かどうかを確認してください。

ラベル詰まりのメッセージが引き続き表示される場合は、「システム設定」、「ラベルセンサーのキャリブレーション」の順にタップし、画面の指示に従ってください。

カッター詰まりを解消するには：

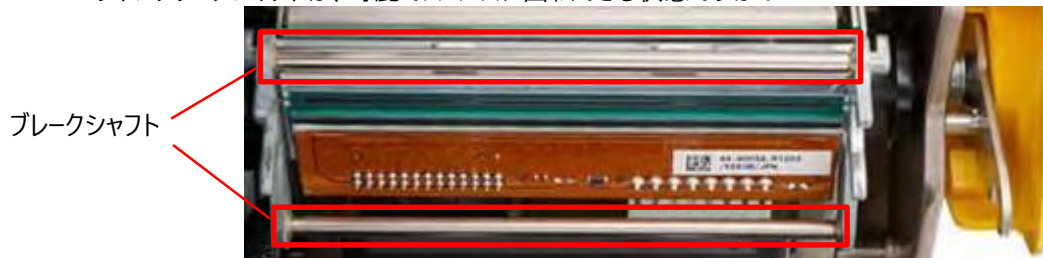
1. カバーを開けます。
2. カッター周辺を清掃します。
3. カバーを閉じて、タッチスクリーンでカットをタップするとカッターが作動します。

リボンのしわ

リボンのしわは、印刷されたラベル上に不規則な形状の印刷欠けや断続的な黒い線として現れます。この問題は、以下の提案のいずれか、または組み合わせによって解決できます。

まず以下を確認してください：

- ラベルガイドがラベルの端に正しく位置しているか。詳細は[20ページ「リボンとラベルのセット方法（標準構成プリンタ）」](#)を参照。
- リボンがリボン経路に沿って正しく配置されているか確認してください。プリントヘッドアセンブリの下からリボンの巻き取りスピンドルまで通し、銀色のリボンクリップの下に挿入されていることを確認してください。詳細[20ページ「リボンとラベルのセット方法（標準構成プリンタ）」](#)を参照してください。
- プリントヘッドは、汚れていませんか？ [65ページ「プリンターのクリーニング」](#)を参照してください。
- リボンブレークシャフトは、綺麗でスムーズに回転できる状態ですか？



- プラテンローラーは、汚れていませんか？ [65ページ「プリンターのクリーニング」](#)を参照してください。

横じわの場合：

- 印刷強度を下げる。[54ページ「印刷強度」](#)を参照。
- 印刷スピードを上げるか下げる。[54ページ「印刷スピード」](#)を参照。
- プリントヘッドの圧力を下げてください。[55ページ「プリントヘッドの圧力」](#)を参照してください。



- リボンしわ防止バーのネジを調整し、シャフトを内側または外側に傾けてください。
- 幅の狭いリボンまたはプラテンローラーを使用するか、両方を組み合わせてください。

縦方向のしわの場合：

連続紙をご使用の時、前のラベルの後端と次のラベルの前端の間の距離を調整してください。

オンデマンド印刷

両面印刷でオンデマンド印刷が有効になっている場合は、以下の手順に従ってください。

1. 両面印刷を開始する前に、オンデマンド印刷を有効にしてください。
2. [47ページ「両面スリーブの印刷」](#)の手順に従ってください。
3. 面1の印刷が完了したら、再度「再生(1)」を押して「面2の準備」ポップアップメッセージを表示させ、面1の印刷を終了させてください。

重要！メッセージが表示される前にプリントヘッドを開けないでください。開けるとインクの流れが乱れます。

以下の表を使用して、問題のトラブルシューティングを行ってください。プリンターにエラーメッセージが表示された場合は、タッチスクリーンの指示に従ってください。

問題	原因	対処方法
電源を入れてもプリンターが起動しない。	電源コードがプリンターまたは壁のコンセントから抜かれています。	電源コードを確認してください。
画面がフリーズする	ユーザーインターフェースエラー	<ol style="list-style-type: none"> 1. プリンター背面の電源スイッチをオフにしてください。 2. 5秒間待ってから電源スイッチをオンにしてください。
ラベルが送り出されない	<ul style="list-style-type: none"> ラベルロールの先端がプラテンローラーの中心に正しく位置していません。 ラベルロールの先端が不均一または破れている（まっすぐな縁ではない）。 	<ul style="list-style-type: none"> ラベルを正しく設置してください。18ページ「消耗品の取り付けまたは交換」を参照してください。 ラベルロールの先端端をまっすぐにカットしてください。
プリンターがラベルを送りません。 (手動モードのみ)	<ul style="list-style-type: none"> センサーライトの位置が誤った位置にあります。 誤ったロールタイプが選択されています。 両方の状況が当てはまります。 	<ul style="list-style-type: none"> プリントヘッドを開き、画面の指示に従ってロールタイプを選択し、センサーを位置合わせしてください。
テストラベルが印刷されない。	<ul style="list-style-type: none"> ラベル幅が間違っているか、正しく設置されていません。 	<ul style="list-style-type: none"> 幅4インチ以上のラベルを取り付けてください。18ページ「消耗品の取り付けまたは交換」を参照してください。
ラベルの印刷が薄い。	リボンが正しく送り出されていません。 印刷強度が低すぎる可能性があります。	<ul style="list-style-type: none"> 巻き戻しスプール（プリントヘッドロックレバーが開いている状態でプリンターに最も近いスプール）を下方方向に回転させ、すべてのたるみがなくなるまでリボンを張ってください。 別のリボンカートリッジをお試しください。 印刷エネルギー設定を調整してください（ 54ページ「印刷強度」 を参照）。
ラベルに印刷されない。	ラベルまたはリボンが正しくセットされていないか、リボンが切れています。	<ul style="list-style-type: none"> リボンカートリッジを再度取り付けます。 新しいリボンをセットしてください。
印刷品質が悪い。	リボンとラベルの互換性がないか、誤ったラベル供給とリボンの組み合わせを使用しています。	<ul style="list-style-type: none"> ラベルロール用の正しいリボンがプリンターにセットされていることを確認してください。 リボンにしわがないことを確認してください。参照 リボンまたはラベルの供給を変更してください。
	プリントヘッドにほこりや粘着剤が付着している。	プリントヘッドをクリーニングしてください（ 66ページ「プリントヘッド」 を参照）。

問題	原因	対処方法
印刷されたテキストに不規則な形状の線や空白部分が現れる。	リボンのしわ。	<ul style="list-style-type: none"> リワインドスプール（プリンターに最も近く、プリントヘッドロックレバーが開いているスプール）を下方方向に回転させて、すべてのたるみがなくなるまでリボンを張ってください。 別のリボンカートリッジをお試しください。
ラベル送り方向に直線状の印刷欠けが発生します。	<ul style="list-style-type: none"> プリントヘッド上の異物や堆積物プリントヘッドの汚れや堆積物。 プリントヘッドの損傷または焼損したピクセルの可能性があります。 	PCK-6の綿棒を使用してプリントヘッドを清掃してください。 クリーニング後も問題が解決しない場合は、プレイディ技術修理センターに連絡し、プリントヘッドの点検または交換を依頼してください。
カット品質が悪い。	カッターのクリーニングが必要です。	カッターを清掃してください（69ページ「カッターブレード」を参照）。
ラベルの周囲に枠を印刷する際に供給物がずれるため、枠の位置がわずかにずれる。	ラベルガイドが正しく調整されておらず、印刷中にラベルがずれるほど緩みがある。	ラベルガイドをラベルにぴったりと密着するように調整してください。フレームの微調整については、55ページ「印刷位置」を参照してください。
メッセージに記載されているすべての修正を実行したにもかかわらず、プリンターがラベル供給に関するメッセージを継続して表示する。	カッターセンサーの汚れや詰まりにより、プリンターがラベル供給の先頭エッジを検出できません。	ラベルの破片を取り除き、カッターセンサーおよびその他のセンサーをすべて清掃してください。68ページ「光学センサー」を参照してください。
両面印刷中に「ラベル切れ」というエラーメッセージが表示される。	印刷物全体の長さが短すぎるため、2面印刷用の用紙がセットされているときに発生します。	両面ラベルを印刷する場合、ラベルストリップの全長は5インチ（127mm）以上である必要があります。これにより、ラベルストリップの端がラベルセンサーを覆い、印刷を開始します。
残量のリボン供給状態が正確ではありません。	手動モード [感熱印刷方式] から部分手動モード [熱転写印刷方式] に移行すると、リボン供給状態が正しく更新されません。	現時点ではありません。
Brady Label Design HCM-60x10-7643-WTをマニュアルモードで使用するとき、xオフセットを3mm以上に設定できません。	手動モードでは、プリンタは4.094インチ（102mm）ラベルのXオフセットを3mm以上シフトできません。	4インチ（102mm）未満のラベルデザインを使用してください。
^ などの一部の文字はタッチスクリーンに表示されません。	欧州仕様の AZERTY キーボードを使用している場合。	欧州 AZERTY キーボードで入力した際に画面に即時表示されないキーについては、該当キーとスペースキーを同時に押してください。キーと同時にスペースキーを押すことで、タッチスクリーン上に表示されます。

問題	原因	修正手順
エラーメッセージ：「ラベルロール読み込み失敗」が手動モードで両面黒スリーブラベル使用時に表示される。	非スマートセルラベルにおいて、先頭エッジセンサーがラベルの黒い縁を検出できていません。	「設定」>「システム構成」>「先頭エッジ検出」を選択し、「無効」をクリックしてください。 印刷前に、先頭エッジがまっすぐで正しい位置にあることを確認してください。
デフォルト設定では、剥離位置ラインは画面中央より下に表示されます。	なし	修正不要。ラベルが剥離位置となるよう、剥離プレート上の正しい位置が表示されています。
エラーメッセージ：「外部USBが利用できません。」	なし	内部メモリ画面が表示されている状態でUSBドライブをプリンターに挿入し、直後に外部ストレージに切り替えると、エラーメッセージが表示されます。メッセージの「OK」をクリックして続行してください。USBドライブ上のファイルが表示されます。
USBから.prnファイルをインポートできません。	105MB以上の.prnファイルのインポート中にUSBドライブが切断されました。	プリンターの電源を入れ直してください。USBを挿入し、インポートが完了するまで十分な時間を置いて再度インポートしてください。
タッチスクリーンにWi-Fiアイコンが表示されない。	プリンターがアップグレードされました。	プリンターを再起動してください。
内部メモリに保存された印刷ジョブの数が正しくありません。	複数行・複数列のラベルがプリンターにセットされています。	なし。正しい番号は印刷設定に反映されています。
印刷画像が切れている。	非スマートセルラベルに黒いマークが付いています。	デザインを12.6インチ（32cm）以下に短縮し、再度印刷してください。
手動の直接熱転写ラベルにプリンター設定を印刷した後、ラベルが空白でした。	ラベルの幅または長さが間違っています。	ラベルは幅4インチ、長さ24インチ以上の連続ラベルである必要があります。
タイムスタンプが期待した時刻を印刷しなかった。	後で印刷するためにUSBに保存した印刷ジョブは、印刷された時刻ではなく、保存された時刻で印刷されます。	なし。
エラーメッセージ：「ラベルオブジェクトがサポートされていません」	600dpiプリントヘッドがインストールされており、ラベル上のオブジェクトの長さが3.4インチを超えています。	オブジェクトの長さを3.4インチ未満に短縮して再印刷してください。またはBWSダイレクト印刷を使用してください。

A 規制コンプライアンス

代理店コンプライアンスと承認

アメリカ合衆国

FCC通知

本機器は、FCC規則第15部に準拠し、クラスAデジタル機器の制限値に適合することが試験により確認されています。これらの制限値は、商業環境で機器を動作させた際に有害な干渉から合理的な保護を提供するように設計されています。本機器は無線周波エネルギーを発生・使用し、放射する可能性があります。取扱説明書に従って設置・使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす恐れがあります。

住宅地域での本機器の操作は有害な干渉を引き起こす可能性があり、その場合、ユーザーは自己負担で干渉を修正する必要があります。

干渉が発生した場合、以下の対策が推奨されます：

- 干渉源に対して機器の向きや位置を変更する。
- 機器と干渉源との間隔を広くしてください。
- 適用可能な場合、機器を干渉源とは別の電源回路に接続してください。

適合性について責任を有する当事者によって明示的に承認されていない変更または改造は、ユーザーによる機器の操作権限を無効にする可能性があります。

この装置は、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作は、次の2つの条件に従うものとします。(1)この装置は有害な干渉を引き起こしてはならない、および(2)この装置は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したあらゆる干渉を受け入れなければならない。

Estados Unidos

FCC に関する注意

この装置は試験を実施し、連邦通信委員会（FCC）規則第15部に基づくクラスAデジタル機器の制限値に適合していることが確認されました。これらの制限値は、商業環境で使用される場合に有害な干渉から合理的な保護を提供するように設計されています。本装置は無線周波エネルギーを生成・使用し、放射する可能性があります。取扱説明書に従って設置・使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす恐れがあります。

住宅地域での本機器の使用は有害な干渉を引き起こす可能性があり、その場合、ユーザーは自己負担で干渉を修正する必要があります。

干渉が発生した場合、以下の対策で軽減を図ってください：

- 機器の向きや設置場所を変更し、干渉を回避してください。
- 機器と干渉源との間隔を広くしてください。
- 可能であれば、機器を干渉源とは異なる電気回路に接続してください。

コンプライアンス責任者の明示的な承認を得ていない変更や改造は、ユーザーによる本機器の使用許可を無効にする場合があります。

この装置は、FCC 規則のパート15に準拠しています。使用には、次の2つの条件があります。(1)この装置は、有害な干渉を引き起こさないこと、および(2)この装置は、受信した干渉（望ましくない使用を引き起こす可能性のある干渉を含む）を受け入れること。

カナダ

イノベーション・科学・経済開発省（ISED）

カナダICES-003：情報技術機器（デジタル機器を含む）

カナダ NMB-003: 情報技術機器（デジタル機器を含む） CAN ICES-3 (A)/NMB-3(A)

ヨーロッパ



警告！ 本品はクラスA製品です。家庭環境では電波妨害を引き起こす可能性があり、その場合、ユーザーは適切な対策を取る必要があります。



廃電気電子機器指令

欧州 WEEE 指令に従い、本装置は現地の規制に従ってリサイクルする必要があります。

RoHS指令 2011/65/EU、2015/863/EU

本製品はCEマークを取得しており、電気電子機器における特定有害物質の使用制限に関する2011年6月8日付欧州議会及び理事会指令2011/65/EUに準拠しています。

2015年3月31日付EU指令2015/863（RoHS 3）は、欧州議会および理事会指令2011/65/EUの付属書II（制限物質リスト）を改正するものです。

電池指令 2006/66/EC



本製品にはリチウムコイン型電池が含まれています。左側に表示されている×印の付いた車輪付きごみ箱は、欧州指令2006/66/ECに基づき、すべての電池および蓄電池の「分別収集」を示すために使用されています。電池の使用者は、電池を分別されていない一般廃棄物として廃棄してはなりません。この指令は、使用済み電池および蓄電池を分別収集し、寿命終了時にリサイクルするための回収・リサイクルの枠組みを定めています。お住まいの地域の規制に従って電池を廃棄してください。

リサイクル業者への注意

リチウムコイン型電池を取り外すには：

1. プリンターを分解し、メイン回路基板上に配置されたリチウムコイン型電池を特定してください。
2. 小さなドライバーを使用して、バッテリーをホルダーからこじ開け、基板から取り外します。地域の規制に従って廃棄してください。

中国

本製品に関連する中国RoHS有害物質表は、www.bradyid.com/i7500complianceでご覧いただけます。

警告

此为A 级产品。在生活环境中，该产品可能会造成无线电干扰。在这种情况下，可能需要用户对干扰采取切实可行的措施。

仅适用于非热带气候条件下安全使用

仅适用于海拔2000m 以下地区安全使用。

台湾

クラスA声明

警告：為避免電磁干擾，本產品不應安裝或使用於住宅環境

本製品に関連する台湾の制限物質含有状況（RoHS宣言）は、www.BradyID.com/i7500compliance でご覧いただけます。

輸入業者：

香港商貝迪香港有限公司

台北市中山区南京東路3段101号4階

BRADY CORPORATION HONG KONG LIMITED

4th Floor, No. 101, Section 3, Nanjing East Road, Zhongshan District, Taipei City

トルコ

トルコ環境森林省

（電気電子機器における特定有害物質の使用制限に関する指令）。

Türkiye Cumhuriyeti: EEE Yönetmeliğine Uygundur

無線規制情報

規制マークは、国の認証対象となり、無線承認が取得されたことを示すホストプリンターに適用されます。



警告！ 規制承認なしでの本装置の操作は違法です。

無線プロトコル	WLAN IEEE 802.11b/g/n	BLE
RF 動作周波数	2.412 - 2.462 GHz	2.402 - 2.480 GHz
RF出力電力	< +20dBm EIRP (100mW)	< +20dBm EIRP (100mW)
アンテナタイプ \ アンテナ利得	PCB trace antenna \ 2.3 dBi	PCB trace antenna \ 2 dBi
動作環境*	50°~104°F (10°~40°C)	
環境保存温度*	-4°~122°F (-20°~50°C)	

注：*プリンターの最大動作温度および保管温度に注意してください。2ページ「物理的および環境特性」を参照してください。

アメリカ合衆国

注：本機器は、FCC規則第15部に準拠し、クラスAデジタル機器の制限値に適合することが試験により確認されています。これらの制限値は、商業環境で機器を動作させた際に有害な干渉から合理的な保護を提供するように設計されています。本機器は無線周波エネルギーを発生・使用し、放射する可能性があります。取扱説明書に従って設置・使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす恐れがあります。

住宅地域での本機器の操作は有害な干渉を引き起こす可能性があり、その場合、ユーザーは自己負担で干渉を修正する必要があります。

適合性責任者が明示的に承認していない変更または改造は、本機器の操作権限を無効にする可能性があります。

この装置はFCC規則第15部に準拠しています。動作は以下の2つの条件に従います：(1)この装置は有害な干渉を引き起こしてはならず、(2)この装置は受信したあらゆる干渉（望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む）を受け入れなければなりません。

併置に関する声明：FCCのRF曝露適合要件に準拠し、モジュラー送信機を含む、同時に動作するすべてのアンテナおよびその他の送信機は、FCCのマルチ送信機手順を用いて評価されています。

RF 曝露ガイドライン / 重要事項：本機器は、指示通りに適切に使用した場合、制御されていない環境向けに定められた FCC SAR 免除制限に準拠しています。

メキシコ

IFT通知：本機器の動作は以下の2条件に従います：(1)本機器またはデバイスが有害な干渉を引き起こさないこと、(2)本機器またはデバイスは、その意図しない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、あらゆる干渉を受け入れること。

カナダ

イノベーション・科学・経済開発省（ISED） CAN ICES-3 (A)/NMB-3(A)

本装置には、イノベーション・科学・経済開発省（ISED）の免許不要RSSに準拠した免許不要送信機/受信機が含まれています。動作は以下の2つの条件に従います：

1. 本装置は干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、本装置の意図しない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、あらゆる干渉を受け入れなければなりません。

本装置は、免許不要無線機器に適用されるカナダ国家研究評議会（NRC）イノベーション・科学・経済開発省の規定に準拠しています。以下の2条件を満たす場合に限り使用が許可されます：

1. 本装置は妨害を発生させてはならない；
2. 本装置の使用者は、受信する電波妨害を許容すること。妨害が装置の動作を妨げる可能性がある場合でも同様とする。

併記事項：IC電波曝露適合要件に準拠し、モジュラー送信機を含む同時動作する全アンテナ及びその他の送信機は、FCCマルチ送信機手順を用いて評価済みです。

RF曝露ガイドライン／重要事項：本装置は、指示通りに適切に使用された場合、制御されていない環境におけるRSS-102に規定されるISED放射線曝露免除限界値に準拠しています。

欧州連合

本製品はクラスA製品です。家庭環境では電波妨害を引き起こす可能性があり、その場合、ユーザーは適切な対策を取る必要がある場合があります。

無線機器指令（RED）2014/53/EU

- a. 無線機器が動作する周波数帯域：2.402GHz～2.480GHz

b. 無線機器が動作する周波数帯域における最大送信高周波電力：<+20dBm EIRP（100mW）

本装置は2.4GHz帯広帯域伝送システム（トランシーバー）であり、フランスとイタリア（使用制限あり）を除く全てのEU加盟国およびEFTA加盟国での使用を目的としています。

イタリアでは、エンドユーザーは、屋外無線リンクの設置および／または公衆への電気通信サービスおよび／またはネットワークサービスの提供を目的として本装置を使用するための認可を得るため、国家電波当局に免許を申請する必要があります。

本装置はフランスにおける屋外無線リンクの構築には使用できません。また、一部の地域では2454～2483.5MHzの周波数帯域においてRF出力電力が10mW EIRPに制限される場合があります。詳細については、エンドユーザーはフランスの国家電波管理機関にお問い合わせください。

国別特記事項

български [Bulgarian] С настоящото Технология Брейди декларира, че това устройство i7500 е в съответствие със съществените изисквания и други приложими разпоредби на Директиви2014/53/EU

Hrvatski [Croatian] Tehnologija Brady ovim putem izjavljuje da je ovaj uređaj i7500 sukladan osnovnim zahtjevima i ostalim bitnim odredbama Direktiva 2014/53/EU

Česky [Czech] Technologie Brady tímto prohlašuje, že tento i7500 je ve shodě se základními požadavky a dalšími příslušnými ustanoveními směrnice 2014/53/EU.

Dansk [Danish] Undertegnede Brady teknologi erklærer herved, at følgende udstyr i7500 overholder de væsentlige krav og øvrige relevante krav i direktiv 2014/53/EU.

Deutsch [German] Hiermit erklärt Brady-Technologie, dass sich das Gerät i7500 in Übereinstimmung mit den grundlegenden Anforderungen und den übrigen einschlägigen Bestimmungen der Richtlinie 2014/53/EU befindet.

Eesti [Estonian] Käesolevaga kinnitab Brady tehnoloogia seadme i7500 vastavust direktiivi 2014/53/EU põhinõuetele ja nimetatud direktiivist tulenevatele teistele asjakohastele sätetele.

English Hereby, Brady Technology, declares that this i7500 is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 2014/53/EU.

Español [Spanish] Por medio de la presente Tecnología Brady declara que el i7500 cumple con los requisitos esenciales y cualesquiera otras disposiciones aplicables o exigibles de la Directiva

Ελληνική [Greek] ΜΕ ΤΗΝ ΠΑΡΟΥΣΑ Τεχνολογία Brady ΔΗΛΩΝΕΙ ΟΤΙ i7500 ΣΥΜΜΟΡΦΩΝΕΤΑΙ ΠΡΟΣ ΤΙΣ ΟΥΣΙΩΔΕΙΣ ΑΠΑΙΤΗΣΕΙΣ ΚΑΙ ΤΙΣ ΛΟΙΠΕΣ ΣΧΕΤΙΚΕΣ ΔΙΑΤΑΞΕΙΣ ΤΗΣ ΟΔΗΓΙΑΣ 2014/53/EU.

Français [French] Par la présente Technologie Brady déclare que l'appareil i7500 est conforme aux exigences essentielles et aux autres dispositions pertinentes de la directive 2014/53/EU.

Íslenska [Icelandic] Hér, Brady tækni, því yfir að þetta i7500 tæki er í samræmi við grunnkröfur og önnur viðeigandi ákvæði tilskipana 2014/53/ EU

Italiano [Italian] Con la presente Tecnologia Brady dichiara che questo i7500 è conforme ai requisiti essenziali ed alle altre disposizioni pertinenti stabilite dalla direttiva 2014/53/EU.

Latviešu valoda [Latvian] Aršo Brady tehnoloģija deklarē, ka i7500 atbilst Direktīvas 2014/53/EU būtiskajām prasībām un citiem ar to saistītajiem noteikumiem.

Lietuvių kalba [Lithuanian] Šiuo Brady technologija deklaruoja, kad šis i7500 atitinka esminius reikalavimus ir kitas 2014/53/EU Direktyvos nuostatas.

Nederlands [Dutch] Hierbij verklaart Brady-technologie dat het toestel i7500 in overeenstemming is met de essentiële eisen en de andere relevante bepalingen van richtlijn 2014/53/EU.

Malti [Maltese] Hawnhekk, Teknoloġija Brady, jiddikjara li dan i7500 jikkonforma mal-ħtiġijiet essenzjali ma provvedimenti oħrajn rilevanti li hemm fid-Dirrettiva 2014/53/EU.

Magyar [Hungarian] Alulírott, Brady technológia nyilatkozik, hogy a i7500 megfelel a vonatkozó alapvető követelményeknek és az 2014/53/EU irányelv egyéb előírásainak.

Norsk [Norwegian] Herved Brady-teknologi, erklærer at denne i7500 enheten, er i samsvar med de grunnleggende kravene og andre relevante bestemmelser i direktivene 2014/53/EU.

Polski [Polish] Niniejszym Technologia Brady'ego oświadcza, że i7500 jest zgodny z zasadniczymi wymogami oraz pozostałymi stosownymi postanowieniami Dyrektywy 2014/53/EU.

Português [Portuguese] Tecnologia Brady declara que este i7500 está conforme com os requisitos essenciais e outras disposições da Directiva 2014/53/EU.

Română [Romanian] Prin prezenta, Tehnologia Brady declară că acest dispozitiv i7500 este în conformitate cu cerințele esențiale și alte prevederi relevante ale Directivelor 2014/53/EU.

Slovenščina [Slovenian] Tehnologija Brady izjavlja, da je ta i7500 v skladu z bistvenimi zahtevami in instaliranimi relevantnimi določili direktive 2014/53/EU.

Slovenčina [Slovak] Technológia Brady týmto vyhlasuje, že i7500 spĺňa základné požiadavky avšetky príslušné ustanovenia Smernice 2014/53/EU.

Suomi [Finnish] Brady tekniikka vakuuttaa täten että i7500 tyyppinen laite on direktiivin 2014/53/EU oleellisten vaatimusten ja sitä koskevien direktiivin muiden ehtojen mukainen.

Svenska [Swedish] Härmed intygar Brady-teknik att denna i7500 står i överensstämmelse med de väsentliga egenskapskrav och övriga relevanta bestämmelser som framgår av direktiv 2014/53/EU.

日本

MIC \ TELEC: 005-102490

MIC \ TELEC: 201-220017

当該機器には電波法に基づく、技術基準適合証明等を受けた特定無線設備を装着している。

国際

Bradyホストプリンターで使用されるWi-Fi無線モジュールは、電磁界への人体曝露に関する国際的に認められた規格、すなわちEN62311「電磁界（0 Hz～300 GHz）の人体曝露制限に関連する電気電子機器の評価」に準拠しています。

ナイジェリア

この通信機器の接続および使用は、ナイジェリア通信委員会によって許可されています。

南アフリカ



インドネシア

112649 / DJID / 2025

4459



ブラジル



03480-25-11636